

HD メモリーカードカメラレコーダー **GY-HM600**

取扱説明書



DOLBY



本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。 最新版の取扱説明書は、以下のモバイルユーザーガイドまたは URL から PDF をダウンロードしてご 確認ください。

30

モバイルユーザーガイド

出先などからは、Android 端末または iPhone 端末で取り扱い方法をご覧になれます。 http://manual3.ivckenwood.com/pro/mobile/ip/



モバイルユーザーガイドは、Android 端末および iPhone 端末に標準搭載の Web ブラ ウザで閲覧することができます。

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いくださ い。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保 証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、 またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

もくじ

はじめに

| もくじ |
|------------------|
| 特長4 |
| 正しくお使いいただくためのご注意 |
| 動作モードについて 10 |
| 各部の名称 12 |
| 側面操作パネル 14 |
| SD スロット部15 |
| 背面端子部 15 |
| LCD モニター部 16 |
| レンズ部 17 |
| 基本システム図18 |

準備

| 使用前の設定・調整 | 19 |
|-----------------------|----|
| グリップベルトを調整する | 19 |
| 外部マイクの取り付け | 19 |
| 三脚に取り付ける | 19 |
| 大型アイカップを取り付ける | 19 |
| レンズカバーの開閉 | 20 |
| フードを取り付ける・取りはずす | 20 |
| 電源について | 20 |
| バッテリーパックを使う | 20 |
| AC 電源を使う(DC IN 電源) | 22 |
| 電源状態の表示 | 22 |
| 電源を入れる/切る | 23 |
| 初期設定 | 24 |
| LCD モニター/ビューファインダーの表示 | 26 |
| ディスプレイ画面 | 26 |
| ステータス画面 | 27 |
| USB モード時の画面 | 27 |
| 警告表示 | 27 |
| LCD モニターとビューファインダーの調整 | 28 |
| LCD モニターの調整 | 28 |
| ビューファインダーの調整 | 29 |
| ユーザーボタンの機能割り付け | 30 |
| タリーランプについて | 30 |
| SD カードについて | 31 |
| 使用できる SD カードについて | 31 |
| SD カードをフォーマット(初期化)する | 33 |
| SD カードを修復する | 34 |
| SD カードに記録されるクリップについて | 35 |
| オペレーションロック機能について | 36 |
| | |

撮影

| 基本的な撮影手順 | | 37 |
|----------|--|----|
|----------|--|----|

| 記録映像の解像度、ファイルフォーマットおよ | び 38 |
|-----------------------|---------|
| ズーム動作について | 40 |
| フォーカス動作について | 41 |
| 顔を検出してフォーカスをあわせる(顔検出) | 44 |
| 明るさを調節する | 45 |
| アイリスを調節する | 46 |
| ゲインを設定する | 47 |
| 電子シャッターを設定する | 48 |
| ND フィルターを設定する | 50 |
| ホワイトバランスを調整する | 51 |
| カメラ画を調整する | 54 |
| 手ぶれ補正機能を使用する | 55 |
| 録音する | 55 |
| ヘッドホンで記録時の音声をモニターする… | 57 |
| タイムコードとユーザーズビットについて | 58 |
| タイムコードシェスレーターを設定する | 59 |
| ユーサー人ヒットを設定する | 61 |
| ダイムコートをもつ一台の月メフに回期させる | 62 |
| ビノノバターノを改走する | 63 |
| スホットスーツーを改たする | 64 |
| 記録した吠像をすくに兄る(フララフレビュー | 66 |
| クリップを任意のタイミングで分割する(クリ | 11 |
| プカッター記録) | 67 |
| デュアルレックについて | 67 |
| バックアップレックについて | 69 |
| 特殊記録について | 71 |
| プリレック | 71 |
| クリップコンティニュアスレック | 71 |
| フレームレック | 73 |
| インターバルレック | 74 |
| バリアブルフレームレック | 75 |
| | |

再生

| 記録したクリップを再生する | 76 |
|---------------------|----|
| サムネイル画面 | 76 |
| アクションについて | 78 |
| 再生する | 79 |
| クリップを削除する | 80 |
| OK マークを付加・削除する | 81 |
| 複数のクリップを選択して実行する | 81 |
| 不連続な複数クリップを選択して実行する | 82 |
| 連続した複数クリップを選択して実行する | 82 |
| 記録したクリップをトリミングする | 83 |
| | |

メニュー表示と詳細設定

| メニュー画面での基本操作 | 84 |
|-------------------|----|
| メニュー画面の表示と説明 | 85 |
| ソフトウェアキーボードでの文字入力 | 86 |

| メニュー画面の階層一覧 87 | 7 |
|-------------------------|---|
| カメラ機能メニュー 88 | 3 |
| ユーザーボタン機能設定項目 |) |
| カメラ設定メニュー | 2 |
| ディテール/調整項目 94 | 1 |
| ホワイトバランス項目 | 5 |
| TC/UB 設定メニュー 96 | 3 |
| LCD/VF 設定メニュー 97 | 7 |
| 撮影補助項目 | 3 |
| マーカー設定項目 99 | 9 |
| 表示設定項目 100 |) |
| 映像/音声設定メニュー 101 | 1 |
| 映像設定項目 101 | 1 |
| 音声設定項目 102 | 2 |
| システムメニュー 104 | 1 |
| 記録設定項目 106 | 3 |
| よく使うメニュー項目を登録・編集する(お気に入 | |
| りメニュー)109 | 9 |
| メニュー項目をお気に入りメニューに登録す | |
| ۵ 110 |) |
| お気に入りメニューの編集 110 |) |

ディスプレイ/ステータス画面

| カメラモード時のディスプレイ画面 | 113 |
|-------------------|-----|
| メディアモード時のディスプレイ画面 | 118 |
| ステータス画面 | 120 |

カメラの各機能について

| マーカー表示およびセーフティーゾーン表示 | 、(力 |
|-----------------------|-------|
| メラモード時のみ) | . 121 |
| 肌色をなめらかに見せる(スキンディテール) | 機 |
| 能) | . 121 |
| カラーバーを出力する | 121 |
| カラーマトリクスの調整をする | . 122 |
| セットアップファイルの設定方法 | 123 |
| セットアップファイルの保存 | . 123 |
| セットアップファイルの呼び出し | . 124 |
| セットアップファイルの削除 | . 125 |

外部機器を接続する

| パソコンでクリップを管理・編集する | 126 |
|-------------------|-----|
| 外部モニターを接続する | 127 |
| ヘッドホンを接続する | 129 |
| ワイヤードリモコンを接続する | 129 |

その他

| エラーメッセージと対応 | 130 |
|-------------|-----|
| タリーランプの点滅 | 131 |
| 警告音 | 131 |
| こんなときは | 132 |
| 保証とアフターサービス | 133 |

| 仕様 | 134 |
|---------------|-----|
| 索引 | 137 |
| ソフトウェア使用許諾契約書 | 138 |
| オープンソースライセンス | 139 |

特長

感度 F11 を実現、1/3 インチフル HD 3CMOS センサー

1/3 型有効 207 万画素のフル HD CMOS センサーを 3 個搭載。

R、G、B 各色信号を独立して処理することにより、 色解像度の高い高画質を実現。12 ビット信号処理 と新開発の 2D DNR により暗電流や光ショットノ イズを除去し、S/N 感、高解像度感を損なうことな く、高感度 F11 を実現しました。

新開発のフジノン製 23 倍ズームレンズを 搭載

高倍率ながらワイド端で 29mm を確保。また、 F1.6-3.0 と全域にわたり高い感度を実現しています。

ズームは回転端付きリングによって、ワイド端からテレ端まで約90°で操作可能です。

ズーム、フォーカス、アイリスはそれぞれ、独立したリングで制御できます。

小型・軽量、スタイリッシュ、エルゴノミッ クデザイン

オペレーション状態で2.4kg を実現。 撮影時の手にかかる負担を軽減できるほか、撮影 や持ち運び時の操作性を考慮した、様々な人間工 学的な設計を盛り込み、軽く、使いやすいデザイン に仕上げました。

JVC 独自の高画質エンジン FALCONBRID 搭載

高画質エンジン FALCONBRID で、カメラプロセスと画像圧縮をワンチップで処理することにより、余分なプロセスを要せず、撮像素子からの画像を損なうことなく、圧縮処理し、高品質画像を実現しました。

MPEG2 と H.264 コーデック対応

FALCONBRID 採用により、記録フォーマットとして、MPEG-2 および AVCHD という業務用ビデオ市場で最も用いられている、コーデックを選択可能です。

QuickTime (MPEG-2 HD/H.264 HD/H. 264 SD)/MP4 (MPEG-2 HD)/AVCHD ファ イルフォーマット

ProHD メモリーカメラレコーダーのコンセプトを 継承し、Apple Final Cut Pro でダイレクト編集可能 な QuickTime (MPEG-2 HD/H.264 HD)ファイルと XDCAM EX ノンリニア編集ワークフローに最適 な MP4 ファイルだけでなく、AVCHD や QuickTime (H.264 SD)ファイルなど多彩なファイ ルフォーマットに対応できます。

SDHC/SDXC 2 カードスロット、デュアル、 バックアップ、シリーズ記録対応

メモリーカードとして最も普及している SDHC/ SDXC カード記録システムを採用。 信頼性を確保しながら、低ランニングコストでの 運用が可能です。

また、2 つのカードに同じファイルを記録できる デュアル記録、一方のカードは REC/STBY でク リップを区切りながら、もう一方のカードでは連 続記録できるバックアップ記録など、ユーザーの 利便性を考えた様々な記録システムを搭載してい ます。

| バリアブルフレームレック

オーバークランクやアンダークランクなど、美し いスローモーションやクイックモーション画像を 記録できます。

SDI/HDMI 同時出力装備

デジタル出力として、[HD/SD SDI]端子/[HDMI] 端子を両方装備。

どちらも非圧縮フル HD 映像信号と音声信号を、 [HD/SD SDI]端子/[HDMI]端子に同時に出力する ことができます。

オートフォーカス/光学手ぶれ補正搭載

中心領域だけでなく、顔検出のオートフォーカス 機能を搭載。 マニュアルフォーカスに切り換えもできます。 光学手ぶれ補正機能も内蔵しています。

プロスタイルスイッチレイアウトと様々な ビデオパラメーター設定

ゲインやホワイトバランスなどのスイッチをサイドパネルに配置し、撮影シーンに応じて素早く設定を切り換えることができます。 また、ガンマやカラーマトリクスなどの画質パラメーターをメニューで好みのトーンにあわせることができます。

4 ポジション ND フィルター

3 種類の ND フィルターを内蔵。 撮影時の明るさによって、4 ポジションの ND フィ ルター(OFF、1/4、1/16、1/64)を切り換え、光量を調 節します。

0.45 型 122 万画素カラービューファイン ダー、3.5 型 92 万画素液晶ディスプレイ (フォーカスアシスト機能搭載)

内蔵ステレオマイク、2 チャンネル XLR 音 声入力(マイク/ライン切換、ファントム電源 対応)および、ワイヤレスマイクレシーバー 用ミニジャック入力端子

プリレック機能(最大 15 秒)およびイン ターバルレック機能

ワイヤードリモコン対応

35Mbps 高画質記録モード(Ver.3.00~)

高画質記録に対応するため、MPEG-2方式ファイ ルフォーマット(MOV、MP4)、H.264方式ファイル フォーマット(MOV)には、35Mbpsモードを搭載し ました。

50Mbps 高画質記録モード(Ver.3.00~)

高画質記録に対応するため、H.264 方式による 50Mbps モード(1920x1080:MOV)を搭載しまし た。

アプリケーションソフトを添付

記録したクリップを Windows や Macintosh のコ ンピュータにコピーしたり、映像を確認するため のアプリケーションソフト[JVC ProHD Clip Manager]を添付しています。(MP4 ファイル フォーマット用)

本機に添付のディスクには[JVC ProHD Clip Manager]などのアプリケーションソフトウェ アやご使用方法を説明するユーザーズガイドが 収録されています。

※詳しくは各アプリケーションソフトウェアの ユーザーズガイドをご覧ください。

この取扱説明書の見かた

本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- **メモ** :機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- ☞ :参考ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、 または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容 については、改善のため予告なく変更すること があります。
- AVCHD Progressive および AVCHD Progressive ロゴは、パナソニック株式会社とソ 二一株式会社の商標です。
- SDXC、SDHC □ゴは SD-3C、LLC の商標です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface)と **HコmI**^{*}は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- QuickTime、Final Cut Pro および iPhone は、米国 およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- Android は、Google Inc.の商標および登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標 です。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラ ボラトリーズの商標です。
- Microsoft, Windows、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米 国およびその他の国における登録商標です。
- フォントワークスの社名、フォントワークス、 Fontworks、フォントの名称は、フォントワーク ス株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™マークと®マークを明記していません。

正しくお使いいただくため のご注意

保管および使用場所

■ 周囲温度、湿度

許容周囲温度は0°C~40°C、湿度 30%RH~80

%RHの範囲を守ってご使用ください。許容周囲温度の範囲外でご使用されると、故障の原因となるばかりでなく、CMOSに重大な影響をあたえ画面

上に白い点があらわれる現象が発生することがあります。十分ご留意ください。

■強い電波や磁気の影響

ラジオやテレビの送信アンテナに近いところ、変 圧器、モーターなど強い磁気が発生するところや トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機 器の近くでは、画像や音声にノイズが入ったり色 彩に変化を生じることがあります。

ワイヤレスマイクをカメラの近くで使用するとき

本機で撮影中、ワイヤレスマイクおよび受信機を 使用すると、ノイズがワイヤレス受信機に飛び込 むことがありますので、ご注意ください。

■次の場所での使用や保管は避けてください。

- 極端に暑いところや寒いところ
- ゴミやほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる場所
- 振動の激しいところや不安定なところ
- 直射日光のあたる車の中や暖房機の近くに長時 間放置しないでください。

■ 放射線やX線、および腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。

■本機を水でぬらさないでください。(雨の日の撮影では、特にご注意ください)

■ 海辺で使用する場合は、本機をぬらさないよう にご注意ください。また、塩分、砂などがボディー に付着していることがあります。撮影後のお手入 れをお忘れなく。

■ 砂浜など、砂ぼこりが多い場所でご使用になる ときには、内部に砂などが入らないよう、十分注意 してください。

移動について

持ち運ぶ場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにご注意ください。

省エネについて

ご使用にならないときは、節電のため、[POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを"OFF(CHG)"に設定してください。

お手入れについて

■お手入れは、電源を切ってから行なってください。

■本機清掃時、外装キャビネット部はやわらかい 布でふいてください。シンナーやベンジンなどで はふかないでください。表面がとけたり、くもった りします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水で うすめてふき、あとでからぶきをしてください。

|バッテリー(充電式電池)について

■ 必ず専用のバッテリーをお使いください。 専用バッテリー以外をご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

■ご購入時は充電されていません。

■低温(10℃以下)で使用する場合、使用できる時間が短くなったり、動作しなくなったりすることがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。

■ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでく ださい。

■長時間使わないときは…

劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。(撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)

●半年に1回程度は充電し、使い切って保管する。
■取りはずしたバッテリーは、約15℃~25℃の乾

燥したところで保管してください。

■ バッテリーを処分するとき



不要になったバッテリーは、貴重な資 源を守るために廃棄しないで充電式電 池リサイクル協力店へお持ちくださ

Li-ion U.

はじめに

はじめに

| 定期点検(メンテナンス)について

長時間使用することにより、一般環境下でも塵埃 が付着していきます。特に屋外で使用する場合は、 塵埃がカメラ内部に入り込むことがあります。こ れらの塵埃によって、良質な画質・音質を確保でき なくなる可能性があります。9000時間をめやす に、ファンの点検、交換を行なってください。 ファンの使用時間は、〔システム〕→〔システム情 報〕→〔ファン動作時間〕項目で確認できます。

(☞ P105 [ファン動作時間])

交換めやすの 9000 時間を超えた場合、電源を入れ るたびに、"FAN MAINTENANCE REQUIRED"と表 示されます。

SDHC/SDXC カードについて

■本書では、SDHC/SDXC カードは[SD カード] と表現しています。

■本機では、撮影した映像・音声をカードスロット 内の SD カード(別売)に記録します。

■本機でフォーマットした Class 6 以上対応の SD カード(4GB~128GB)を使用してください。

- ■記録フォーマットによっては、Class4 以上対応の SD カードも使用可能です。
- (187 P38 [記録映像の解像度、ファイルフォーマットおよびビデオフォーマットを選択する])

※ Panasonic、TOSHIBA、SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

■ SD カード内に本機以外で記録したファイルや パソコンなどで書き込んだファイルが存在する場 合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない 場合があります。また、パソコンなどでファイルを 削除しても残量が増えない場合があります。

SD カードの取り扱いについて

■ アクセス中、状態表示ランプが赤に点灯します。 アクセス中(記録、再生、フォーマットなど)に SD カードを抜かないでください。また、アクセス中、 電源を切ったり、バッテリーや AC アダプターを はずさないでください。

■静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使 用や保管しないでください。

■ 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置か ないでください。

■挿入方法を間違えると、本機や SD カードの故障の原因となります。

- ■万一の事故による保存データの損害は、弊社で
- 一切の責任を負わないものとします。データのバックアップをおねがいいたします。
- 使用条件の範囲で使用ください。

次の場所では使用しないでください。 直射日光の当たる場所、熱機器の近く、炎天下の窓 を閉め切った車の中、高温多湿の場所や腐食性の ある場所、ほこりや砂ぼこりの立つところ。

■ 囲けたり、落としたり、また、強い刀や衝撃、振動を与えないでください。

- ■水でぬらさないでください。
- ■分解や改造しないでください。

■端子部を手や金属で触らないでください。
 ■端子部にほこりやゴミ、水分や異物を付着させないでください。

貼られているラベルをはがしたり、別のラベル
 やシールをはったりしないでください。

■ SD カードに文字を書く場合は鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。。

■フォーマット(初期化)を実行すると、SD カード 内の記録された映像データ、セットアップファイ ルなどを含むすべてのデータが消去されます。

■本機でフォーマット(初期化)したカードを使う ことをおすすめします。

- カメラが正しく動作しないときは、SD カード が壊れている可能性があります。フォーマット (初期化)すると正しく動作する場合もありま す。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器などでフォーマット(初期化)した SD カードを使用すると、 正しく動作しません。その場合は、本機でフォーマット(初期化)してください。

■ 破棄するためにすべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SD カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。カメラによるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。 ■ 市販の SD カードによっては、本体から取り出しにくいものがあります。カードの溝に引っ掛け

- て、取り出してください。
- 何度か出し入れすると取り出しやすくなります。
- シールなどをはらないようにしてください。



■ SD カードを取り出す場合、勢いよく飛び出ることがあります。失くさないよう十分に注意してください。

その他

■カードスロットに異物などを入れないでください。

■ 通風孔をふさがないでください。

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火傷や火災の原因となります。

■記録や再生中に、直接[POWER ON/OFF(CHG)] スイッチを切ったり、電源ケーブルをはずしたり しないでください。

■ 電源投入直後は数秒間、安定した映像が見られ ませんが故障ではありません。

■ 映像信号出力端子をご使用にならないときは、 端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けた状 態でご使用ください。

■精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えない でください。

■ レンズ光学性能について

レンズの光学性能上、画面周辺において色ズレ現 象(倍率色収差)を起こす場合があります。カメラ の故障ではありません。

■モード切り換え時、画面にノイズがでることが あります。

■横にして使用すると放熱効果が悪くなります。
 ■電源は付属の AC アダプターをご使用くださ

い。また付属の AC アダプターは、他で使用しない でください。

■端子カバーがある端子を使用しない場合は、端子の破損を防ぐため端子カバーを取り付けてください。

■本機では、フォントワークス株式会社のフォントを使用しています。

■本機では、M+FONTSを使用しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引 き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう 要求されることがあります。 VCCI-A

LCD モニターおよびビューファインダーに ついて

■ LCD モニターやビューファインダー画面は精度の高い技術で作られています。LCD モニターや ビューファインダー画面に黒い点が現れたり、赤、 青、白の点が消えなかったりすることがあります が、故障ではありません。これらの点は、記録され ません。

■ 長時間連続して使用した場合、ビューファイン ダー画面に表示した文字などが、一定時間残るこ とがあります。これは、SD カードには記録されま せん。また、一度電源を入れ直すと、表示されませ ん。

■ 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて 見えることがありますが、故障ではありません。こ の残像は記録されません。

■表面を強く押したり強い衝撃を与えないでくだ さい。傷がついたり、割れる場合があります。

■撮影画像と再生画像の切り換え時、ビューファインダー画面にノイズが出ることがあります。

■ビューファインダー表示のデバイスの特性上、 まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見え るときがありますが、故障ではありません。また、 記録される映像、SDI出力、HDMI出力などには影 響ありません。

著作権について

本機で記録・録音したものを営利目的、または公衆 に視聴することを目的として放映することは、著 作権法上で保護されている著作者の権利を侵害す る恐れがありますのでご注意ください。 記録(録音)したものは、個人として楽しむなどの ほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

ライセンスに関するご注意

MPEG LA AVC

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行 なっている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています: (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、 MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、 AVC Video といいます)にエンコードすること。 (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエ ンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライ センスを取得したプロバイダーがエンコードした ものに限られます)をデコードすること。 なお、その他の用途に関してはライセンスされて いません。プロモーション、商業的に利用すること に関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

HTTP://WWW.MPEGLA.COM

MPEG LA MPEG-2 Patent

個人使用目的以外で、MPEG-2 規格に適合した本 機を、パッケージメディア用にビデオ情報をエン コードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIO の特許に関するライセンスを取得す る必要があります。 尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.(住所:

同、当該フィビンスは、MPEG LA. L.L.C.(注別・ 6312 S. Fiddlers Green circle, Suite 400E, Greenwood Village, Colorado 80111 U.S.A.)より 取得可能です。

動作モードについて

本機の動作モードには、カメラモード、メディアモード、USB モードの3つのモードがあります。



はじめに

| 動作モード | 説明 |
|---------|---|
| カメラモード | カメラ撮影のためのモードです。本機は電源を入れるとカメラモードで立ち上がります。 ビューファインダーやLCDモニターにカメラ映像が出力されます。また、記録可能なSDカードが挿入されている場合は、撮影スタンバイモードとなります。LCDモニターやビューファインダーの動作モード表示部に"STBY"が表示されます。 この状態で[REC]トリガーボタンを押すと、記録を開始します。 メモ: カメラモードではSDカードの再生はできませんが、直前に記録したクリップの映像を確認することは可能です。 (☞ P66[記録した映像をすぐに見る(クリップレビュー)]) |
| メディアモード | SD カードに記録されたクリップを再生・削除などを行うためのモードです。 再生可能な SD カードが挿入されている場合は、ビューファインダーや LCD モニターにサムネイル画面や再生画面が出力されます。 カメラモードで記録状態ではないとき、[MODE]切換ボタンを押すとメディアモードになります。メディアモードに切り換わると、選択されていたメディアスロットのサムネイルが表示されます。 |
| USB モード | パソコンと接続し、SD カードのファイルをパソコンに転送するモードです。 本機に USB ケーブルを接続すると"USB モードに 切り替えますか?"とメッセージが表示されます。 [切り替え]を選択し、セットボタンを押すと、USB モードに切り換わります。 (☞ P126 [パソコンでクリップを管理・編集する]) USB モードはパソコンなどからはその周辺機器のドライブとして認識されます。 (USB マスストレージクラスのみ) 接続パソコン上で接続停止処理を行い、USB ケーブルを本機から抜けば、カメラ モードに切り換わります。 (☞ P126 [パソコンでクリップを管理・編集する]) メモ: 記録中に USB ケーブルを接続した場合、記録停止した段階でメッセージが表示されます。 再生中であれば再生停止など、ファイルを自動的にとじてからメッセージが表示されます。 パソコンから SD カードへままひおことはできません。 |

はじめに

各部の名称



- 内蔵マイク (☞ P55 [録音する])
- タリーランプ (☞ P30 [タリーランプについて])
 (☞ P131 [タリーランプの点滅])
- マイクホルダー (© P19 [外部マイクの取り付け])
- ④マイクホルダー固定ノブ (☞ P19 [外部マイクの取り付け])
- シュー 別売のライトやアクセサリーを取り付けるこ とができます。
- ⑤ [FIX/VAR/OFF]ズームスピード切換スイッチ (☞ P40 [ズーム動作について]) ハンドルズームレバー ⑦ のズームスピードを 切り換えます。
- ⑦ アクセサリー取り付け用ねじ穴
- 3 三脚取り付け用穴 (☞ P19 [三脚に取り付ける])
- [REC]記録トリガーボタン
 記録をスタート/ストップさせます。
 また、メニューで機能を変更できます。
 (☞ P90 [Front REC])

メモ:-

 グリップ部の[REC]ボタン (1)、ハンドル上部の [REC/HOLD]ボタン (2) と連動しています。

- [ZOOM SERVO/MANUAL]ズーム操作サーボ/ マニュアル切換スイッチ グリップズームレバー ② ハンドルズームレ バー ② を使用する場合、"SERVO"にします。 (ISP P40 [ズーム動作について])
- ① モニタースピーカー (☞ P79 [再生時の音声出力について])
- ビューファインダー (ms P28 [LCD モニターとビューファイン ダーの調整])
- ⑦ 視度調整レバー (IFST P28 [LCD モニターとビューファイン ダーの調整])
- アイカップ ビューファインダー画面やカメラマンの視覚 に外部から光が入らないようにします。 (☞ P19 [大型アイカップを取り付ける])
- びッテリー (☞ P20 [バッテリーパックを使う])
- [①]ヘッドホン端子(Φ3.5mm)
 (☞ P57 [ヘッドホンで記録時の音声をモニターする])
- ① [AUX]AUX 入力端子(Ф3.5mm)
 ワイヤレスマイクの受信機などを接続します。





- [REC]記録トリガーボタン
 記録をスタート/ストップさせます。
- メモ:----
- レンズ下部の[REC]ボタン ①、ハンドル上部の [REC/HOLD]ボタン ③ と連動しています。
- ① [C.REVIEW/7]クリップレビュー/ユーザー 7 ボタン

直前に撮影した映像を確認します。

(☞ P66 [記録した映像をすぐに見る(クリッ プレビュー)])

また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもできます。

(INF P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

- グリップズームレバー グリップズームレバーでズームサーボを動作 させるには[ZOOM SERVO/MANUAL]切換ス イッチ ^①を"SERVO"にします。 (INF P40 [グリップズームレバーを使う])
- [TC] TC 入出力端子
 (Image P58 [タイムコードとユーザーズビット について])
- ② [IN/OUT] TC IN/OUT 選択スイッチ (w P62 [タイムコードをもう一台のカメラ に同期させる])
- ⑦ フード取りはずしボタン
 (☞ P20 [フードを取り付ける・取りはずす])

- ④ [INPUT1/INPUT2]オーディオ入力端子1、2
 (XLR 3pin x 2)
 (INPUT2) (MARCH 10 (
- (PREC/HOLD)記録トリガーボタン/ロックス イッチ 記録をスタート/ストップさせます。 スイッチを[HOLD]の位置にすると[REC]トリ ガーボタンがロックされます。
- メモ:ー
- グリップ部の[REC]ボタン (1)、レンズ下部の [REC]ボタン (1) と連動しています。
- グリップ部の[REC]ボタン ()、レンズ下部の [REC]ボタン ()はロックされません。
- ⑦ ハンドルズームレバー
 (☞ P40 [ハンドルズームレバーを使う])
- ショルダーベルト取り付け部(2か所) ショルダーベルト(別売)を取り付けます。

ご注意:-

- 本機の質量に耐えられる強度をもったショル ダーベルトをご使用ください。
- ショルダーベルトの取り付けが不十分な場合、 本機が落下し、怪我をする恐れがあります。
- 使用の前に、ショルダーベルトに添付されている[取扱説明書]を確認してください。
- (POWER/CHG]電源/充電表示ランプ (IFT P20 [バッテリーパックを使う])

はじめに



● [FOCUS AUTO/MANU/∞] フォーカス切換ス イッチ

(IPP P41 [フォーカス動作について])

- [ND FILTER] ND フィルター切換スイッチ (INP P50 [ND フィルターを設定する])
- ⑧ [PUSH AUTO] フォーカスプッシュオートボ タン (☞ P42 [ワンプッシュオートフォーカス])
- ④ [IRIS] アイリスオート/マニュアル切換ボタン (☞ P46 [アイリスを調節する])
- [PUSH AUTO] アイリスプッシュオートボタン
 - (☞ P46 [アイリスを調節する])
- [GAIN] ゲインオート/マニュアル切換ボタン・
 [L/M /H] 感度選択スイッチ
 (rsr P47 [ゲインを設定する])
- ⑦ [WHT BAL]ホワイトバランスオート/マニュア ル切換ボタン・[B/A/PRESET] 選択スイッチ (☞ P51 [ホワイトバランスを調整する])
- [SHUTTER] シャッタースピードオート/マニュアル切換ボタン (☞ P48 [電子シャッターを設定する])
- **⑨** [▲] ワンプッシュオートホワイトバランスボタン

● [AE LOCK/4] AE ロック/ユーザー4ボタン ゲイン、アイリス、シャッターで"AUTO"に設定 されている機能、およびホワイトバランスを [AE LOCK/4]ボタンを押した時点の値に固定 します。 また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもでき ます。 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け]) [ZEBRA/5]ゼブラ/ユーザー5ボタン
 (INF P63 [ゼブラパターンを設定する])
 また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもできます。

(IPP P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

- [MARKER/6] マーカー/ユーザー6ボタン マーカー、セーフティーゾーン、センターマー クの表示:非表示を切り換えます。
 また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもでき ます。
 (war P30 「ユーザーボタンの機能割り付け」)
- [MODE] カメラ/メディアモード切換ボタン (INP P10 [動作モードについて])
- (POWER ON/OFF(CHG)] ロック付き電源 ON/ OFF スイッチ
 - 電源を ON/OFF にするスイッチです。 ● 中央のロックボタン(青色)を押しながら、
 - ON/OFF を切り換えます。 • 電源 OFF 操作時、"P.OFF"が LCD モニター
 - やビューファインダーに表示されます。
 - 電源を再投入する場合は、5秒以上時間をあ けてください。
- (● 十字ボタン(▲▼◀▶)/セットボタン(●) カメラの動作状況によって機能が変わります。 ■メニュー操作時(各モード共通) (☞ P84 [メニュー画面での基本操作]) 中央セットボタン(●):メニュー項目や設定 値の決定 +字ボタン(▲▼) メニュー項目や設定 値の選択 ■ カメラモード時 シャッター操作: 中央セットボタン(●): シャッター ON/OFF +字ボタン(▲▼) シャッター ON 時の シャッター速度の切 り換え

+字ボタン(◆) : AE レベル操作

メモ:-

 「カメラ機能] → [AE LEVEL スイッチ]項目を "AE LEVEL/VFR"に設定した場合、バリアブルフ レームレック時、十字ボタン(◆)はフレーム数 設定として動作します。 (128 P75 [バリアブルフレームレック]) (128 P89 [AE LEVEL スイッチ])

 ● [LOLUX/3] 低照度撮影/ユーザー3ボタン 低照度撮影モードの ON/OFF を切り換えます。 また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもでき ます。
 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

- [OIS/2] 光学式手ぶれ補正/ユーザー2ボタン 手ぶれ補正機能の ON/OFF を切り換えます。 メニューで特定の機能を1つ割り付け、ユー ザーボタンとして機能させることもできます。 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])
- (POCUS ASSIST/1] フォーカスアシスト/ユー ザー1ボタン フォーカスアシスト機能の ON/OFF を切り換えます。
 (INP P43 [フォーカスアシスト機能]) また、メニューで特定の機能を1つ割り付け、 ユーザーボタンとして機能させることもできます。

(IPT P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

- - カメラモード時はメニュー画面を表示します。
 - メニュー画面が表示された状態で[MENU/ THUMB]ボタンを長押しすると[メインメニュー]画面と[お気に入りメニュー]画面が 切り換わります。
 - (☞ P84 [メニュー画面での基本操作])
 - メディアモード時、サムネイル表示中に押す とメニュー画面が表示されます。
 - メディアモード時、再生画面表示中に押すと 再生を停止してサムネイル画面を表示しま す。

SD スロット部



- SD カードカバー
- [SLOT A/B] カードスロット切換ボタン 撮影時および、再生時にアクティブとなるカー ドスロットを切り換えます。
- 3 カードスロット B 状態表示ランプ
- ④ カードスロットA状態表示ランプ

背面端子部



- [DEVICE] USB mini 端子
 (☞ P126 [パソコンでクリップを管理・編集する])
- [AV] AV 出力端子 (INP P127 [外部モニターを接続する])
- [HD/SD SDI] SDI 出力端子(BNC)
 (INF P102 [SDI 記録トリガー])
 (INF P127 [外部モニターを接続する])
- ④ [HDMI] HDMI 出力端子
 (☞ P127 [外部モニターを接続する])
- [REMOTE] リモート端子
 (INP P129 [ワイヤードリモコンを接続する])
- [DC] DC 入力端子
 DC12V 電源入力端子です。付属の AC アダプ ターと接続します。
 (rs P22 [AC 電源を使う(DC IN 電源)])



- LCD モニター部 (☞ P28 [LCD モニターとビューファイン ダーの調整])
- 2 [MENU/THUMB] メニュー/サムネイルボタン
 - カメラモード時はメニュー画面を表示します。
 - メニュー画面が表示された状態で[MENU/ THUMB]ボタンを長押しすると[メインメ ニュー]画面と[お気に入りメニュー]画面が 切り換わります。
 - (INF P84 [メニュー画面での基本操作])
 - メディアモード時、サムネイル表示中に押す とメニュー画面が表示されます。
 - メディアモード時、再生画面表示中に押すと 再生を停止してサムネイル画面を表示しま す。
- ⑧ LCD 十字ボタン(▲▼◆)/セットボタン(●)
 カメラの動作状況によって機能が変わります。
 メニュー操作時(各モード共通)
 - (INF P84 [メニュー画面での基本操作])
 中央セットボタン(●):メニュー項目や設定値の決定
 十字ボタン(▲▼)
 :メニュー項目や設
 - 定値の選択
 - カメラモード時
 メニューで特定の機能を1つ割り付け、ユー ザーボタンとして機能させることができます。
 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])
- [CANCEL] キャンセルボタン
 各種設定のキャンセル、再生停止を行います。
- [CH1/CH2] CH1/CH2 録音レベル調節つまみ (INP P55 [録音する])

[LCD BRIGHT +/-] LCD 表示明るさ調整ボタン

(☞ P28 [明るさを調整する])

- 「PEAKING +/-] LCD/VF 輪郭調整ボタン
 (www P29 [輪郭を調整する(LCD)])
 (www P29 [輪郭を調整する(ビューファイン
 ダー)])
)
- 8 [DISPLAY] ディスプレイボタン
 - 通常画面時(メニュー画面が表示されていない状態)、[DISPLAY]ボタンを押すとディスプレイ画面が切り換わります。
 - (IN P26 [ディスプレイ画面])
 - メニュー画面が表示された状態で [DISPLAY]ボタンを押すと、[メインメ ニュー]画面と[お気に入りメニュー]画面が 切り換わります。
 (1) P84 [メニュー画面での基本操作])
- ⑤ [STATUS] ステータス画面表示切り換えボタン 通常画面時(メニュー画面が表示されていない 状態)、[STATUS]ボタンを押すとステータス画 面がビューファインダーや LCD モニターに表 示されます。
 (Image P27 [ステータス画面])
- [MONITOR]/[+/-] 音声モニター選択スイッ チ/音量調整ボタン 音声モニターの切り換え、モニタースピー カー/ヘッドホンの音量を調整します。 (☞ P57 [ヘッドホンで記録時の音声をモニ ターする])
- ① [INPUT1/INPUT2] オーディオ入力信号選択ス イッチ (128 P55 [録音する])
- [CH2] CH2 オーディオ入力信号選択スイッチ
 CH2 に記録する音声入力端子を選択します。
 (rsr P55 [録音する])
- [CH1] CH1 オーディオ入力信号選択スイッチ (INP P55 [録音する])



- フィルターはめ込みねじ
 - レンズ保護のための透明フィルターやUV フィルター、各種効果のためのフィルターを 装着できます。
 - 装着可能フィルター径:Φ72mmP0.75
- メモ:-
- フィルター取り付け時は、レンズフードをはずしてください。
 (☞ P20 [フードを取り付ける・取りはずす])
- 2 レンズカバー開閉スイッチ (☞ P20 [レンズカバーの開閉])
- 3 フォーカスリング (INT P41 [フォーカス動作について])
- ズームリング (IFF) (I
- ⑦アイリスリング (☞ P46 [アイリスを調節する])
 オートアイリスを動作させるには側面操作パネルの[IRIS]ボタンを押します。
 (画面上に▲マークが表示)

基本システム図



使用前の設定・調整

グリップベルトを調整する

パッドをひらいてグリップベルトの位置を調整してください。



ご注意:-

 ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因 になります。

外部マイクの取り付け

マイクホルダーに別売のマイクを取り付けます。



- マイクホルダーのノブを反時計方向にまわしてゆるめ、マイクホルダーをひらく
- 2 マイクをマイクホルダーにセットする
- 3 マイクホルダーのノブを時計方向にまわし、マ イクを固定する
- マイクケーブルを[INPUT1]、または[INPUT2] 入力端子に接続する
- 5 マイクケーブルをクランプにはさむ
- マイク用の設定を正しく行う (☞ P55 [録音する])

┃三脚に取り付ける

本機底面のねじ穴を使用します。 (3/8×16UNC、1/4×20UNC) 三脚に合う方のねじ穴を使用してください。 落下などによるけがや故障をふせぐため、お使い の三脚の[取扱説明書]を見て、確実に取り付けて ください。



ご注意:-

- 三脚は、安定した場所でお使いください。
- 落下防止のため、回転防止穴を利用して確実に 取り付けてください。
- ねじ長さは 5mm 以下のものを使用してください。

大型アイカップを取り付ける

- ビューファインダー画面やカメラマンの視覚に 外部から光が入らないよう、付属の大型アイカッ プを取り付けます。
- 本体に装着されているアイカップの溝にあわせて取り付けます。
- 大型アイカップはどの方向でも取り付けること ができます。



メモ:-

 本体にあらかじめ装着されているアイカップは はずさないでください。 準備

レンズカバーの開閉

レンズカバーの開閉は、レンズカバー開閉スイッ チで行います。 撮影する場合、レンズカバーをあけてください。 本機を使用しないときは、レンズを保護するため、 レンズカバーをとじてください。



ご注意:-

レンズカバーを強く押さないでください。
 レンズやカバーが破損するおそれがあります。

フードを取り付ける・取りはずす

取り付ける

本体とフードの印を合わせて、矢印の方向にロッ クされるまでまわします。



はずす

- レンズ前面にテレコンバータ、ワイドコンバー タまたはフィルターを取り付ける場合は、フー ドをはずしてください。
- フード取りはずしボタンを押しながらフードを 反時計方向にまわすと、フードがはずれます。



電源について

本機はバッテリーパック、または AC アダプター をつないで使用します。 (☞ P20 「バッテリーパックを使う】)

(☞ P22 [AC 電源を使う(DC IN 電源)])

ご注意:---

 本機を動作させる電源を変更する場合は、 [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを "OFF(CHG)"にしてから行なってください。

┃ バッテリーパックを使う

バッテリーを充電する

お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電します。 ※購入時、バッテリーは、充電されていません。



- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロッ クボタン(青色)を押しながら、"OFF(CHG)"に する
- 付属のバッテリーを取り付ける
 「カチッ」と音がするまでスライドします。
- 3 [DC]端子に付属の AC アダプターをつなぐ [DC]端子のカバーをひらき、図のように接続 します。
- 4 AC アダプターをコンセントにつなぐ
 ・ 充電中、[POWER/CHG]ランプが点滅、おわると消灯します。
 - 充電がおわったら、AC アダプターをはずし てください。

メモ:-

 充電中、[POWER/CHG]ランプの点滅で充電量 がわかります。

| [POWER/CHG]ランプ | 充電量 |
|-----------------|------------|
| オレンジ点滅(4 回/1 秒) | 充電量 25%未満 |
| オレンジ点滅(3 回/1 秒) | 充電量 50%未満 |
| オレンジ点滅(2 回/1 秒) | 充電量 75%未満 |
| オレンジ点滅(1 回/1 秒) | 充電量 100%未満 |
| 消灯 | 満充電 |
| | |

バッテリーをはずす



- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロッ クボタン(青色)を押しながら、"OFF(CHG)"に する
- 2 [BATT. RELEASE]ボタンを押しながら、矢印 の方向にバッテリーを押し上げはずす

ご注意 : -

- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチが"ON"の状態でバッテリーを取りはずさないでください。
- ・
 「ッテリーで動作中に DC ケーブルの抜き差し は行わないでください。
- バッテリーを入れた状態で放置すると、本機の [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを "OFF(CHG)"にしても、電力をわずかに消費して います。本機を使用しないときはバッテリーを 取りはずしてください。

進

備

充電時間・連続動作時間のめやす

■ 充電時間(SSL-JVC50: 付属品) 約4時間

メモ:-

- バッテリーは充分に放電してから充電してください。充分に放電しないで、充電を繰り返すと、 バッテリーの容量低下の原因になります。
- 浅い充電、放電を繰り返して容量が低下した場合は、一度充分に放電・充電すれば容量が回復することがあります。
- ることがあります。 ● 使用直後、バッテリーの温度が上昇した状態で 充電すると、完全に充電されないことがありま す。
- 10 °C~35 °C での充電をおすすめします。低温
 (10 °C 以下)では、十分に充電されないことや、
 充電に時間がかかることがありますので、ご注意ください。

■連続動作時間(SSL-JVC50: 付属品) 約2時間45分

メモ:-

- 時間はめやすであり、実際の動作時間はバッテ リーの古さ、充電状況、動作環境などによって異 なります。
- 寒冷地では動作時間が短くなります。
- 電動ズーム使用、アクセサリーの接続やLCDモニターを多用すると動作時間が短くなります。
- 予備のバッテリー、バッテリーチャージャーの 購入につきましては、お近くのサービス窓口へ お問い合わせください。

バッテリーについてのご注意

- バッテリーを使わないときは、涼しい乾燥した場所に保管してください。高温になる場所(直接日光の当たる車内など)に放置しないでください。液モレや寿命を早める原因になります。
- 充電直後でも動作時間が大幅に短くなったら、 バッテリーの寿命と思われます。新しいものを お買い上げください。

AC 電源を使う(DC IN 電源)

AC 電源で動作させる場合は、付属の AC アダプ ターを使用します。



- AC アダプターの DC ケーブルを本機の[DC] 端子に接続する
 - 本機の電源が"OFF(CHG)"になっていること を確認します。
 - [DC]端子のカバーをひらき、図のように接続します。
- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロッ クボタン(青色)を押しながら、"ON" にする カメラに電源を供給します。

ご注意:-

- 記録中に DC ケーブルの抜き差しは行わないでください。
- 電源電圧変動の大きい電源やリップルなどのノイズがある電源、容量が不足している電源は使用しないでください。

内蔵電池の充電

- 日付・時刻やタイムコードデータは内蔵の充電 式電池を使って保存しています。
- 内蔵電池は、本機に電源が接続されている場合、
 常に充電されますが、本機から電源をはずした場合、徐々に放電されます。
- 約3か月使用しないと完全に放電してしまい、 設定した日付・時刻やタイムコードデータはリ セットされます。その場合、[POWER ON/ OFF(CHG)]スイッチを"ON"にすると日付・時刻 を設定する[初期設定]画面が表示されますの で、設定を行なってください。
 (Image P24 [初期設定])

電源状態の表示

ビューファインダー画面や LCD モニター

電源の状態は、ディスプレイ画面やメニュー画面 などで表示されます。

| 表示例 | 説明 |
|--|---|
| 100min 30% RES | バッテリーで駆動しています。 バッテリー残量がなくなった場合 は、電池マークが空になり、"RES" (黄色)と表示されます。 メモ: ・表示は、[LCD/VF 設定] → [表 示設定] → [バッテリー]項目 で、表示項目を設定できます。 (☞ P100 [バッテリー]) |
| • | AC アダプターで駆動しています。 |

メモ:-

付属のバッテリー(または同等別売品)を使用しない場合、容量を示す電池マークが表示されない場合があります。

ディスプレイ画面

(w P113 [カメラモード時のディスプレイ画面])
 (w P118 [メディアモード時のディスプレイ画面])



メニュー画面

(☞ P85 [メニュー画面の表示と説明])

| 撮影補 | 助 💷 | • |
|----------------------|---------|---|
| フォーカスアシスト | - 切 | |
| タイプ | 通常 | |
| カラー | 青 | |
| ゼブラ | 切 | |
| 上限 | | |
| 下限 | — | |
| DISPLAY お気に入り | USER1追加 | |

ランプや警告音での警告

警告状態になると、タリーランプや警告音で知ら せます。

- タリーランプが点滅します。
- 警告音は、モニタースピーカーまたは[①]端子から出力されます。

メモ:-

 電源警告状態で使用をつづけ、AC アダプター からの供給電圧がさらに低下したり、バッテリー 残量が少なくなると、本機は自動的に動作を停止します。

ご注意:-

 バッテリー残量、バッテリーの残り時間はバッ テリーからの情報をそのまま表示しています。 バッテリーの状態によっては、正確なデータが 表示されない場合があります。バッテリー残量、 バッテリーの残り時間が少なくなった場合は、 はやめにバッテリーを交換してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

 [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロック ボタン(青色)を押しながら、"ON"にする 本機に電源が供給されカメラモードになります。

メモ:-

 [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを"ON"にする と、必ずカメラモードになります。モードの切り換 えは、カメラ本体側面の[MODE]ボタンで行いま す。

(INP P10 [動作モードについて])



電源を切る

本機を撮影スタンバイまたは停止モードにします。

- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロック ボタン(青色)を押しながら、"OFF(CHG)" にする
- 2 バッテリーや[DC]端子の電源をはずす(長時間使 用しない場合)

オートパワーオフ機能

[システム] → [オートパワーオフ]項目を"入"に設定時、バッテリー接続で5分以上操作および動作しない 場合、自動的に電源が切れます。 (☞ P105 [オートパワーオフ])

準

儘

XE:-

バッテリーと AC アダプター両方が接続されている場合は、AC アダプター接続が優先されます。そのため、[オートパワーオフ]機能は有効になりません。

ご注意:-

- 記録中、[POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを "OFF(CHG)"にしないでください。動作モード表示 が"STBY"または"STOP"となっていることを確認し てから、電源を切ってください。
- 記録中に[POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを
 "OFF(CHG)"にしてしまった場合、5 秒以上時間を あけてから電源を再投入してください。
- 電源を切る場合、はじめに本機の[POWER ON/ OFF(CHG)]スイッチを"OFF(CHG)"にしてください。[POWER ON/OFF(CHG)]スイッチが"ON"の状態で、バッテリーをはずしたりAC電源を切ったりしないでください。

初期設定

はじめて電源を入れたとき、本機内の初期設定を行うため初期設定画面が表示されます。

その後、[初期設定]画面で、内蔵時計の日付・時刻 を設定します。

初期設定が完了するまで、他の操作は一切できません。



メモ:-

- 電源はACアダプターを使用することをおすすめします。
- レンズカバーをとじてください。
- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロックボタン(青色)を押しながら、"ON"にする 言語選択画面が表示されます。



- メモ:-
- LCD モニター・ビューファインダー画面のメニューやメッセージは、設定した言語で表示されます。
- 2 十字ボタン(▲▼)でカーソルを動かし、使用す る言語を選択し、セットボタン(●)を押す 初期設定画面が表示されます。



- 3 レンズカバーがとじていることを確認し、セットボタン(●)を押す
 - 自己診断が開始されます。
 - 実行中はプログレスバーが表示され、"診断 が完了しました"と表示されると終了となり ます。



- メモ:-
- 終了まで約6分かかります。実行中は本機を操作したり、電源を切ったりしないでください。
- 4 終了画面確認後、セットボタン(●)を押す [初期設定]画面が表示されます。



メモ:-

- [初期設定]画面は、初めて電源を入れたときや、
 内蔵電池が完全に放電したあとに電源を入れたときに表示される画面です。
- 設定した日付・時刻データは電源を切っても内蔵の充電式電池によって保持されます。

5 タイムゾーンと日時を設定する

- (1) 十字ボタン(◆)でカーソルを動かし、設定す る項目を選択する
- (2) 十字ボタン(▲▼)で数値変更する
- 6 設定が完了したら、時報に合わせてセットボタ ン(●)を押す 入力された日時の0秒に時計がセットされま す。

XE:-

- 設定した日付・時刻データは LCD モニターや ビューファインダー画面に表示したり、SD カー ドに記録することができます。 ・ 設定できる年は、"2000"から"2099"です。

初期設定後に時刻を変更する場合

日時の設定

(☞ P105 [日時設定])

- 「システム] → 「日時設定〕項目を選択する [日時設定]画面が表示されます。
- 2 日時を設定する
- (1) 十字ボタン(▲)でカーソルを動かし、設定す る項目を選択する
- (2) 十字ボタン(▲▼)で数値変更する
- 3 設定が完了したら、時報に合わせてセットボタ ン(●)を押す 入力された日時の0秒に時計がセットされま す。

表示スタイルの変更

日付・時刻の表示スタイルはメニューで変更でき ます。

日付表示(日付書式)の設定

(☞ P101 [日付書式]) 日付表示は、「LCD/VF 設定] → 「表示設定] → 「日 付書式]項目で変更できます。

時刻表示(時間表示)の設定

(☞ P101 [時間表示]) 時刻表示は、「LCD/VF 設定] → 「表示設定] → 「時 間表示]項目で変更できます。

各動作モードでの日付・時刻表示

カメラモード時: 内蔵時計の日付・時刻が表示されます。 メディアモード時: 再生しているクリップの撮影日付・時刻が表示さ れます。

準 備

LCD モニター/ビューファイ ンダーの表示

撮影中は、LCD モニター・ビューファインダー画面 の映像にカメラの状態や SD カードの情報、ゼブ ラパターンや各種マーカーを重ねて表示すること ができます。

メモ:一 進 ●「メイン

備

 ・[メインメニュー]→[映像/音声設定]→[映像設定]→[外部モニター情報表示]項目を"入"のとき、映像信号出力端子の映像にもディスプレイ 画面やメニュー画面が表示されます。
 (☞ P101 [外部モニター情報表示])

| ディスプレイ画面

カメラモード時のディスプレイ画面(VF/LCD)

(INP P113 [カメラモード時のディスプレイ画 面])

- [DISPLAY]ボタンを押すたびに3種類の画面 が切り換わり表示されます。
 (ディスプレイ0→1→2→0)
- [STATUS]ボタンを押すとステータス画面に切り換わります。



メディアモード時のディスプレイ画面(VF/LCD)

(INP P118 [メディアモード時のディスプレイ画 面])

- メディアモードでクリップ再生中の画面表示です。
- [DISPLAY]ボタンを押すたびに3種類の画面 が切り換わり表示されます。
 (ディスプレイ0→1→2→0)



ステータス画面

- •現在の設定状態を確認するための画面です。
- ステータス画面を表示するには、通常画面時、 [STATUS]ボタンを押してください。
- ステータス表示内容は動作モード(2種類)によって異なります。
 (127 P10 [動作モードについて])
- [STATUS]ボタンを押すとディスプレイ画面に 切り換わります。
- [カメラ 1]/[カメラ 2]画面以外の各ステータス 画面で[MENU]ボタンを押すと、各設定画面に はいれます。
- +字ボタン(◆)で下記のように画面が切り換わります。



USB モード時の画面

USB モードを示す画面となります。



警告表示

ディスプレイ画面(カメラモード、メディアモード)表示中、警告表示します。

(☞ P130 [エラーメッセージと対応])



警告表示エリア

準備

LCD モニターとビューファ インダーの調整

LCD モニターの調整

本機は、ビューファインダー、LCD モニターの両方 または片方で映像をモニターできます。



LCD モニターとビューファインダー画面 (VF)の表示の関係

[LCD/VF 設定] → [LCD+VF]項目が"切"のとき

(IN P97 [LCD+VF])

| LCD モニターの状態 | | LCD 表示 | VF 表示 |
|-------------|--------|--------|-------|
| LCD 閉 | LCD 通常 | OFF | ON |
| | LCD 反転 | ON | OFF* |
| LCD 開 | LCD 通常 | ON | OFF* |
| | LCD 反転 | ON | OFF* |

※[LCD/VF 設定] → [LCD+VF]項目が"入"のとき は ON になります。

メモ:---

- LCD モニターの ON/OFF の切り換えは [DISPLAY]ボタンを 2 秒間長押ししてください。
- [DISPLAY]ボタンの長押しによる LCD モニター 表示とビューファインダー表示の切り換え機能 は、設定後に、LCD モニターの開閉および LCD モ ニターの回転操作を行うと解除されます。
- [LCD/VF 設定] → [LCD+VF]項目が"入"のとき、 ビューファインダー画面は常に表示されます。
- [LCD/VF 設定] → [LCD+VF]項目を"入"に設定すると、LCD モニターとビューファインダー画面を同時に表示することができます。
 (☞ P97 [LCD+VF])



- 1 LCD カバーをひらく
- LCD モニターを傾け、見やすい位置にする LCD モニターを回転させ角度を調整します。
 - LCD モニターはひらいた状態で、上向きに 180 度、下向きには 90 度まで回転します。
 - 上向きに 180 度回転させると、レンズ側からLCD モニターを見ることができます。このとき対面表示で見たい場合、下記設定を行います。
 [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] →
 [LCD ミラー表示]項目を"ミラー"に設定 →
 セットボタン(●)

(☞ P98 [LCD ミラー表示])

3 LCD モニターの明るさ・輪郭・コントラストを 調整する LCD モニターは使用条件に合わせて角度や画 面の明るさなどを変えることができます。 明るさなどを変えても、撮影画像に影響はあり ません。

明るさを調整する

[LCD BRIGHT +/-]ボタンで LCD モニターの 明るさを調節します

- [+]ボタンで明るく、[-]ボタンで暗くなり ます。
- [+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと標準 設定に戻ります。
- 調整中、LCD モニターに明るさのレベルが 表示されます。



輪郭を調整する

[PEAKING +/-]ボタンで LCD モニターの輪 郭を調整します。

(同時にビューファインダー画面の輪郭も調整 されます。)

- [+]ボタンで輪郭補正が強く、[−]ボタンで 輪郭補正が弱くなります。
- [+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと標準 設定に戻ります。
- 調整中、LCD モニターに輪郭のレベルが表示されます。



メモ:-

 メディアモード時、[PEAKING +/-]操作は無効 となり、"-10"で固定されます。

コントラストを調節する

[LCD コントラスト]メニューで LCD モニター のコントラストを調節します。

- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [LCD コントラスト]項目で調整します。
- 数字が大きいほど、明暗の差が大きくなります。
 [設定値:+10~-10](初期値:0)

ビューファインダーの調整

ビューファインダーは使用条件に合わせて画面の 明るさやピーキングなどを変えることができま す。

明るさなどを変えても、撮影画像に影響はありません。



ご注意 : -

- 本機では、正確なフォーカス合わせの環境を提供するため、ビューファインダーの高精細化をはかっています。表示デバイスの特性上、まばたきをした瞬間など、映像に色がのって見えるときがありますが、故障ではありません。また、記録される映像、SDI出力、AV出力、HDMI出力などには影響ありません。
- 1 ビューファインダーを垂直方向に傾けて、見や すい位置にする
- 2 視度調整レバーをまわして視度を調整する 視度調整レバーをまわすことによってビュー ファインダー画面の画像がはっきりと見える ようにします。
- 3 ビューファインダー画面の明るさ・輪郭・コン トラストを調整する

明るさを調整する

[VF 明るさ]メニューでビューファインダー画 面の明るさを調節します。

- [メインメニュー]→[LCD/VF 設定]→[VF 明 るさ]項目で調整します。
- 数字が大きいほど明るくなります。
 [設定値:+10~-10](初期値:0)

輪郭を調整する

[PEAKING +/-]ボタンでビューファインダー画 面の輪郭を調整します。 同時に LCD モニターの輪郭も調整されます。 (war P29 [輪郭を調整する])

メモ:-

- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [LCD
 +VF]項目が"切"の場合、[DISPLAY]ボタンを2
 秒以上長押しして、表示をビューファインダー
 に切り換えてから操作してください。
- メディアモード時、[PEAKING +/-]操作は無効 となり、"-10"で固定されます。

コントラストを調節する

[VF コントラスト]メニューでビューファイン ダー画面のコントラストを調節します。

- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [VF コントラスト]項目で調整します。
- 数字が大きいほど、明暗の差が大きくなります。
 [設定値:+10~-10](初期値:0)

白黒表示にする

- ビューファインダー画面を白黒表示にするこ とができます。
- 「メインメニュー] → 「LCD/VF 設定] → 「VF カラー]項目 → セットボタン(●) → "切"を 選択する → セットボタン(●) (☞ P97 [VF カラー])

ユーザーボタンの機能割り 付け

以下のボタンに機能を割り付け、ユーザーボタン として使用することができます。

使い勝手に応じて機能を割り付けて使用できま す。

それぞれのボタンに対応したメニュー項目で設定 を行います。

| ボタン | メニュー項目 |
|-----------------------|-----------|
| [FOCUS ASSIST/1]ボタン | [USER1] |
| [OIS/2]ボタン | [USER2] |
| [LOLUX/3]ボタン | [USER3] |
| [AE LOCK/4]ボタン | [USER4] |
| [ZEBRA/5]ボタン | [USER5] |
| [MARKER/6]ボタン | [USER6] |
| [C.REVIEW/7]ボタン | [USER7] |
| LCD 十字ボタン(▲) | [LCD ≠—▲] |
| LCD 十字ボタン(▼) | [LCD ≠-▼] |
| LCD 十字ボタン(◀) | [LCD ≠-4] |
| LCD 十字ボタン(▶) | [LCD ≠-▶] |



1 メニューから各ボタンに機能を割り付ける 「メインメニュー]→「カメラ機能]→「ユーザー ボタン機能設定]→[USER1]~[USER7]、 $[LCD \neq - \land], [LCD \neq - \land], [LCD \neq - \lor],$ 「LCD キー◀]の各項目を設定します。 (☞ P90 [ユーザーボタン機能設定項目])

XT:----

- ユーザーボタンの操作は、メニュー設定値と連 動します。
- メニュー画面表示中は、メニュー操作ボタンと して機能します。 (☞ P84 [メニュー画面での基本操作])

タリーランプについて

記録、警告などの表示ランプです。 メニューの設定によって動作が変わります。 バッテリーや SD カード残量が少なくなると点滅 します。(カメラモード時のみ)

※ [メインメニュー] → [システム] → [タリーラン プ]項目で設定します。

(☞ P105 [タリーランプ])



| メニュー設定 | [タリーランプ] | Off | On |
|--------|----------|-----|----|
| 機能情報 | 警告 | - | |
| | 注意 | - | |
| 記録の状態 | 記録中 | - | |
| | 特殊記録※ | - | |

- : 点灯
- ▲ : 1 秒に 4 回点滅
- : 1秒に1回点滅
- ※特殊記録(「クリップコンティニュアス」)時、一 時停止状態となります。 (☞ P71 [クリップコンティニュアスレック])

```
メモ:---
```

点灯と点滅では点滅の方が優先となります。

SDカードについて

本機では、撮影した映像・音声をカードスロット内の SD カード(別売り)に記録します。

使用できる SD カードについて

Class 6/10 対応の SD カードをご使用ください。 メモ:

- 記録フォーマットによっては、Class4 以上対応の SD カードも使用可能です。
 (127 P38 [記録映像の解像度、ファイルフォーマットおよびビデオフォーマットを選択する])
- ご注意:---
- Panasonic、TOSHIBA、SanDisk 以外のカードでは正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

SD カードの記録可能時間のめやす

記録可能時間はめやすです。お使いになる SD カード、バッテリーの状態によって異なることがあります。

(☞ P106 [解像度])

(☞ P106 [フレーム数/画質])

| | Quick Time/MP4 | | |
|-----------------|----------------|-------|------------------|
| | MPEG2/HD | | |
| | S | Р | HQ |
| | 720p | 1080i | 720p/1080i/1080p |
| 4GB | 22 | 17 | 12 |
| 8GB | 45 | 35 | 25 |
| 16GB | 90 | 70 | 50 |
| 32GB | 180 | 140 | 100 |
| 64GB (SDXC) | 360 | 280 | 200 |
| 128GB (SDXC) | 720 | 560 | 400 |

| (出) | 1 | • | | 2 |
|-----|----|---|---|---|
| (半) | 11 | • | ノ |) |

| | AVCHD | | | |
|-----------------|-------|-----|-------|------|
| | HQ | SP | LP | EP |
| | | | 1080i | |
| 4GB | 19 | 25 | 46 | 82 |
| 8GB | 39 | 50 | 95 | 168 |
| 16GB | 78 | 100 | 190 | 336 |
| 32GB | 156 | 200 | 380 | 672 |
| 64GB (SDXC) | 312 | 400 | 760 | 1344 |
| 128GB (SDXC) | 624 | 800 | 1520 | 2688 |

(単位:分)

| | Quick Time | | |
|-----------------|------------|-------|----------|
| | H.264/HD | | H.264/SD |
| | XHQ | UHQ | — |
| | 1080i/ | 1080p | 480i |
| 4GB | 9 | 12 | 47 |
| 8GB | 18 | 25 | 95 |
| 16GB | 36 | 50 | 190 |
| 32GB | 72 | 100 | 380 |
| 64GB (SDXC) | 145 | 200 | 760 |
| 128GB (SDXC) | 290 | 400 | 1520 |

(単位:分)

メモ: SD カード内に、本機以外で記録したファイルや、パソコンなどで書き込んだファイルがある場合、記録時間が短くなったり、正常に記録できない場合があります。

- 本機で1枚のSDカードに記録できるクリップ
 数はファイルフォーマットごとに最大600クリップです。1枚のカードに600クリップ記録されると、記録可能時間のめやすに関わらず残量表示が0minとなりそれ以上の記録はできなくなります。
- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [形式]項目が
 "AVCHD"の場合、1 枚の SD カードに記録できるクリップ数は最大 4000 クリップです。

SD カードの書き込み禁止スイッチについて

- 書き込み禁止スイッチを上にスライドすると 書き込み・消去が可能となります。
- ② 書き込み禁止スイッチを下にスライドすると 書き込み・消去ができなくなります。(カード内 の画像を保護できます。)



SD カードを入れる

本機には、映像・音声を記録・再生するカードスロットが2つあります(スロットAおよびスロットB)。



- 1 SD カードカバーをひらく
- 2 切りかけ部を上にして SD カードをスロット に入れる 挿入したカードスロットの状態表示ランプが 赤色に点灯します。
- 3 SD カードカバーをとじる

カードスロット状態表示ランプについて

スロット A、スロット B それぞれの状態を表示します。

| ランプ | スロットの状態 |
|-------|---|
| 赤色に点灯 | 挿入されている SD カードにアク セス中です。(データの書き込み/読 み出し中) 本機の電源を切ったり、SD カード を抜かないでください。 |
| 緑色に点灯 | スタンバイ状態。挿入されている SD カードを使用して、記録・再生 を行えます。 |
| 消灯 | SD カードが挿入されていない。 使用できないカードが挿入されている。 SD カードは挿入されているが、別のスロットが選択されている。 |

SD カードを取り出す

- 1 取り出したい SD カードがアクセス中(カード スロットの状態表示ランプが赤色に点灯)でないことを確認
- 2 SD カバーをひらく
- 3 SD カードを押して、取りだす
- 4 SD カードカバーをとじる

メモ:---

両スロットに使用可能な SD カードが挿入されている場合、直前まで選択されていたスロットが選択されます。

ご注意:-

- SD カードのアクセス中に、本機の電源を切ったり、SD カードを抜いたりした場合、データは保証されません。アクセス中のファイルだけでなく、カードに記録されたすべてのデータが壊れることがあります。電源を切ったり、カードを抜いたりするときには、必ず状態表示ランプが緑で点灯、または消灯していることを確認してください。
- アクセス中にカードを抜いてしまった場合、状態表示ランプが消灯するまでカードを再挿入しないでください。
- SD カードの挿入、取り出しを短い時間に行う と、カードの認識ができないことがあります。その場合は再度カードを取り出し、数秒間待って から再度挿入してください。

使用する SD カードを切り換える

両方のカードスロットに SD カードが挿入されて いる場合、[SLOT A/B]ボタンで使用するカードを 切り換えることができます。

記録中の SD カードがいっぱいになったときは、 自動的に他方のスロットの SD カードに切り換わ ります。



メモ:-

記録中や再生中は[SLOT A/B]ボタンは無効になります。ボタンを押してもスロットは切り換わりません。

SD カードをフォーマット(初期化)する

下記のカードを挿入した場合、メディア残量表示 部分に[!FORMAT]と表示されます。 本機メニューでフォーマットを行なってくださ

い。

- フォーマットされていない SD カード
- 別の仕様でフォーマットされた SD カード
- ※ メニュー操作の詳細につきましては、「[メニュー 画面での基本操作] P 84」をご覧ください。

ご注意:-

- SD カードのフォーマットは必ず本機で行なってください。パソコンや周辺機器などでフォーマットした SD カードは本機で使用できません。
- 修復が必要な SD カードが挿入されている場合、メディア残量表示部分に[!RESTORE]と表示されます。

- [システム] → [メディア] → [メディアフォーマット]を選択する
 (☞ P104 [メディアフォーマット])
- 2 フォーマットする SD カードスロットを選択 しセットボタン(●)を押す



- 3 選択された SD カードの状態が表示される
- 4 [フォーマット]を選択しセットボタン(●)を押す



5 フォーマットが開始される



準

備

6 フォーマット完了

フォーマットが終了すると"完了しました"と表示 され、[メディアフォーマット]画面に戻ります。

メモ : -

準

備

- フォーマット中、メニュー操作はできませんが、 記録開始は可能です。ただしフォーマットを実行していないもう一方のスロットに記録可能な SD カードが挿入されている場合のみです。
- 下記の場合はフォーマットできません。
 - ・フォーマットしたい SD カードが記録中。
 - カードが挿入されていない。
 - ・ 書き込み禁止スイッチがセット(♠ が表示) されている SD カード。

ご注意:-

フォーマットを実行すると、SD カード内の記録された映像データ、セットアップファイルなどを含むすべてのデータが消去されます。

SD カードを修復する

何らかの原因で SD カード内のデータに異常が発生した場合、SD カードの修復が必要になります。

メモ:-

- 修復が必要な SD カードが挿入されている場合、メディア残量表示部分に[! RESTORE]と表示されます。
- [システム] → [メディア] → [メディア修復]を 選択する (☞ P104 「メディア修復])
- 2 修復する SD カードを選択し、セットボタン
 (●)を押す



3 修復が開始される



4 修復完了

- 修復が完了すると"完了しました"と表示され、
 [メディア修復]画面に戻ります。
- 修復可能なメディアがスロット内に存在しなくなった場合、[メディア]メニュー画面に戻ります。

ご注意:-

- [メディア修復]は、カメラモード以外では選択できません。また、カメラモードにおいても記録中は選択できません。修復する場合は、カメラモードで記録を行なっていない状態で[メディア修復]を選択してください。
- [メディア修復]はすべての状態を復旧するものではありません。修復が失敗した場合はSDカードを交換するかフォーマットを実行してください。ただし、フォーマットするとカード内のすべての情報が削除されます。
- 下記の場合は修復できません。
 - ・本機が記録中。
 - カードが挿入されていない。
 - 書き込み禁止スイッチがセット(合が表示) されている SD カード。

SD カードに記録されるクリップについて

SD カード内のフォルダーについて

下記のメニュー設定によってそのフォルダーの下 にフォルダー分けされ、記録されます。

| システム | 形式 | 記録フォルダー |
|-------|------------------|---------------------|
| HD | QuickTime | DCIM または、 |
| | (MPEG2) | PRIVATE/JVC/CQAV ※ |
| | MP4(MPEG2) | PRIVATE/JVC/BPAV |
| | AVCHD | PRIVATE/AVCHD |
| HD/SD | QuickTime(H.264) | DCIM または、 |
| | | PRIVATE/JVC/CQAVC * |

※ どちらに記録するかはメニューで選択 (☞ P108 [DCIM フォルダーに記録])

メモ:---

- 本機の[メディアフォーマット]メニューから
 SD カードをフォーマット(初期化)すること
 で、現在の[システム]設定での記録に必要なフォルダーが生成されます。
- [システム]設定および[QuickTime(MPEG2)]設 定を変更した場合、その設定での記録に必要な フォルダーは自動的に生成されます。

ご注意:-

 Explorer (Windows 環境)や Finder (Mac 環境) を使用してフォルダー内のクリップを移動や削 除した場合、その SD カードはフォーマット(初 期化)を実行しないと記録できなくなる場合が あります。

クリップ(記録データ)とクリップ名

- 記録を停止すると、開始から停止までの画像、音声および付随データがひとつの「クリップ」として SD カードに記録されます。
- 本機で記録されるクリップには、自動的に8文字のクリップ名が生成されます。
 ("クリップ名" + "クリップ番号")
- ただし、[メインメニュー]→[システム]→[記録 設定]→[記録フォーマット]→[形式]項目が "AVCHD"の場合、クリップ名はクリップ番号(5 桁の数字)のみとなります。
 (☞ P106 [形式])

例)Quick Time/MP4 の場合

ABCG0001

クリップ番号
 記録順につけられる番号で自動的
 にカウントアップします。
 メニューでクリップ番号をリセット
 することが可能です。※

クリップ名(任意の4桁英数字) 工場出荷時は、"xxxG"("xxx" はシリアル番号の 下3 桁)に設定されています。

※ [クリップ設定] → [クリップ番号リセット] (☞ P109 [クリップ番号リセット])

×=:-

- [メインメニュー] → [システム] → [記録設 定] → [クリップ設定] → [クリップ名]項目で 記録開始前に任意の文字列に設定することが可 能です。
 (☞ P109 [クリップ名])
- 記録後に変更することはできません。

記録されるクリップについて

- 記録された素材が複数のファイルに分割される ことがありますが、本機では連続した再生が可 能です。
- クリップの記録時間によっては、カードスロットAとカードスロットBに挿入した2枚のSDカードにまたがって記録されることがあります。
- パソコンを使用して HDD などに MP4 ファイ ルフォーマットの映像をコピーする場合は、連 続性を保つため、添付のディスクに収録されて いる[JVC ProHD Clip Manager Software]を使 用することをおすすめします。

ご注意:---

 複数のカードにまたがって記録されたクリップ は連続再生できません。1カード内でのみ連続 再生が可能です。

オペレーションロック機能 について

カメラ操作時の誤操作を防止することができま す。



- カメラモード時(ディスプレイ画面表示中)、 [CANCEL]ボタンを5秒以上長押しする
 - オペレーションロック機能がオンになり、 ディスプレイ画面にオペレーションロック アイコン(ご)か表示されます。



- 再度[CANCEL]ボタンを5秒以上長押しすると、オペレーションロック機能がオフになります。
- メモ:-

準

備

- オペレーションロック機能はカメラモード時の み有効です。
 (IPT P10 [動作モードについて])
- 電源を切ると、オペレーションロックは解除されます。
- LCD モニター部の[CANCEL]ボタンでは、オペレーションロック機能の"入/切"は操作できません。
- オペレーションロック機能が"入"の場合でも、
 下記リモート操作は可能です。
 - ・ [REMOTE]端子に接続したワイヤードリモ コンからの操作。
 - スマートフォン/タブレット端末/パソコンな どからブラウザでアクセスし、カメラをリ モート操作。

下記ボタン・スイッチは、オペレーションロックさ れません。

- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ
- [ND FILTER]切換スイッチ
- TC [IN/OUT] 選択スイッチ
- LCD モニター扉内のすべてのスイッチ([CH1/ CH2] 調節つまみはオペレーションロックされ ます。)
- フォーカスリング
- グリップズームレバー///ンドルズームレバー/ レンズ部のズームリング
- [ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチ
- [FIX/VAR/OFF]ズームスピード切換スイッチ
- アイリスリング
- [REC]ボタン(ハンドル上部、グリップ部、レン ズ下部)

メモ:---

 レンズ下部の[REC]ボタンは、[カメラ機能] → [ユーザーボタン機能設定] → [Front REC]項目 で"記録"が割り当てられている場合もオペレー ションロックされません。

36
基本的な撮影手順

準備



- バッテリーまたは、AC アダプターで電源を供給する (wsr P20「電源について」)
- 2 SD カードを挿入する (☞ P31 [SD カードについて])
- 3 本機の電源を ON にする [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチ中央のロッ クボタン(青色)を押しながら、"ON"にすると、 本機はカメラモードで起動し、撮影可能な状態 となります。
- 4 LCD モニター、ビューファインダーの角度などを調整する (© P28 [LCD モニターとビューファインダーの調整])

撮影

1 映像設定および音声入力の設定

撮影するためには、明るさ調整に関する機能(ア イリス、ゲイン、シャッター)、ホワイトバラン ス調整機能などの映像設定、音声記録のための 音声入力の設定、音声記録レベル調整が必要で す。

• 明るさを調整する

(☞ P45 [明るさを調節する])

- ホワイトバランスを調整する
- (INP P51 [ホワイトバランスを調整する])
- ・音声入力の設定および記録レベルを調整する
- (☞ P55 [録音する])

- 2 [REC]ボタンを押し、SDカードに記録する [REC]ボタンは、本体に3か所あります。工場 出荷状態では、どの[REC]ボタンを押しても記 録を開始/停止できます。
 記録中、タリーランプが赤色に点灯します。
 ズームする
 (Isor P40 [ズーム動作について])
 手動でピントをあわせる
 - (🖙 P41 [フォーカス動作について])
- メモ:-
- ・ 工場出荷状態では、両スロットに記録可能なカードが挿入されている場合、[REC]ボタンを押すと選択されているスロットに挿入されているメディアのみ記録が開始されます。
 [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [スロットモード]項目を"デュアル"に設定することで、両スロットのカードに同時記録することも可能です。
 (☞ P67 [デュアルレックについて])

撮影

タリーランプは、[システム]→[タリーランプ]
 項目で消灯にすることもできます。
 (☞ P105 [タリーランプ])

3 直前に撮影した映像を確認する

- レンズの[C.REVIEW/7]ボタンを押すと、ク リップレビュー機能がはたらき、直前に撮影 された画像が LCD モニターやビューファイ ンダー画面に再生されます。
- 再生が終わると記録待機状態(STBY)に戻り ます。

(INF P66 [記録した映像をすぐに見る(クリップレビュー)])

メモ:---

- [C.REVIEW/7]ボタンは工場出荷状態では、[ク リップレビュー]が割り当てられています。
- そのほかのユーザーボタンに[クリップレビュー]を割り付けることもできます。
 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

記録映像の解像度、ファイル フォーマットおよびビデオ フォーマットを選択する

本機では、記録映像の解像度(HD または SD)、記録・ 再生のファイルフォーマット、および映像の記録 フォーマットを選択できます。

メモ:-

[メインメニュー]→[記録フォーマット]で選択します。

記録映像の解像度を選択する

記録映像の解像度を[システム]項目で選択します。 選択できる解像度は、以下の2つです。

• HD:

撮

影

- HD(High Definition:高画質)で記録
- SD:
 - SD(Standard Definition:標準画質)で記録

ファイルフォーマットを選択する

ファイルフォーマットを[形式]項目で選択します。 選択できるファイルフォーマットは、以下の4つです。

- QuickTime(MPEG2): QuickTimeファイルフォーマット(.MOV)
- MP4(MPEG2): MP4 ファイルフォーマット
- AVCHD: AVCHD ファイルフォーマット
- QuickTime(H.264): QuickTime ファイルフォーマット(.MOV)

メモ:-

- [システム]項目の設定によって選択肢が下記のように変わります。
 - ・"HD"の場合: QuickTime(MPEG2)、MP4(MPEG2)、AVCHD、 QuickTime(H.264)
 - ・"SD"の場合: QuickTime(H.264)

ビデオフォーマットを選択する

- [記録フォーマット]をフォーマット一覧の中から 選択します。選択できる[フレーム数/画質]は、[シ ステム]、[形式]、[解像度]の設定によって変化し ます。
- 記録ビットレート(Video)は、"XHQ"の場合は 50 Mbps VBR、"UHQ"の場合は 35 Mbps VBR、"HQ" の場合は 35 Mbps VBR、"SP"の場合は 18.3 Mbps (1080iは 25 Mbps)CBR になります。
- [形式]項目が"AVCHD"の場合、記録ビットレート (システムレート)は、"HQ"の場合は 24Mbps VBR、"SP"の場合は 17Mbps VBR になります。

フォーマット一覧

本機で選択できるファイルフォーマット、およびビ デオフォーマットの一覧です。 • [システム]項目を"HD"に設定時

| 記 | | | |
|------------|-----------|--------------|-----------|
| 形式 | 解像度 | フレーム数/ 画質 | 備考 |
| QuickTime/ | 1920x1080 | 60i(HQ) | |
| MP4 | | 30p(HQ) | |
| | | 50i(HQ) | |
| | | 25p(HQ) | |
| | | 24p(HQ) | |
| | 1440x1080 | 60i(HQ) | |
| | | 50i(HQ) | |
| | | 60i(SP) | HDV 互換 |
| | | 50i(SP) | HDV 互換 |
| | 1280x720 | 60p(HQ) | |
| | | 30p(HQ) | |
| | | 50p(HQ) | |
| | | 25p(HQ) | |
| | | 24p(HQ) | |
| | | 60p(SP) | HDV 互換 |
| | | 50p(SP) | HDV 互換 |
| AVCHD | 1920x1080 | 60p(HQ) | Class4 で記 |
| | | 60i(HQ) | 録可能 |
| | | 50p(HQ) | |
| | | 50i(HQ) | |
| | | 60i(SP) | |
| | | 50i(SP) | |
| | 1440x1080 | 60i(LP) | |
| | | 60i(EP) | |
| | | 50i(LP) | |
| | | 50i(EP) | |
| QuickTime | 1920x1080 | 60p(XHQ) | |
| (H.264) | | 60i(XHQ) | |
| | | 50p(XHQ) | |
| | | 50i(XHQ) | |
| | | 30p(XHQ) | |
| | | 25p(XHQ) | |
| | | 24p(XHQ) | |
| | | 60i(UHQ) | |
| | | 50i(UHQ) | |
| | | 30p(UHQ) | |
| | | 25p(UHQ) | |
| | | 24p(UHQ) | |

• [システム]項目を"SD" に設定時

[システム]項目を"SD"に設定時、ビデオフォーマットは下記のように固定されます。

| 記 | | | |
|-----------|-----------|--------------|------------------|
| 形式 | 解像度 | フレーム数/ 画質 | 備考 |
| QuickTime | 720 x 480 | 60i | Class4 で記録 可能 |

SD 記録映像のアスペクト比を選択する

画像のアスペクト比を選択します。

[システム]項目の設定によって選択肢が下記のよう に変わります。

- "HD"の場合:16:9 に固定
- "SD"の場合: 16:9、4:3 を選択可能

記録フォーマットメニューを設定する

- 1 [メインメニュー]→[記録フォーマット]メニュー を表示させる
- 2 各項目を設定する
- 3 すべての設定が終了したあと、[FOCUS ASSIST/1] ボタンを押す
 - 記録フォーマットの切り換えを行います。
 - 切り換え動作に入るとき、画面に"お待ちくだ さい…"と表示されます。

ズーム動作について

撮影したい画角を調整します。 ズーム倍率:1倍~23倍(光学ズームのみ) ズームは、下記の3か所で操作できます。

- グリップズームレバー
 ハンドルズームレバー
- レンズ部のズームリング:
 [ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチを
 "MANUAL"側に設定したとき、ズームリングとして動作します。



グリップズームレバーを使う

- 1 [ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチを "SERVO"側に設定する
- 2 ズームレバーを押し、ズームする
 - ズームレバーを押しこむ量によってズーム 速度が変化します。
 - "W"を押すにつれてズームレンズが広角となり画角が広くなります。
 - "T"を押すにつれてレンズが望遠となり画角 が狭くなります。
 - ズーム操作中、ズームバーが表示されます。



ハンドルズームレバーを使う

- [ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチを "SERVO"側に設定する
- [FIX/VAR/OFF]ズームスピード切換スイッチ を"FIX"または"VAR"に設定する

メモ:-

- "FIX"にすると、[ハンドルズームスピード]で設定したスピードで動きます。
 - ・[メインメニュー] → [カメラ機能] → [ハン ドルズームスピード]項目で、ズームスピー ドを設定します。
 - (☞ P89 [ハンドルズームスピード])
- "VAR"にすると、レバーの押し具合によってズームスピードが変わります。
- 3 ハンドルズームレバーを押し、ズームする

メモ:-

● [FIX/VAR/OFF]ズームスピード切換スイッチ が"OFF"の場合、ハンドルズームレバーは使用 できません。

レンズ部のズームリングを使う

 [ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチを "MANUAL"側に設定する

ズームリングを回してお好みの画角に調整することができます。

現在のズームポジションを記憶/呼び出しす る(プリセットズーム)

最大3点のズームポジションを登録することがで きます。

 いずれかのユーザーボタンに"プリセットズーム1"、"プリセットズーム2"、"プリセットズーム3"機能を割り付ける (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])
 (☞ P90 [USEB1~USEB7.LCDキー▲/LCD

+−**▶**/LCD **+**−**▼**/LCD **+**−**4**])

- 2 現在のズームポジションを記憶させる
 - "プリセットズーム 1"、"プリセットズーム 2"、
 "プリセットズーム 3"機能を割り付けたボタンのいずれかを、1秒以上押します。
 - 現在のズームポジションが記憶されます。
- 3 記憶されたズームポジションを呼び出す
 - "プリセットズーム 1"、"プリセットズーム 2"、
 "プリセットズーム 3"機能を割り付けたボタンのいずれかを押して1秒以内に離します。
 - 記憶されたズームポジションに移動します。
- メモ:-
- 記憶されたズームポジションを呼び出す場合は、[ZOOM SERVO/MANUAL]切換スイッチを "SERVO"に設定してください。
- ズームポジションへの移動速度は、[メインメニュー] → [カメラ機能] → [プリセットズームスピード]項目で、設定します。
 (☞ P91 [プリセットズームスピード])
- ズームポジションの呼び出し中に、他のズーム 操作をした場合、呼び出しは中止されます。

フォーカス動作について

フォーカスを手動調整する



1 [FOCUS AUTO/MANU/∞]切換スイッチを "MANU"にする

マニュアルフォーカスアイコン WF が表示され ます。



メモ:-

- 2 フォーカスリングをまわしてフォーカス調整 する

メモ:-

フォーカスアシスト機能や拡大フォーカス機能を使用するとピントあわせが簡単になります。
 (127 P43 [フォーカスアシスト機能])
 (127 P43 [拡大フォーカス機能])

 マニュアルフォーカスモード時でも、[FOCUS AUTO]ボタンを押すと、ワンプッシュオート フォーカスモードに、[FOCUS AUTO]ボタンを 長押しするとプッシュオートフォーカスモード になります。
 (127 P42 [ワンプッシュオートフォーカス])
 (127 P42 [一時的にオートフォーカスにする (プッシュオートフォーカス)])

フォーカスを自動調節する

「FOCUS AUTO/MANU/∞]切換スイッチを"AUTO" にします。

オートフォーカスアイコン MF が表示されます。 メモ:-

- [メインメニュー] → [カメラ機能] → 「AF アシ スト]項目を"エリア"または"遠近"に設定する と、フォーカスが自動調節状態のとき、フォーカ スリングをまわしてオートフォーカスポイント を移動させることができます。 (☞ P89 [AF アシスト])
- 「メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設 定]→[フォーカス]項目が"切"に設定されてい る場合、オートフォーカスアイコンは表示され ません。 (☞ P100 [フォーカス])

ワンプッシュオートフォーカス

マニュアルフォーカスモード時、[PUSH AUTO]ボ タンを押す(1秒以内)と、自動的に中央の枠に フォーカスをあわせます。

XE:-

- ワンプッシュオートフォーカス時、顔検出は働 きません。
- AF アシストは働きません。
- 動作終了後は自動的にマニュアルフォーカス モードに戻ります。
- ワンプッシュオートフォーカスは、フォーカス の動作速度を優先した機能です。記録中の動作 には向きません。

一時的にオートフォーカスにする (プッシュオートフォーカス)

- マニュアルフォーカスモード時、「PUSH」 AUTO]ボタンを押したまま撮影すると、一時的 にオートフォーカスモードになり、自動でフォー カスをあわせます。
- [PUSH AUTO]ボタンを離すと、マニュアル フォーカスモードに戻ります。
- メモ:-
- プッシュオートフォーカス時、顔検出は働きま せん。

遠くの被写体にピントをあわせる

「FOCUS AUTO/MANU/∞〕切換スイッチを"∞"まで スライドさせます。 ● ∞アイコンが表示されます。

- 指を離すとマニュアルフォーカスモードに戻り ます。

■AF アシスト機能

AF時にオートフォーカスポイントを移動したい 場合、フォーカスリングをまわすと左側、中央、右 側や遠近方向にポイントを設定できます。

- [メインメニュー] → [カメラ機能] → [AF アシ スト]項目を設定します。
 - Tリア: 選択すると、エリアに「」アイコンが表示さ れます。

AF 時にフォーカスリングをまわすと、約2 秒間フォーカスエリアが左側、中央、右側に 表示されます。2 秒以内にフォーカスリング を回すとオレンジ枠が移動し、フォーカスエ リアを選択できます。

エリア選択後、選択エリアに近いフォーカス ポイントに合うよう自動調整されます。



- ※フォーカスエリアのオレンジ色枠に連動して、 アイコン(ロ、ロ、ロ)も変化します。
- XE:-
 - 「顔検出]項目が設定されている場合は、"エリ ア"を選択できません。
 - 读近: AF 時にフォーカスリングをまわすと、オー トフォーカスポイントを遠近方向に移動さ せることができます。 フォーカスリングを止めた位置から近い フォーカスポイントに合うよう自動調整さ れます。

フォーカスアシスト機能

- 撮影時、[FOCUS ASSIST/1]ボタンを押すと、 フォーカスが合っている部分がカラーで表示され、正確なフォーカスが合わせやすくなります。
- 表示カラー(青、赤、緑)はメニューで設定します。
- メモ:-
- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [撮影補助] → [フォーカスアシスト] → [タイプ]項目が"ACCU-Focus"に設定されている場合、被写界深度が浅くなり、さらにフォーカスが合わせやすくなります。
- (☞ P98 [フォーカスアシスト])
- "ACCU-Focus"は約 10 秒で自動的に"切"になります。
- 表示カラーは、[メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [撮影補助] → [フォーカスアシスト] →[カラー]項目で設定します。
 (☞ P98 [カラー])
- ゼブラ機能とフォーカスアシスト機能を同時に 使用すると、フォーカスアシストの効果がわか りづらい場合があります。その場合、一度ゼブラ 機能を OFF にしてください。

ユーザーボタンにフォーカスアシスト機能を設定 する

"フォーカスアシスト"をユーザーボタンに割り付けることができます。

(🖙 P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

┃拡大フォーカス機能

中央部を拡大表示します。フォーカスを正確に合わせやすくなります。

- いずれかのユーザーボタンに"拡大フォーカス"機能を割り付ける (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け]) (☞ P90 [USER1~USER7、LCD キー▲/LCD キー►/LCD キー▼/LCD キー◀])
- 2 "拡大フォーカス"機能を割り付けたユーザー ボタンを押す
 - ・ 画面に[EXPANDED](黄色)と表示され、画 面の中央部分が拡大表示されます。
 - 再度ユーザーボタンを押すと、元の表示に戻ります。



メモ:-

ボタンを押したときの動作を[メインメニュー] → [カメラ機能] → [ユーザーボタン機能設定] → [拡大フォーカス]項目で設定できます。

(☞ P91 [拡大フォーカス])

- フォーカスアシスト機能と併用することが可能 です。
- 拡大する倍率は、記録信号形式によって異なります。
- 拡大表示しても、記録される画像は拡大されません。
- [メインメニュー] → [システム] → [記録設 定] → [記録フォーマット] → [システム]項目 を"SD"に設定しているときは、動作しません。

顔を検出してフォーカスを あわせる(顔検出)

オートフォーカス時、人物の顔を検出して自動的 にフォーカスをあわせる機能です。 被写体が動いても追尾します。 複数の人物を検出した場合、フォーカスをあわせ る人物を選択することができます。

メモ:--

人物の顔を検出し、顔の明るさに応じて明るさを自動調節することもできます。
 (☞ P91 [顔検出])



 いずれかのユーザーボタンに"顔検出"機能を 割り付ける (147 P30 「ユーザーボタンの機能割り付け」)

2 カメラを人物に向け、"顔検出"を割り付けた

- ユーザーボタンを押す
 - ・
 顔検出がオンとなり、
 顔検出アイコン(
)が
 表示されます。
 - ・[メインメニュー] → [カメラ機能] →
 [ユーザーボタン機能設定] → [顔検出]項
 目が"AF"の場合、"認知"と表示されます。
 - ・[メインメニュー] → [カメラ機能] →
 [ユーザーボタン機能設定] → [顔検出]項
 目が"AF&AE"の場合、"図 AE±0" と表示
 されます。
 - 中央に近い人物が選ばれ、顔にオレンジ色の 枠が表示されます。
 - 選択された人に合わせて、フォーカスが自動 的に調整されます。

検出枠(オレンジ色)



メモ:-

 検出枠が表示されない場合、[FOCUS AUTO/ MANU/∞]切換スイッチが"AUTO"なっているか 確認してください。また、[顔検出]項目が "AF&AE"に設定されている場合は、アイリス、ゲ イン、電子シャッター制御のいずれか1つ以上 を自動調整モードにしてください。
 (☞ P45 [明るさを自動調節する])
 (☞ P46 [オートアイリス(自動調整)モード])
 (☞ P47 [自動ゲインモード(自動ゲイン調 整)])
 (☞ P50 [自動シャッターモード(自動シャッ ター調整)])

複数の人物から特定の人物を選ぶ

- 1 "顔検出"を割り付けたユーザーボタンを長押 しする
 - ・
 (顔選択モードになり、
 (顔検出アイコン())が
 点滅します。
 - 中央に近い人物の顔にオレンジ色の枠、その 他の顔に青い枠が表示されます。



- 2 特定の人物をえらぶ
 - +字ボタン(◀▶▲▼)で人物を選びます。
 - 選択された人物の顔にオレンジ色の枠が表示され、選択された人に合わせて、フォーカスが自動的に調整されます。



検出枠(青色)

3 セットボタン(●)を押し、顔検出の対象となる 人物を確定する

メモ:-

- [CANCEL]ボタンを押すと、選択が中止されます。
- 検出感度、顔を見失ったあとの動作速度などは、 [メインメニュー]→[カメラ機能]→[ユーザー ボタン機能設定]→[顔検出]→[感度]項目お よび[追従速度]項目で設定できます。
 (☞ P91 [感度])
 (☞ P91 [追従速度])

明るさを調節する

被写体の明るさに応じて、アイリス、ゲイン、シャッタースピードや、NDフィルターで、明るさを調節します。

明るさを自動調節する

[FULL AUTO]スイッチを"ON"にすると、被写体の 明るさに応じて、アイリス、ゲイン、シャッタース ピードを自動的に調節して、最適の明るさを保ち ます。



メモ:-

- 自動調整して最適の明るさに保つときの目標レベル(明るめ/暗め)は、本体側面の十字ボタン
 (◀)で設定することができます。
 (☞ P88 [AE レベル])
- ゲイン、シャッター、アイリスの自動調節収束ス ピードをメニューで設定できます。
 (☞ P88 [AE スピード])
- ゲイン、アイリス、シャッターのどれか1つ以上が"Auto"に設定されている場合、"AEロック"を割り付けたユーザーボタンを押すと、その時点の値に固定できます。
 (w P91 [AEロック])

明るさを手動調節する

[FULL AUTO]スイッチを"OFF"にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピードの一部またはすべてを手動で調節することができます。 (INF P46 [アイリスを調節する]) (INF P47 [ゲインを設定する]) (INF P48 [電子シャッターを設定する])

メモ:-

 アイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべて を手動調節している場合、[AE LEVEL]の設定 は一時的に無効となります。 撮影

アイリスを調節する

被写体の明るさに応じてレンズアイリスの開放度 を手動または自動で調整します。



マニュアルアイリス(手動調整)モード

レンズの絞り(F値)を手動で設定します。

1 [IRIS]ボタンを押し、マニュアルアイリスモー ドにする

画面の▲アイコンが消えます。

 レンズのアイリスリングをまわしてアイリス を手動で調整する

絞りの開放 F 値はズームの位置で変わります。 広角[W]端側 : F1.6 望遠[T]端側 : F3.0

| F値 | 内容 |
|-------|---|
| 小さくする | 被写体が明るくなります。 ピントのあう範囲が鋭くなり、背 景がボケた柔らかい印象の映像に なります。 |
| 大きくする | 被写体が暗くなります。 背景までピントのあった映像にな ります。 |

メモ:-

 マニュアルアイリスモード時でも、[PUSH AUTO]ボタンを押すと、ワンプッシュオートア イリスモードに、[PUSH AUTO]ボタンを長押 しするとプッシュオートアイリスモードになり ます。 オートアイリス(自動調整)モード

[IRIS]ボタンを押し、オートアイリスモードにします。被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。 画面に ▲ アイコンが表示されます。



メモ:-

 本機の[FULL AUTO]スイッチを"ON"にすると オートアイリス(自動調整モード)となり、被写 体の明るさに応じて自動的にアイリスを調節し ます。

この場合、本機の[IRIS]スイッチの切り換え操作は無効となります。

- オートアイリス時、アイリス開/閉のリミット値を、[メインメニュー] → [カメラ機能] → [オートアイリス開放制限]/[オートアイリス最小制限]項目で設定できます。
 (ws P89 [オートアイリス開放制限])
 (ws P89 [オートアイリス最小制限])
- オートアイリスの制御目標レベル(明るめ/暗 め)は、本体側面の十字ボタン(▲)で設定する ことができます。
 (☞ P88 [AE レベル])
- オートアイリスの収束スピードをメニューで設定できます。 (mar P88 [AE スピード])

ワンプッシュオートアイリス

マニュアルアイリスモード時、[PUSH AUTO]ボタンを押すと、被写体の明るさに応じて適切なアイリスに調整します。

プッシュオートアイリス

マニュアルアイリスモード時、[PUSH AUTO]ボタンを長押しすると、一時的にオートアイリスモードになり、被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。

アイリスの F 値表示について

アイリス絞りの径が極端に小さくなると、「小絞り 回折」によるボケが生じる場合があります。この現 象の警告として、アイリスの絞り値が回折 F 値を 超えると画面の F 値が灰色表示になります。 F 値が灰色表示にならないよう、ND フィルターを 適切に使用することをお勧めします。

ゲインを設定する

被写体の照度が不足しているとき、電気的に感度 をあげます。被写体の明るさに応じて映像アンプ のゲイン(利得)を設定できます。撮影状況に応じ て設定モードを選んでください。



- ┃手動ゲインモード(手動ゲイン切り換え)
- 1 [GAIN]ボタンを押し、手動ゲインモードにする

 - [L/M/H]スイッチで選択された映像アンプのゲインになります。
 - スイッチの各ポジションは工場出荷時に下 記のように設定されています。
 - [L] : 0dB
 - [M]: 6dB
 - [H]: 12dB
- メモ:-
- 各ポジションのゲイン値は、メニューで設定変更することができます。感度が上がるほど画面はザラついた感じになります。
 (IF P89 [GAIN L/GAIN M/GAIN H])

|自動ゲインモード(自動ゲイン調整)

1 [FULL AUTO]スイッチを"ON"にする 画面に ▲ アイコンが表示されます。

メモ:-

 本機の[FULL AUTO]スイッチを"ON"にすると 自動ゲインモード([ALC]固定)となり、被写体 の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動的 に設定します。 この場合、本機の[GAIN]スイッチの切り換え操 作は無効となります。

メモ:---

 ALC 動作時のゲイン設定値の上限を、[メイン メニュー] → [カメラ機能] → [ALC 上限]項目 で設定できます。
 (☞ P89 [ALC 上限])

電子シャッターを設定する

電子シャッター機能を使用すると、シャッター速度(撮像フレームあたりの蓄積時間)を切り換える ことができます。電子シャッターは手動または自動で調整することができます。

手動シャッターモード(手動シャッター切 り換え)

- 1 [SHUTTER]ボタンを押し、手動シャッター モードにする
 - 画面の ▲ アイコンが消えます。
 - セットボタン(●)でシャッターモード、十字 ボタン(▲▼)でシャッタースピードを切り 換えることができます。



シャッターモードの切り換え

セットボタン(十字ボタンの中心)を押すごとに シャッター ON、シャッター OFF に切り換わりま す。

メモ:-

 シャッター ON 時に"ステップ"、"バリアブル"に 設定するかは、「カメラ機能」→「シャッター」項 目で設定します。工場出荷時には"ステップ"に 設定されています。
 (☞ P88 [シャッター])

シャッタースピードの切り換え

シャッター ON の時、十字ボタン(▲▼)でシャッ タースピードを設定します。設定できるシャッター スピードは、設定されているビデオフォーマット やバリアブルフレームレート設定によって異なり ます。

- X = : -
- シャッターを角度(度)表示で使用するときは、 [フレーム数/画質]項目を"24p(HQ)"、"25p(HQ)" のいずれかに設定し、[LCD/VF 設定]→[表示設 定]の[シャッター]項目を"度"にしてください。 (☞ P106 [フレーム数/画質])
 (☞ P101 [シャッター])

バリアブルフレームレック以外の場合

| | シャッター | 解像度/ フレーム数/ 画質 | 720/60p 720/30p 1080/60p 1080/60i 1080/30p | 720/50p 720/25p 1080/50p 1080/50i 1080/25p | 720/24p 1080/24p |
|---|---------|----------------------|--|--|---------------------|
| | ON | | | | 1/10000 |
| | (ステップ) | | — | — | 1/4000 |
| | | | | | 1/2000 |
| | | | 1/10000 | 1/10000 | 1/1000 |
| | | | 1/4000 | 1/4000 | 1/500 |
| | | | 1/2000 | 1/2000 | 1/250 |
| | | | 1/1000 | 1/1000 | 1/120 |
| | | | 1/500 | 1/500 | 1/100 |
| | | | 1/250 | 1/250 | 1/60 |
| | | | 1/120 | 1/120 | 1/54 |
| | | | 1/100 | 1/100 | 1/50 |
| | | (標準) | 1/60 | 1/50 | 1/48 |
| | | | 1/30 | 1/25 | 1/24 |
| | | | 1/15 | 1/12.5 | 1/12 |
| ▼ | | | 1/7.5 | 1/6.25 | 1/6 |
| | ON | (上限) | 1/10 | 227 | 1/10843 |
| | (תכתפת) | | | ~ | |
| | | 初期値 | 1/60.13 | 1/50.09 | 1/48.09 |
| 1 | | | | ~ | |
| ▼ | | (下限) | 1/30.07 | 1/25.05 | 1/24.05 |
| | OFF | | 1/60 | 1/50 | 1/48 |

メモ:-

- 下記の場合、十字ボタン(▲▼)およびセットボタン(●)操作は無効となります。
 - クリップレビュー中
 - USB 切換確認画面表示中
 - ・フォーマット実行確認画面表示中
 - ・ 顔検出で顔を選択しいているとき
 - [スポットメーター]が"マニュアル"で測光場 所を選択しているとき

撮影

バリアブルフレームレック時

| | シャッター | 解像度/ フレーム数/画質 | 720/30p, 720/24p, 1080/30p, 1080/24p | | | | | | | |
|---|---------|------------------|--------------------------------------|---------|---------|---------------|----------|------------|---------|---------|
| | | フレームレート | 60, 30, 15 | 54, 27 | 50, 25 | 48, 24, 12, 6 | 45, 22.5 | 40, 20, 10 | 36, 18 | 32, 2 |
| | ON | | - | — | - | — | — | - | - | 1/10000 |
| - | (ステップ) | | | — | - | — | — | - | 1/10000 | 1/4000 |
| | | | _ | _ | _ | _ | _ | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 |
| | | | _ | _ | _ | _ | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 |
| | | | — | _ | — | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 |
| | | | — | _ | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 |
| | | | _ | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 |
| | | | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 |
| | | | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/60 |
| | | | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/60 | 1/54 |
| | | | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/60 | 1/54 | 1/50 |
| | | | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 |
| | | | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 | 1/45 |
| | | | 1/120 | 1/100 | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 |
| | | | 1/100 | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 |
| | | (標準) | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 | 1/32 |
| | | | 1/30 | 1/27 | 1/25 | 1/24 | 1/22.5 | 1/20 | 1/18 | 1/16 |
| | | | 1/15 | 1/13.5 | 1/12.5 | 1/12 | 1/11.25 | 1/10 | 1/9 | 1/8 |
| ▼ | | | 1/7.5 | 1/6.75 | 1/6.25 | 1/6 | 1/5.625 | 1/5 | 1/4.5 | 1/4 |
| | ON | (上限) | 1 | 1/10227 | | 1/10843 | 1/10227 | 1/10843 | 1/10227 | 1/10843 |
| | (バリアブル) | | | | | ~ | | | | |
| | | (下限) | 1/60.13 | 1/54.10 | 1/50.09 | 1/48.09 | 1/45.07 | 1/40.07 | 1/36.05 | 1/32.04 |
| | OFF | | 1/60 | 1/54 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 | 1/32 |

| | シャッター | 解像度/ フレーム数/画質 | 1080/25p 720/25p | | | | | |
|--|---------|------------------|---------------------|-----------|----------|------------|---------|---------|
| | | フレームレート | 50, 25, 12.5 | 48, 24, 6 | 45, 22.5 | 40, 20, 10 | 36, 18 | 32, 2 |
| | ON | | — | — | — | — | — | 1/10000 |
| | (ステップ) | | — | — | — | — | 1/10000 | 1/4000 |
| | | | — | — | — | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 |
| | | | — | — | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 |
| | | | — | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 |
| | | | 1/10000 | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 |
| | | | 1/4000 | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 |
| | | | 1/2000 | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 |
| | | | 1/1000 | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/50 |
| | | | 1/500 | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/50 | 1/48 |
| | | | 1/250 | 1/120 | 1/100 | 1/50 | 1/48 | 1/45 |
| | | | 1/120 | 1/100 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 |
| | | | 1/100 | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 |
| | | (標準) | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 | 1/32 |
| | | | 1/25 | 1/24 | 1/22.5 | 1/20 | 1/18 | 1/16 |
| | | | 1/12.5 | 1/12 | 1/11.25 | 1/10 | 1/9 | 1/8 |
| | | | 1/6.25 | 1/6 | 1/5.625 | 1/5 | 1/4.5 | 1/4 |
| | ON | (上限) | 1/10227 | 1/10843 | 1/10227 | 1/10843 | 1/10227 | 1/10843 |
| | (バリアブル) | | | | ~ | | | |
| | | (下限) | 1/50.09 | 1/48.09 | 1/45.07 | 1/40.07 | 1/36.05 | 1/32.04 |
| | OFF | | 1/50 | 1/48 | 1/45 | 1/40 | 1/36 | 1/32 |

自動シャッターモード(自動シャッター調 整)

- 1 [SHUTTER]ボタンを押す、または[FULL AUTO]スイッチを"ON"にし、自動シャッター モードにする
 - 画面に ▲ アイコンが表示されます。
 - 自動シャッターモードとなり、被写体の明る さに応じてシャッター速度を自動的に調整 します。

メモ:-

- この場合、十字ボタン(▲▼)によるシャッター スピードの切り換え、セットボタン(●)による シャッターモードの切り換え操作は無効となり ます。
- [メインメニュー] → [カメラ機能] → [EEI 動作 制限]項目で、自動シャッターの制御範囲を設定 できます。
 - (☞ P89 [EEI 動作制限])

NDフィルターを設定する

レンズの絞りを適切な範囲に保つため、ND フィル ターを使用します。 被写体の明るさに応じて切り換えてください。ス イッチを切り換えると、LCD モニターやビュー ファインダー画面に切り換えた ND フィルターの ポジションが表示されます。 (ディスプレイ 2 画面)

メモ:-

[メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [ND フィルター] 項目が"切"に設定されている場合、ND フィルターのポジションは表示されません。
 (☞ P100 [ND フィルター])





メモ:-

ND フィルターを活用し、レンズの絞りが F8 より絞らないようにすることをおすすめします。

ND フィルターの警告表示

比較的明るい場所で撮影する場合、光量を調整す るためにアイリス絞りの径が極端に小さくなって ボケが生じることがあります。

この現象を「小絞り回折」と呼びますが、適切な ND フィルターを選択することで回避することができ ます。

本機では、適切な ND フィルターを選択するよう、 ND フィルター警告を表示できます。

- 【メインメニュー】→ [LCD/VF 設定] → [表示 設定] → [ND フィルター] 項目を"入+アシス ト"に設定する (☞ P100 [ND フィルター])
- 2 光量調整によりアイリス絞りの径が小さくなるか、または暗い場所で ND フィルターが入っていると、ND フィルター表示が点滅する

撮影

ホワイトバランスを調整す る

照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。撮影の状況に応じて調整モードを選択できます。

光源によって光の色(色温度)が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。



|手動ホワイトバランスモード(手動切り換 |え)

- [WHT BAL]ボタンを押し、手動ホワイトバラ ンスモードにする
 - [WHT BAL B/A/PRESET]選択スイッチでホ ワイトバランスを選択します。
 - [WHT BAL B/A/PRESET]選択スイッチで、
 "PRESET"(プリセットモード)、"A"(メモ リーAモード)、"B"(メモリーBモード)を選 択できます。
 - スイッチに割り当てられている値が、画面に 表示されます。

メモ : ー

 本機の[FULL AUTO]スイッチが"ON"のとき は、"FAW"固定になります。

プリセットモード(PRESET)

- 本機は、色温度を2種類登録し、[▲]ボタンで 色温度を切り換えることができます。
 (出荷設定: "3200K"↔"5600K")
- [▲]ボタンを押すたびに、色温度が切り換わります。
 ("PRESET 色温度 1"↔ "PRESET 色温度 2")
- [WHT BAL B/A/PRESET]スイッチを "PRESET"に設定する
- 2 [●]ボタンを押す

[PRESET 色温度 1]、[PRESET 色温度 2]の値を 設定する

プリセットモードでの2種類の色温度は、それぞれメニューで変更できます。

- [PRESET 色温度 1]または[PRESET 色温度 2]メニューを開く
 - ・[メインメニュー] → [カメラ設定] → [ホワ イトバランス] → [PRESET 色温度 1]項目 および[PRESET 色温度 2]項目を選択し、 セットボタン(●)を押します。
 - 色温度設定画面が表示されます。



色温度選択画面

- 2 色温度を選択する
 - ・設定値から選ぶ場合(色温度選択画面)十字ボタン(▲▼)で色温度を選択します。
 [設定値:7500K、6500K、5600K、5200K、4800K、4200K、●3200K、3000K、2800K]
 - さらに細かい数値で設定したい場合(色温度 詳細選択画面)
 - ・ 十字ボタン(▶)を押し、色温度詳細選択画 面を表示させます。
 - ・ 十字ボタン(▲▼)で色温度を選択します。
 [設定値:2300K~15000K(100K 刻み)]

- メモ:-
- 色温度選択画面と色温度詳細選択画面は、十字 ボタン(▶)で切り換えられます。
- ユーザーボタンに[ホワイトバランス]を割り付けてある場合、割り付けたユーザーボタンを押すと、色温度選択画面が表示されます。
 (w P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

メモリーA モード(A)、メモリーB モード (B)

- メモリーAまたはメモリーBに保存されたホワ イトバランス状態になります。
- [WHT BAL B/A/PRESET]選択スイッチが"A"または"B"にあるとき、「●」ボタンを押しオートホワイトを実行すると、ホワイトバランスが自動調整され、調整値がメモリーAまたはメモリーBに保存し直されます。
- 1 カメラの準備をする
- [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを"ON"に設定 する
- [IRIS]ボタンを押し、オートモードにする
- ③ [FULL AUTO]スイッチを"OFF"に設定する
- 2 照明に合わせて、[ND FILTER]スイッチを設定する。

(☞ P50 [ND フィルターを設定する])

- 3 [WHT BAL B/A/PRESET]選択スイッチを"A"か "B"に設定する
- 4 画面の中心付近に被写体と同じ照明条件で白い ものを置き、ズームアップして画面に白を映す
- 5 [●](オートホワイトバランス)ボタンを押す
 - オートホワイトが起動するとにホワイト検出 枠が表示されます。枠いっぱいに白が映るよう にしてください。
 - オートホワイト起動中は、"A< >"または
 "B< >"が画面に表示されます。(● マークは点滅)
 - 正しくホワイトバランスがとれると、現在のおおよその色温度が表示されます。



ご注意:-

- 金属など、反射光の強い被写体を置かないでください。正しくホワイトバランスがとれないことがあります。
- 被写体の色が一色しかない場合や、白が少ないな どオートホワイト機能の調整範囲を超えている場 合は適正なホワイトバランスがとれません。

エラーメッセージ

オートホワイト調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージが約3秒間表示されます。

| メッセージ | 状態 |
|---|--|
| オートホワイトバ ランス ※ 被写体不 良です (※A または B) | 被写体の白が少ないときや色 温度が適正でないときなどに 表示されます。 白い被写体に変更し、ホワイ トバランスを取り直してくだ さい。 |
| オートホワイトバ ランス ※ 光量不足 です (※A または B) | 照明が暗いときに表示されま す。照明を明るくしてホワイ トバランスを取り直してくだ さい。 |
| オートホワイトバ ランス ※ 光量過 剰です (※A または B) | 光量過剰です。 照明が明るすぎるときに表示 されます。照明を暗くしてホ ワイトバランスを取り直して ください。 |

撮影

ホワイトペイント調整

メモリーAまたはメモリーBに保存されたホワイトバランスを微調整することができます。

 【メインメニュー】→ [カメラ設定] → [ホワイトバランス] → [AWB ペイント]項目を選択し、セットボタン(●)を押す ホワイトペイント調整画面が表示されます。



2 R値とB値を調整する 十字ボタン(▲▼)でRの値、十字ボタン(◀►)で Bの値を調整します。



3 セットボタン(●)を押す [ホワイトバランス]画面に戻ります。



メモ:-

- ● [●]を実行すると、通常ホワイトペイント調整 値はクリアされますが、[メインメニュー]→[カ メラ設定]→[ホワイトバランス]→[AWB 後ペ イント解除]を"切"にした場合、[●]を実行し てもクリアされません。

 (☞ P96 [AWB 後ペイント解除])
- ユーザーボタンに[ホワイトバランス]を割り付
- けてある場合、割り付けたユーザーボタンを押 すと、AWBペイント調整画面が表示されます。 (187 P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

自動ホワイトバランスモード(FAW: Fulltime Auto White balance)

- 側面操作パネルの[WHT BAL] ボタンを押して、自動ホワイトバランスモードにします。
- 画面に"<FAW>"が表示されます。
- 本機の[FULL AUTO]スイッチを"ON"にすると 自動ホワイトバランスモードとなり、被写体の 照明色温度に応じて適切なホワイトバランスに なるよう、自動的に調整します。
- この場合、[WHT BAL B/A/PRESET]選択スイッ チでのホワイトバランス切り換え操作は無効と なります。



ご注意:-

- [FAW]の精度はオートホワイトバランスより 劣ります。
- [FAW]モードで電源を入れると、色合いが安定 するまで約 15 秒かかります。

メモ:-

- [メインメニュー] → [カメラ機能] → [ユーザー ボタン機能設定] → [AE ロック]項目を"AE/ WB"に設定した場合、自動ホワイトバランスモー ド時、[AE ロック]を割り付けたユーザーボタ ンを押すと、その時点のホワイトバランスに固 定できます。
 (☞ P91 [AE ロック])
- ユーザーボタンに[ホワイトバランス]を割り付けてある場合、割り付けたユーザーボタンを押すと、FAWペイント調整画面が表示されます。
 (us P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

撮影

FAW ペイント調整

自動調整されたホワイトバランスを、微調整する ことができます。

 [メインメニュー] → [カメラ設定] → [ホワイ トバランス] → [FAW ペイント]項目を選択し、 セットボタン(●)を押す FAW ペイント調整画面が表示されます。



2 R値とB値を調整する 十字ボタン(▲▼)でRの値、十字ボタン(◀►)で Bの値を調整します。

カメラ画を調整する

[カメラ設定]メニューでカメラの画質を設定します。

設定値を変えるごとに画面に反映しますので、カ メラ画質を確認しながら調整できます。

- [ディテール]
- [マスターブラック]
- [暗部調整]
- [__]
- [ホワイトクリップ]
- [ガンマ]
- [WDR]
- [ホワイトバランス]
- [カラーマトリクス]
- [カラーゲイン]
- [リバースピクチャー]
 「提覧エービン」
- [撮影モード]

メモ:-

 各項目の詳細は、「カメラ設定」メニューの各項 目をご覧ください。
 (us P92 [カメラ設定メニュー])



3 セットボタン(●)を押す

[ホワイトバランス]画面に戻ります。



手ぶれ補正機能を使用する

手ぶれによる映像のブレを低減します。

1 手ぶれ補正機能の ON/OFF を確認する 画面表示に、手ぶれアイコン(())がない場 合、手ぶれ補正機能は OFF です。



 [OIS/2]ボタンを押し、手ぶれ補正機能を ON にする(手ぶれ補正機能が OFF の場合)
 [OIS/2]ボタンを押すたびに手ぶれ補正機能の

ON/OFF が切り換わります。

- OFF: 三脚などで固定して撮影するときに設定し ます。
- ON: 手ぶれによる映像のブレを低減します。
- メモ:-
- [メインメニュー] → [カメラ機能] → [手振れ 補正] → [レベル]項目で、補正レベルを設定で きます。
 - (☞ P88 [レベル])
- 映像のブレが大きい場合、補正しきれないこと があります。
- [OIS/2]ボタンは工場出荷状態では、"手振れ補 正"が割り当てられています。
- そのほかのユーザーボタンに"手振れ補正"を割り付けることもできます。
 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

録音する

本機では、映像と同期して2チャンネル(CH1/ CH2)の音声を記録することができます。 記録する音声は、下記4つから選びます。

- 内蔵マイク
- [AUX] 端子に接続したマイク
- [INPUT1] に接続したマイク
- [INPUT2] に接続したマイク



各チャンネルに記録する音声を選ぶ

CH1/CH2 にどの音声を記録するか選びます。

| - | スイッチ設定 | 接続機器 |
|-----|--------|---|
| CH1 | INT | 内蔵マイク [AUX] 端子に接続したマイク |
| | INPUT1 | [INPUT1] に接続したマイク |
| CH2 | INT | 内蔵マイク [AUX] 端子に接続したマイク |
| | INPUT1 | [INPUT1] に接続したマイク |
| | INPUT2 | [INPUT2] に接続したマイク |

メモ:-

- "INT"に設定した場合、[AUX]端子にマイクなどが接続されていると内蔵マイクは無効となり、 [AUX]端子に接続したマイクの音声が記録されます。
- "INT"に設定した場合の入力基準レベルは、[メインメニュー] → [映像/音声設定] → [音声設定] → [内蔵マイクゲイン]/[AUX ゲイン]項目で設定します。
 (☞ P102 [内蔵マイクゲイン])
 (☞ P102 [AUX ゲイン])

入力チャンネルを[INPUT1]/[INPUT2]に設定し た場合

[INPUT1]端子と[INPUT2]端子に入力する音声を [INPUT1]/[INPUT2]モード切換スイッチで選択 します。

| 設定 | 内容 |
|-----------|---|
| [LINE] | オーディオ機器などを接続するとき、この設定にします。入力基準レベルは+4 dBu になります。 |
| [MIC] | ダイナミックマイクを使用すると き、この設定にします。 |
| [MIC+48V] | +48 V の電源供給が必要なマイク (ファントムマイク)を接続すると き、この設定にします。 |

撮 影

> "MIC"および"MIC+48V"に設定時の入力基準レベルは、[メインメニュー]→[映像/音声設定]
> →[音声設定]→[INPUT1 基準レベル]/ [INPUT2 基準レベル]項目で設定します。
> (Las P102 [INPUT1 基準レベル])
> (Las P102 [INPUT2 基準レベル])

ご注意:-

メモ:-

- +48 Vの電源供給が不要な機器を接続するときは、"MIC+48V"の位置に設定されていないことを確認のうえ、接続してください。
- [INPUT1]/[INPUT2]モード切換スイッチを "MIC"に設定した場合、[INPUT1]/[INPUT2]端 子にマイクが接続されていることを確認してく ださい。マイクが接続されていない状態で、録音 レベルをあげると、入力端子からのノイズが記 録されることがあります。
- [INPUT1]/[INPUT2]端子にマイクを接続しな い場合は、[INPUT1]/[INPUT2]モード切換ス イッチを"LINE"に設定するか[CH1]/[CH2]録 音レベル調節つまみで音量を絞ってください。

| 音声記録レベルの調整

2 チャンネル(CH1/CH2)の音声記録レベルをチャ ンネルごとに手動で調整するか自動で調整するか を選択します。



手動調整モード(手動調整)

- 本機の[CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッ チを"MANUAL"側に設定にすると手動調整モー ドとなり、[CH1]/[CH2]録音レベル調節つまみ で録音レベルを設定します。
- レベルの設定は、記録時、記録スタンバイ時、停止モード時に手動で調節できます。

■ 入力チャンネルを"INPUT1"/"INPUT2"に設定し た場合

- 録音レベルを手動で調節したいチャンネルの [CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッチを "MANUAL"側に設定
- 2 該当する[CH1]/[CH2]録音レベル調節つまみ をまわし、レベルを調整する

[音声設定] → [リミッター]項目を"切"に設定 している場合、大きな音が入っても、オーディ オレベルメーターの-2 dB が点灯しないように 調節してください。 (☞ P102 [リミッター])



撮影

■ 入力チャンネルを[CH1]/[CH2]ともに"INT"に 設定した場合

- [CH1 AUTO/MANUAL]選択スイッチを "MANUAL"側に設定する
- 2 [CH1]の録音レベル調節つまみをまわし、レベルを調整する

内蔵マイク、[AUX]入力端子を使用する場合、 [CH1]、[CH2]の録音レベルは連動します。 [CH1 AUTO/MANUAL]選択スイッチの設定が [CH2]に対しても有効になります。

メモ:-

- 記録音声については、メニューで、[リミッター]、 [AGC レスポンス]、[AGC モード]、[内蔵マイ クステレオ強調]などが設定できます。
- [リミッター]項目が"切"以外に設定されている 場合、設定に従ってリミッターが動作します。
 (☞ P102 [リミッター])
- SD カードに記録する基準レベルは、[メインメニュー]→[映像/音声設定]→[音声設定]→[基準レベル]項目で"-20dB"、"-18dB"または"-12dB" に設定します。(CH1/CH2に共通です) (☞ P102 [基準レベル])
- [CH2]の録音レベル調節つまみ、[CH2 AUTO/ MANUAL]選択スイッチは操作無効となります。

自動調整モード

- [CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッチを "AUTO"側に設定、または[FULL AUTO]スイッ チを"ON"にすると自動調整モードとなり、入力 レベルに応じて自動的に音声記録レベルが設定 されます。
- [FULL AUTO]スイッチを"ON"に設定した場 合、[CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッチ でのモード切り換え操作は無効となります。

メモ:-

- 自動調整モード時、[メインメニュー] → [映像/ 音声設定] → [音声設定] → [リミッター]項目 の設定が"切"の場合、-5dBFS でリミッターが動 作します。
- [リミッター]項目が"切"以外に設定されている 場合、設定に従ってリミッターが動作します。
 (☞ P102 [リミッター])
- [FULL AUTO]スイッチを"ON"に設定した場合でも、[映像/音声設定] → [音声設定] → [フルオート]項目を"スイッチに従う"に設定すると、カメラ本体の[CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッチで音声記録モードを切り換えることができます。
 (☞ P104 [フルオート])

ヘッドホンで記録時の音声 をモニターする

記録している音声をヘッドホンで確認できます。



- 1 ヘッドホンを接続する
- 2 モニターするチャンネルを[MONITOR]選択ス イッチで選択する

| 設定 | 内容 |
|--------|--------------------------------|
| [CH1] | [CH1] に記録している音声を出力し ます。 |
| [BOTH] | [CH1/CH2] に記録している音声を 出力します。 |
| [CH2] | [CH2] に記録している音声を出力し ます。 |

3 [MONITOR +/-]ボタンでモニター音量を調節 する

メモ:-

 記録時の音声は、モニタースピーカーからは出 力されません。

 本機に異常があった場合や、バッテリーが容量 不足のとき警告音が出力されます。
 (☞ P131 [警告音])

[MONITOR]選択スイッチを"BOTH"に設定した 場合の音声出力方法を選択する

ステレオタイプのイヤホンジャック接続時、ステ レオ音声を出力させる場合は、次のように設定し ます。

- 1 [MONITOR]選択スイッチを"BOTH"に設定
- 2 [メインメニュー] → [映像/音声設定] → [音声 設定] → [音声モニター]項目を"ステレオ"に設 定する (☞ P104 [音声モニター])

メモ:-

 警告音の音量は[メインメニュー]→[映像/音声 設定]→[音声設定]→[警告音量]項目で設定で きます。("切"/"低"/"中"/"高")
 (☞ P104 [警告音量])

タイムコードとユーザーズ ビットについて

本機では、タイムコードおよびユーザーズビット のデータが、映像に付随して記録されます。 再生または記録時、タイムコードおよびユーザー ズビットをビューファインダー画面や LCD モニ ターに表示します。(ディスプレイ画面)

タイムコードとユーザーズビットの表示

再生または記録時、タイムコードおよびユーザー ズビットをビューファインダー画面やLCDモニ ターに表示します。 表示は、メニュー設定によって異なります。

1 [メインメニュー]→[LCD/VF 設定]→[表示設定]→[TC/UB]項目を"切"以外に設定する (☞ P100 [TC/UB])

"TC"に設定した場合はタイムコード、**"UB**"に設定した場合はユーザービットデータがディス プレイ画面に表示されます。



メモ:-

 メディアモードでは、SD カードに記録された 値が表示されます。 タイムコードの動作モード

タイムコードの動作は、[メインメニュー]→ [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目で設定 します。

(☞ P96 [TC ジェネレーター])

| 設定 | 説明 |
|---------------|---|
| Free Run(Ext) | [TC] 端子に接続したもう1台の カメラに同期させるモードです。 記録状態に関係なく、常に歩進し ます。 本機の電源を切っても歩進を続け ます。 |
| Free Run | 記録状態に関係なく、常に歩進し ます。 本機の電源を切っても歩進を続け ます。 |
| Rec Run | タイムコードは記録時に歩進しま す。SD カードを入れ換えない限 り、タイムコードは記録されたク リップの順で連続します。SD カー ドを取り出して別のカードで記録 を行うと、前のカードで記録した タイムコードの続きから記録しま す。 |
| Regen | タイムコードは記録時に歩進しま す。SD カードを入れ換えた場合、 そのカードに記録されている最後 のタイムコードを読み出して、タ イムコードが連続するようにタイ ムコードを設定して記録します。 (mar P59 [タイムコードの設 定]) |

メモ:-

- [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→
 [記録モード]項目が、"バリアブルフレーム"、"インターバルレック"、"フレームレック"で、[TCジェネレーター]項目が"Free Run"、"Free Run(Ext)"に設定されている場合、Rec Run モードとなります。
- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [形式]項目が "AVCHD"の場合、プリレックは Free Run モードとなります。
 (☞ P106 [形式])

タイムコードジェネレーター を設定する

タイムコードのプリセット

記録時、内部タイムコードジェネレーターからの タイムコードおよびユーザーズビットのデータを 記録します。

ここでは[TC/UB 設定] → [TC プリセット]項目か らの設定方法について説明します。 (☞ P96 [TC プリセット])

メモ:---

- [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→
 [記録フォーマット]→[フレーム数/画質]項目の設定が"50i(HQ)"、"50p(SP)"、"50p(HQ)"、
 "50p(SP)"、"25p(HQ)"、"24p(HQ)"、"50i"の場合、
 "ドロップ"には設定はできません。
 (☞ P106 [フレーム数/画質])
- [TC/UB 設定]メニュー画面をひらかずに、設定 することもできます。
 (☞ P60 [メニューをひらかずにタイムコード を設定する])

プリセット前に必要な設定

- [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Rec Run"か"Free Run"に設定する
 (☞ P96 [TC ジェネレーター])
 - [Rec Run]: タイムコードジェネレーターにプリセット したデータが記録モード時歩進します。つな ぎ部で連続したタイムコードを記録する場 合に設定します。
 - [Free Run]: タイムコードジェネレーターにプリセット した時点から歩進を始めます。

2 タイムコードジェネレーターへのフレーミン グモードを選択する(フレームレートの設定が "60"または"30"の場合のみ)

[メインメニュー] → [TC/UB 設定] → [ドロッ プフレーム]項目で設定します。

(☞ P97 [ドロップフレーム])

- [ドロップ]:
 タイムコードジェネレーターの歩進のしか たをドロップフレームモードにします。記録 した時間を重視するとき、この設定にしま す。
- 〔ノンドロップ〕:
 タイムコードジェネレーターの歩進のしか たをノンドロップフレームモードにします。
 フレーム数を重視するとき、この設定にしま す。

メモ:-

- ドロップフレーム/ノンドロップフレームモード
- 「メインメニュー」→「システム」→「記録設定」→「記録フォーマット」→「フレーム数/画質」項目のフレームレートの設定が"60p"、"60i"、 "30p"の場合、1秒間の実際のフレーム数は約59.94(29.97)ですが、タイムコードの処理基準となるフレーム数は"60p"、"60i"、"30p"です。このフレーム数のズレを補正するため、10で割り切れない分の桁が上がるときに00フレームと、01フレームをドロップすることでつじつまを合わせるモードをドロップフレームモード(ドロップ)といいます。ただし、"60p"の場合、00、01、02、03フレームがドロップします。
- フレームをドロップせず、実時間とのズレを無 視するモードをノンドロップフレームモード(ノ ンドロップ)といいます。

タイムコードの設定



 [メインメニュー] → [TC/UB 設定] → [TC プ リセット]項目を選択しセットボタン(●)を押 す

(☞ P96 [TC プリセット]) [TC プリセット]画面が表示されます。



- 撮影
- メモ:-
- [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Regen"に設定した場合、パラメーターは "Regen"と表示され選択できません。
 (☞ P96 [TC ジェネレーター])
- 2 タイムコード(時、分、秒、フレーム)を設定する 十字ボタン(◆)で設定する項目にカーソルを 合わせ、十字ボタン(▲▼)で数値を変更します。



- メモ:-
- [OIS/2]ボタンを押すと各桁がリセットされ"0" になり、カーソルが時間の桁(左端)に移動しま す。
- 3 数値が確定したらセットボタン(●)を押す
 - タイムコードが設定され[TC/UB 設定]画面 に戻ります。
 - 設定をキャンセルする場合は[CANCEL]ボ タンを押します。
- **4** [MENU]ボタンを押す 通常画面に戻ります。

┃メニューをひらかずにタイムコードを設定 ┃する



メモ:-

- 下記の場合は設定できません。
 - [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目
 を"Regen"に設定している。
 - ・メニュー画面が表示されている。
 - カメラモードではない。

タイムコードの設定

- [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Regen"以外に設定
 (☞ P96 [TC ジェネレーター])
- 2 [MENU]ボタンを押しながら[FOCUS ASSIST/1]ボタンを押す

[TC プリセット]設定画面が表示されます。



ノンドロップフレーム時

3 タイムコード(時、分、秒、フレーム)を設定する 十字ボタン(◆)で設定する項目にカーソルを 合わせ、十字ボタン(▲▼)で数値を変更します。

メモ:-

 [OIS/2]ボタンを押すと各桁がリセットされ"0" になり、カーソルが時間の桁(左端)に移動します。

- 4 数値が確定したらセットボタン(●)を押す
 - タイムコードが設定され通常画面に戻ります。
 - 設定をキャンセルする場合は[CANCEL]ボ タンを押します。

ご注意:-

- 編集中にメディアモードに切り換えた場合、編集中止となり画面がとじます。
- タイムコードの編集中、[メインメニュー]→[カ メラ機能]→[ユーザーボタン機能設定]項目で 設定された[FOCUS ASSIST/1]、[OIS/2]ボタ ンの動作は無効となり、[OIS/2]は数値のリセッ トボタンとして機能します。
 (mr P90 [ユーザーボタン機能設定項目])

SD カードに記録されているタイムコード に続けてタイムコードを記録する

本機はタイムコードリーダーも備えています。

- [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Regen"に設定する
 - 撮影スタンバイ状態から記録モードに入る とき、SDカードに記録されているタイム コードデータを読み取り、その値に続けてタ イムコードを記録します。
 - ユーザーズビットは SD カードに記録されているユーザーズビットと同じデータを記録します。

メモ:-

 [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Regen"に設定した場合、タイムコードのフレー ミングモードは、クリップではなく[TC/UB 設 定]→[ドロップフレーム]項目での設定に従い ます。

 (」)

(☞ P97 [ドロップフレーム])

ユーザーズビットを設定す る

日付け、時刻または8桁の16進数をユーザーズ ビットとして記録映像に付加できます。



記録モードを設定する

ユーザーズビットに日時情報を記録する

 [メインメニュー]→[TC/UB 設定]→[UB モー ド]項目を"日付"または"時刻"に設定し、セッ トボタン(●)を押す (☞ P96 [UB モード]) ユーザーズビットに日付けまたは時刻の情報 が記録されます。

メモ:-

- "日付"または"時刻"設定時、[プリセット]は"-"と 表示され設定できません。
- "時刻"は 24 時間表示になります。

ユーザーズビットのプリセット

ユーザーズビットに任意情報(8 桁の 16 進数)記 録する [メインメニュー] → [TC/UB 設定] → [UB モード]項目を"プリセット"に設定し、セットボタン(●)を押す (☞ P96 [UB モード])

[UB モード]設定画面が表示されます。



撮影

- メモ:
 「TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目を "Regen"に設定した場合、パラメーターは "Regen"と表示され選択できません。
 (☞ P96 [TC ジェネレーター])
- [メインメニュー] → [TC/UB 設定] → "ブリ セット"項目を選択し、セットボタン(●)を押す [プリセット]設定画面が表示されます。
- 3 十字ボタン(◆)で設定する項目にカーソルを 合わせ、十字ボタン(▲▼)で数値を変更する ユーザーズビットは各桁を 0~9、A~Fの数字 またはアルファベットで指定します。



メモ:--

- [OIS/2]ボタンを押すと各桁がリセットされ"0" になり、カーソルが左端に移動します。
- 4 数値が確定したらセットボタン(●)を押す
 - ユーザーズビットが設定され[TC/UB 設定] 画面に戻ります。
 - 設定をキャンセルする場合は[CANCEL]ボ タンを押します。
- **5** [MENU]ボタンを押す 通常画面に戻ります。

タイムコードをもう一台の カメラに同期させる

本機にはタイムコード入出力端子([TC]端子)が あります。 [TC]端子にもうー台のカメラを接続し、タイム コードに同期させます。

1 マスター機の[TC]端子とスレーブ機の[TC]端 子を接続する

マスター機の[TC IN/OUT]切換スイッチを "OUT"、スレーブ機の[TC IN/OUT]切換スイッ チを"IN"に設定します。



本機の設定・操作

- カメラモードにする (☞ P10 [動作モードについて])
- 2 [TC/UB 設定] → [TC ジェネレーター]項目を 下記のように設定する
 - スレーブ機:
 "Free Run(Ext)"に設定する
 マスター機:
 - "Free Run"に設定する
- 3 LCD モニターまたはビューファインダーを ディスプレイ1表示画面にする
- 4 マスター機を設定してタイムコードを歩進 (Run)させる
 - 内蔵タイムコードジェネレーターが外部タイムコードデータ入力と同期した場合は、ディスプレイ1画面の■アイコンが点灯します。
 - タイムコードが同期しなかった場合やタイムコード入力がない場合は、
 アイコンが消灯します。



メモ:----

- 同期したあとにマスター機の接続が切れても、
 内蔵タイムコードジェネレーターは動作を続けます。
- ユーザーズビットは、マスター機のデータになります。
- [TC]端子接続中、マスター機およびスレーブ機の[映像/音声設定] → [映像設定] → [HDMI/SDI 出力]項目の設定を変更すると、変更時にタイム コードの同期が乱れることがあります。
 (☞ P101 [HDMI/SDI 出力])

ゼブラパターンを設定する

ゼブラパターンを表示する明るさの範囲を指定す ると、撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のし ま模様(ゼブラパターン)が表示されます。



- ゼブラ表示パターンを設定する
 [LCD/VF 設定] → [撮影補助] → [ゼブラ]項目
 で表示パターンを選択します。
- 2 ゼブラパターンを表示する明るさ(輝度)の範囲を指定する

[LCD/VF 設定]→[撮影補助]→[ゼブラ]→[上 限]項目および[下限]項目で明るさの上限値と 下限値を指定します。

| 項目 | 設定内容 | 選択肢 |
|----|-------------------------------|-------------------------|
| 上限 | [ゼブラ]を表示す る輝度レベルの上 限の設定 | 5%~100%、Over (5 %刻み) |
| 下限 | [ゼブラ]を表示す る輝度レベルの下 限の設定 | 0%~100%(5 %刻 み) |

3 ゼブラパターンを表示させる [ZEBRA/5]ボタンを押すと指定した範囲にゼ ブラパターンが表示されます。



メモ:-

- [ZEBRA/5]ボタンは工場出荷状態では、"ゼブ ラ"が割り当てられています。
- そのほかのユーザーボタンに"ゼブラ"を割り付けることもできます。
 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

スポットメーターを設定す る

撮影時の被写体の明るさを表示します。 映画や舞台などのライティング設定や、カメラの 露出を決定するときに役立つ機能です。 LCD モニターとビューファインダー画面の映像に 場所を示すカーソルと、その場所の明るさ(%)を 表示します。

- 映像信号の明るさ表示にはゼブラ表示があり、 出力映像の明るさを表示します。
 (☞ P63 [ゼブラパターンを設定する])
- 本機能では、ガンマカーブなど映像処理に依存 せず、レンズからの入力映像そのものの明るさ
- を確認することができます。カメラのダイナミックレンジを400%とし、0%~400%以上の明るさを表示します。

メモ:-

撮影

 ゼブラ表示の範囲とは、一致しないことがあります。[カメラ設定] → [ガンマ]項目を、"シネマ"に設定している場合、出力の100IREと、表示の100%は一致しません。
 400%以上の光量の被写体を検出した場合は、 "400%と表示されます。
 (rs P93 [ガンマ])



 【メインメニュー】→ [カメラ機能] → [ユーザー ボタン機能設定] → [スポットメーター]項目で 下記を選択する (☞ P90 [スポットメーター])

| 項目 | 設定内容 | 位置を表示す る枠の色 |
|-------|--|--|
| 最大と最小 | 画面の中で最も明 るい場所と最も暗 い場所の位置と明 るさ(%)を表示し ます。また、枠を停 止させることがで きます。 | ●最大:緑色 ●最小:黄色 |
| 最大 | 画面の中で最も明 るい場所の位置と 明るさ(%)を表示 します。また、枠を 停止させることが できます。 | 緑色 |
| 最小 | 画面の中で最も暗い場所の位置と明るさ(%)を表示します。また、枠を停止させることがます。 | 黄色 |
| マニュアル | 指定した位置の明 るさ(%)を表示し ます。 | 緑色 (位置指定時は 緑色に点滅) |

2 いずれかのユーザーボタンに"スポットメー ター"機能を割り付ける

(Imp P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

3 "スポットメーター"を割り付けたユーザーボ タンを押す ボタンを押すごとに下記のように動作が切り

ホタンを押すごとに下記のように動作か切り 換わります。

[最大と最小]/[最大]/[最小]に設定した場合

 ボタンを押すと設定に従ってカーソルが表示 されます。
 緑色と黄色の枠が表示され、その場所の明るさ が表示されます。



②①の状態でボタンを長押しすると、被写体の変化に応じて、画面の中での最大輝度(最大)、および最小輝度(最小)の位置が自動検出され、その場所の明るさが表示されます。



- ③ ②の状態でボタンを押すと自動検出が停止し、 その位置で枠が固定され明るさが表示されます。
- ④ ボタンを押すと、カーソルおよび明るさ表示が 消えます。



[マニュアル]に設定した場合

 ボタンを押すと、カーソル位置の明るさが表示 されます。



 ボタンを押すと、カーソルおよび明るさ表示が 消えます。



③①または②の状態でボタンを長押しすると、 カーソルが緑色に点滅します。 十字ボタン(▲▼◆)でカーソルを動かし、明る さを表示する位置を指定します。 位置が決まったら、セットボタン(●)を押して 位置を確定させます。



④ その位置で枠が固定され明るさが表示されます。

メモ:-

- カーソル位置の移動中、[シャッター]/[AE レベル]の制御はできなくなります。
- 全ての画面の明るさが0%の場合、枠は真ん中に固定されます。
- カーソル位置が"4:3"の範囲外にあるときに[メ インメニュー] → [システム] → [記録設定] →
 [記録フォーマット] → [SD アスペクト]項目 を"16:9"から"4:3"に変更すると、カーソル位置 は初期設定位置になります。
 (☞ P106 [SD アスペクト])

記録した映像をすぐに見る (クリップレビュー)

最後に記録したクリップの映像を画面で確認(レ ビュー)することができます。 ただし、確認するクリップのビデオフォーマット(解 像度/フレーム数/画質/SD アスペクト)と違う設定に 変更した場合は再生できません。 (☞ P106 [解像度])

(INF P106 [フレーム数/画質]) (INF P106 [SD アスペクト])

撮影

メモ・---

- この機能を使用する場合はユーザーボタンのいず れかに"クリップレビュー"を割り当ててください。
 [C.REVIEW/7]ボタンは工場出荷状態では、"クリッ プレビュー"が割り当てられています。
- そのほかのユーザーボタンに"クリップレビュー" を割り付けることもできます。
 (IF P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])



 記録待機("STBY"表示)中に"クリップレビュー" 機能を割り当てたボタンを押す 設定した部分の再生が始まります。

メモ:-

- クリップレビューでは、[メインメニュー] → [カメ ラ機能] → [ユーザーボタン機能設定] → [クリッ プレビュー]項目の設定に従って、クリップを再生 します。出荷設定(最後5秒)ではクリップの最後の 5秒間を再生します。
 (☞ P90 [クリップレビュー])
- 設定期間の再生が終了するとクリップレビューは 終了し、"STBY"(記録待機)に戻ります。

ご注意 : 一

- クリップレビュー中は、[CANCEL]ボタンおよび [REC]ボタン以外は操作できません。
 [CANCEL]ボタンを押すと、クリップレビューを中止して、"STBY"(記録待機)に戻ります。
 [REC]ボタンを押すと、クリップレビューを中止して、記録に入ります。ボタンを押してから記録開始まで多少時間がかかります。
- 最後に記録されたクリップが5秒未満の場合はクリップ全体が再生されます。
- レビュー対象クリップは、現在選択されているスロット内に限ります。
- 選択スロット内にクリップが存在しない場合、ク リップレビューは機能しません。
- クリップコンティニュアスレック記録一時停止中 "STBY」(首色文字)はクリップレビューできませ ん。クリップレビューを実行するときは[CANCEL] ボタンで"STBY」(白文字)にしてから操作してく ださい。

(🖙 P71 [クリップコンティニュアスレック])

外部機器を接続した場合で外部機器が記録状態になっているときは、機能しません。

クリップを任意のタイミン グで分割する(クリップカッ ター記録)

撮影中に記録を停止させること無く、任意のタイ ミングでクリップを分割することができます。

- いずれかのユーザーボタンに"クリップカッ タートリガー"機能を割り付ける (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])
- 2 記録中に"クリップカッタートリガー"機能を 割り付けたユーザーボタンを押す ディスプレイ画面にクリップカットアイコン (●→)が3秒間表示され、クリップが分割され ます。



メモ:---

- クリップ分割をしてから数秒間は、クリップ分割操作ができません。
- [スロットモード]が"バックアップ"に設定時は 使用できません。
- (☞ P69 [バックアップレックについて])
 [記録モード]が"ノーマル"、"プリレック"以外に 設定時は使用できません。
 (☞ P107 [記録モード])
- 分割したクリップ間に、映像の途切れはなく、 シームレスに記録されます。

デュアルレックについて

- 工場出荷状態(「スロットモード」が"シリーズ") では、両スロットに記録可能なカードが挿入されている場合、「REC」ボタンを押すと、選択されているスロットに挿入されているメディアでのみ記録が開始されます。そのメディアの容量がいっぱいになると、もう一方のスロットがアクティブとなり記録を継続することができます。
- デュアルレックモード([スロットモード]が "デュアル")では、両スロットに記録可能なカードが挿入されている場合、[REC]ボタンを押す と、両スロットのメディアへ同時に記録が開始 されます。
- 両スロットに記録されたクリップは同じものとなり、本機のみで同一内容のクリップを2つ同時に作成することが可能です。
 (1270年7月10日)



┃ デュアルレックモードに設定する

【メインメニュー】→ [システム] → [記録設定] → [スロットモード]項目を"デュアル"に設定する

(INF P107 [スロットモード]) ディスプレイ画面に"DUAL"と表示されます。



2 記録を開始する

- 両スロットへ記録可能なメディアを挿入して、[REC]ボタンを押します。
- デュアルレックモードで両スロットへのメ ディアへ同時に記録が開始されます。
- 両カードスロットマークが赤色となり、両 カードスロット状態表示ランプが赤色に点 灯します。



- 3 記録を停止する
 - 再度[REC]ボタンを押します。
 - 両スロットとも記録が停止し、両カードス ロットマークが白色に戻ります。
 - 両メディアには同じクリップが記録されます。



メモ:-

- デュアルレックモードで記録中、両方のカード スロットマークが赤色に点灯します。
- 記録残量が異なるカードがそれぞれのスロット ヘ挿入されており、デュアルレックモードで記 録中、片方のカードの容量がいっぱいになると、 両スロットとも自動的に記録を停止します。記 録停止後、残量のあるカードへは自動的に記録 を再開します。この場合、クリップは別々になり ますが、シームレスに記録されますので、編集ソ フトウェアのタイムラインに並べると途切れな く繋がります。
- 最後に記録されたクリップの異なるカードが両 スロットへそれぞれ挿入されているとき、タイ ムコードの動作モードが"Regen"の場合、選択 されているカードスロットに対して、Regen モードで次の記録が有効となります。

ご注意:-

- デュアルレックモードで記録する場合、同じ容量のメディアで、かつフォーマットされた状態から記録を開始することをおすすめします。
- デュアルレックモードは、特殊記録モードと併用できます。デュアルレックモード時でも、[記録モード]を"ノーマル"、"プリレック"、"クリップコンティニュアス"、"インターバルレック"、"フレームレック"、"バリアブルフレーム"から選択することができます。ただし、[メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[形式]項目が"AVCHD"の場合、"クリップコンティニュアス"は選択できません。

(☞ P71 [特殊記録について])
 (☞ P107 [記録モード])
 (☞ P106 [形式])

- 両スロットに記録可能なメディアが挿入されている場合、デュアルレック(同時記録)が可能です。片方のスロットのみに記録可能なメディアが挿入されているときは、1枚でも記録を開始できます。
- デュアルレックモード時、スロットをまたいでの連続記録はできません。片方のスロットで記録開始後、もう片方のスロットへ記録可能なメディアが挿入されていても連続記録できません。
- デュアルレックモードに設定時、片方のスロットでのみ記録している場合、途中でもう一方のスロットへ記録可能なメディアを挿入してもデュアルレックできません。デュアルレックしたい場合は、一旦記録停止後(クリップコンティニュアスレックの記録一時停止は含まず)、記録を開始してください。
- デュアルレックモードで記録中、どちらか一方のカードを誤って抜いた場合でも、もう一方のスロットカードは継続して記録します。ただし、誤って抜いてしまったカードは修復機能で修復できない場合があります。
- デュアルレックモードで記録中にどちらか一方のカードで記録エラーが発生した場合、そのスロットの記録は停止しますが、もう一方のスロットカードは継続して記録します。
- デュアルレックモードで記録したクリップをメ ディアモードでクリッブ削除や OK マーク付加 などの操作を行う場合、選択されているスロッ トのカードのみ操作できます。

撮影

撮影

バックアップレックについ て

- バックアップレックモードでは、[REC]ボタン とは独立してスロットBの記録開始停止を制 御することによって、スロットBのメディアを バックアップ記録として動作させることができ ます。
- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [スロットモード] → [バックアップ記録]項目、または"バックアップトリガー"を割り当てたユーザーボタンで記録の開始、停止を行えます。

(☞ P107 [スロットモード])

(INF P90 [ユーザーボタン機能設定項目])



メモ:-

 バックアップレックモード([スロットモード] が"バックアップ")では、2つのスロットへ個別 のタイミングで記録制御ができ、本機のみでバッ クアップ記録が可能です。
 (*** 月107「フロットモード」)

(☞ P107 [スロットモード])

- 撮影開始からスロットBは常時記録状態(バックアップ記録)にしておき、スロットAは[REC] ボタンで必要なシーンだけ記録・停止を繰り返して撮影することによって、記録停止中に大事なシーンを撮り逃す心配がなくなります。
- スロットBには大容量メディアを使用することをお勧めします。

 【メインメニュー】→ [システム] → [記録設定] → [スロットモード]項目を"バックアップ" に設定する (☞ P107 [スロットモード]) ディスプレイ画面に"BACKUP"と表示されま

す。



- バックアップ記録を開始する(スロットBで バックアップ記録)
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [スロットモード] → [バックアップ記録] 項目で"記録"を選択し、セットボタン(●)を押します。

(☞ P107 [スロットモード])

- "バックアップトリガー"を割り当てたユー ザーボタンでも行えます。
- (☞ P90 [ユーザーボタン機能設定項目])
- バックアップ記録が開始され、スロットB への記録が開始されます。("BACKUP"の文 字が赤く表示されます。)
- スロットBマークが赤色(選択されている 状態)となり、スロットB状態表示ランプが 赤色に点灯します。



3 通常記録を開始する(スロットAで通常記録)

- いずれかの[REC] ボタンを押します。
- スロットAのメディアに記録が開始されます。
 - ("●REC"の文字が赤く表示されます。)
- スロットAのカードアイコンが赤色(選択 されていない状態)となり、スロットAの状 態表示ランプが赤色に点灯します。



4 通常記録を停止する

- 再度いずれかの[REC] ボタンを押します。
- スロットAの記録が停止し、スロットAの カードスロットマークが白色(選択されてい ない状態)に戻ります。
- "●REC"(赤)から"STBY"(白)に戻ります。
- スロットA状態表示ランプが消灯します。



白色(選択されていない状態)

- 5 バックアップ記録を停止する
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [スロットモード] → [バックアップ記録]項目で[スタンバイ]を選択し、セットボタン(●)を押します。

(☞ P107 [スロットモード])

- "バックアップトリガー"を割り当てたユー ザーボタンでも行えます。
- (IN P90 [ユーザーボタン機能設定項目])
- スロットBの記録が停止し、スロットBの カードスロットマークが白色(選択されてい る状態)に戻ります。
- "BACKUP"の文字が白色に戻ります。
- スロットB状態表示ランプが緑色に点灯します。



メモ:---

- バックアップ記録中、片方のカードの容量がいっ ぱいになると、いっぱいになったカードの記録 のみ停止します。
- 両スロットともに記録停止中の場合、記録開始したカードスロットに対して Regen モードでの記録が有効となります。
- 片方のスロットで記録中にもう片方のスロット で記録を開始した場合、記録中のメディアのク リップは分割され、もう片方のメディアと同時 に記録が開始されます。
- スロット A/ スロット B とも記録中に、どちらかの記録を停止させると、記録継続中のスロットのクリップが分割されます。
- 記録途中でクリップが分割された場合、クリップは別々になりますが、シームレスに記録されますので、編集ソフトウェアのタイムラインに並べると途切れなく繋がります。

バックアップ記録中、クリップカッター記録はできません。
 (w P67 [クリップを任意のタイミングで分割する(クリップカッター記録)])

[スロットモード]を"バックアップ"に設定時、
 [記録モード]を"ノーマル"以外に設定できません。

(☞ P107 [記録モード])

特殊記録について

通常の記録モードのほかに、プリレック、クリップ コンティニュアス、フレームレック、インターバル レック、バリアブルフレームの5つの特殊な記録 方法があります。

[記録設定] → [記録モード]項目で各モードを選択してください。

メモ:-

- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード]項目で設定します。
 (☞ P107 「記録モード])
- [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→
 [記録フォーマット]→[形式]項目が"AVCHD"の場合、"クリップコンティニュアス"は選択できません。
 (☞ P106 [形式])

プリレック

- 記録開始した時点より[プリレック時間]項目で 設定した秒数より前からの映像と音声を記録す ることができます。
- 記録待機状態(STBY □)から記録を開始するときに、記録開始の[プリレック時間]項目で設定した秒数より前から記録が可能です。
- ブリレックを使うことによって、記録開始操作 が遅れてしまっても冒頭が欠けることなく記録 することができます。
- メモ:-
- プリレックの時間は、[メインメニュー]→[シス テム]→[記録設定]→[記録モード]→[プリレッ ク時間]項目で"5 秒"、"10 秒"または"15 秒"に設 定できます。
- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [フレーム数/画質]項目のフレームレートの設定が"XHQ"に設定されている場合、"15秒"には設定できません。
 (☞ P107 [プリレック時間])



- [記録モード]項目を"プリレック"に設定する (☞ P107 [記録モード])
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設 定] → [記録モード]項目を"プリレック"に設 定します。
 - ディスプレイ表示が"STBY" → "STBY P"に 変わります。
- 2 [REC]ボタンを押すとプリレックモードで記 録が開始される
 - ディスプレイ表示が"STBYP" →
 "●RECP"に変わり、カードスロット状態 表示ランプが赤色に点灯します。
 - 再度[REC]ボタン押すと記録を一時停止し、
 "●RECP" → "STBYP" 表示に変わり、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

ご注意:-

 記録開始から記録終了までの時間が短い場合、 記録終了してもすぐに"STBY ™"表示にならな い場合があります。

"●RECP" → "STBYP" ("STBY"が赤く点滅)→
"STBYP" が表示。

- 記録中に記録 SD カード残量がなくなった場合は記録を停止し、"STOP"表示になります。
- 以下の場合は、記録を開始しても上記記載時間前の映像と音声が記録できない場合があります。
 - 電源投入直後
 - · 記録停止直後
 - メディアモードからカメラモードへの切り 換え直後
 - ・ [記録モード]項目の設定をした直後
 - クリップレビュー終了直後
 - ファイルフォーマットを変更した直後
 - ・ビデオフォーマットを変更した直後

クリップコンティニュアスレック

- 通常記録では、記録を停止すると記録開始から 記録停止までの画像・音声とそれに付随するデー タが、ひとつの"クリップ"として SD カード に記録されます。
- このモードでは、"記録開始から記録停止まで" を数回分まとめてひとつのクリップにすること ができます。

例)

通常記録では、記録1、記録2、記録3と、3つのク リップが生成されますが、このモードで記録する とひとつのクリップになります。



- 撮影
- 1 "記録モード"項目を"クリップコンティニュア ス"に設定する

(☞ P107 [記録モード])

- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード]項目を"クリップコンティニュアス"に設定します。
- ディスプレイ表示が"STBY"→"STBYC"に 変わります。
- 2 記録を開始する(記録1)
 - [REC]ボタンを押すとクリップコンティ ニュアスモードで記録が開始されます。
 - ディスプレイ表示が"STBYG" →
 "●RECG"に変わり、カードスロット状態表示ランプが赤色に点灯します。
- 3 記録を一時停止する
 - 再度[REC]ボタン押すと記録が一時停止し、
 "●REC©" → "STBY©"(黄色文字)表示に変わります。
 - カードスロット状態表示ランプは赤色点灯のままです。

メモ:-

- 一時停止の状態(STBYC)で[CANCEL]ボタン を押した場合、"STBYC"(黄色文字)→

 "STBYC"(黄色文字点滅)→ "STBYC"(白文字)

 表示となり、"クリップ"を生成します。カード
 スロット状態表示ランプが緑色に点灯します。
- 4 記録を再開する(記録 2)
 - 再度[REC]ボタン押すと、記録が再開され
 "STBYC"(黄色文字)→ "●RECC" 表示に 変わります。
 - カードスロット状態表示ランプは赤色点灯 のままです。

- 5 記録を一時停止する
 - 再度[REC]ボタン押すと記録が一時停止し、
 "●REC©" → "STBYC" (黄色文字)表示に変わります。
 - カードスロット状態表示ランプは赤色点灯 のままです。
- 6 記録を再開する(記録3)
 - 再度[REC]ボタン押すと、記録が再開され
 "STBYO" (黄色文字)→ "●RECO" 表示に 変わります。
 - カードスロット状態表示ランプは赤色点灯 のままです。
- 7 [REC]ボタンを長押しする
 - 記録が停止され "●RECC" → "STBYC"表示になり "クリップ"が生成されます。
 - カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。
- 8 再度[REC]ボタン押す
 - ディスプレイ表示が"STBY G" →
 "●REC G" に変わり、カードスロット状態 表示ランプが赤色に点灯します。
 - これ以降は新しい"クリップ"となります。

メモ:----

- 記録一時停止(STBYC、黄色文字)中は、下記操 作はできません。
 - クリップレビュー動作
 (IPP 66 [記録した映像をすぐに見る(クリップレビュー)])
 - SD カードスロットの切り換え
 - ・動作モードの切り換え
 - (IPP P10 [動作モードについて])
- メニューの設定にかかわらず、4 GB(あるいは 30 分)でファイル分割をします。

ご注意 : --

- 記録中(●RECC・赤文字)または記録一時停止 中(STBYC、黄色文字)は SD カードを抜かない でください。
- "クリップコンティニュアス"モード中に SD カードを抜く場合は、[CANCEL]ボタンを押し、
 "STBY]"(白文字)の表示および、カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯することを確認したあとに抜いてください。
- 記録中に記録 SD カード残量がなくなった場合 は記録を停止し、"STOP"表示になります。
- 記録中または記録一時停止中に[POWER ON/ OFF(CHG)]スイッチで電源を切った場合、記録 が停止してクリップが生成されたあと、電源が 切れます。
ご注意:-

- バッテリーの残量低下により電源が切れた場合、クリップがきちんと生成されないことがあります。
- [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→
 [記録フォーマット]メニューの[形式] 項目が
 "AVCHD"の場合、クリップコンティニュアス レックはできません。
 (127 P106 [形式])

フレームレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像とそれに付随するデータが、ひとつの"クリップ"として SD カードに記録されます。

このモードでは、[REC]ボタンを押すたびに記録 が開始され、記録は設定したフレーム数だけ行わ れます。

記録停止操作を行うまでをひとつのクリップとしてメディアに書き込むことができます。

- メモ:-
- 音声は記録されません。
- 一定量の記録が蓄積されるまで、メディアには 書き込みできません。
- 記録停止操作時、一定量に達していないと、一定 量に達するまで通常記録が行われ、クリップの 最後に映像が挿入されます。(パディング)
- 記録フレームが一定量に達し、メディアに書き込みされたあと、また一定量に達するまでの記録が蓄積されます。



- [記録モード]項目を"フレームレック" に設定 する
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード] 項目を"フレームレック"に設定します。
 - (☞ P107 [記録モード])
 - ディスプレイ表示が"STBY" → "STBY」"
 変わります。
- 2 [フレーム数]項目で、記録するフレーム数を設 定する
 - ●[メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード] → [フレーム数]項目で設定します。
 (☞ P107 [フレーム数])

撮影

- 3 記録を開始する
 - [REC] ボタンを押すと[フレーム数] 項目 設定したフレーム数だけ記録され、一時停止 となります。
 - ディスプレイ表示は"STBY」" → "●REC」" → "STBY」"(黄色文字)と変わります。
 - カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。
- 4 フレームレックを繰り返す
 - 再度[REC]ボタンを押すと[フレーム数]項目で設定したフレーム数だけ記録され、一時停止となります。
 - ディスプレイ表示は"STBY」" → "●REC」" → "STBY」"(黄色文字)と変わります。
 - 記録停止操作(手順 5)を行うまで、フレーム レックは継続されます。
- 5 [REC] ボタンを長押しする
 - カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。

ご注意:-

- 記録中("●REC」"、赤文字)または記録一時停止 中("STBY」"、黄色文字)は SD カードを抜かな いでください。
- フレームレック中に SD カードを抜く場合は、 [CANCEL] ボタンを押し、"STBY]"(白文字)の 表示および、カードスロット状態表示ランプが 緑色に点灯することを確認したあとに抜いてく ださい。
- タイムコードについては、[メインメニュー]→ [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目が "Free Run"、"Free Run(Ext)"に設定されている 場合は、"Rec Run"で記録されます。
- 音声は記録できません。オーディオレベルメーター表示には、Qマークが表示されます。
 (INF P114 [オーディオレベルメーター])

インターバルレック

通常記録では、記録を停止すると記録開始から記録停止までの画像とそれに付随するデータが、ひとつの"クリップ"として SD カードに記録されます。

このモードでは、記録、一時停止を設定した時間間 隔で繰り返します。記録は設定したフレーム数だ け行われます。

記録停止操作を行なうまでをひとつのクリップとしてメディアに書き込むことができます。

メモ:-

- 音声は記録されません。
- 一定量の記録が蓄積されるまで、メディアには 書き込みされません。
- メディアに書き込みされたあと、また一定量に 達するまでの記録が蓄積されます。
- 記録停止操作時、一定量に達していないと、一定量に達するまで通常記録が行われ、クリップの 最後に映像が挿入されます。(パディング)



- 1 [記録モード] 項目を"インターバルレック" に 設定する
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード]項目を"インターバル レック"に設定します。
 - (☞ P107 [インターバル時間])
 - ディスプレイ表示が"STBY" → "STBYI" に 変わります。
- 2 [フレーム数] 項目で、記録するフレーム数を設 定する

[メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード] → [フレーム数]項目で設定します。 (☞ P107 [フレーム数])

- 3 [インターバルレック] 項目で、記録を開始する 時間の間隔を設定する [メインメニュー] → [システム] → [記録設 定] → [記録モード] → [インターバル時間] 項 目で設定します。 (☞ P107 [インターバル時間])
- 4 記録を開始する
 - [REC] ボタンを押すと[フレーム数] 項目 で設定したフレーム数だけ記録され、一時停 止となります。
 - [インターバル時間]項目で設定した時間経 過すると、記録が再開され、[フレーム数]項 目で設定したフレーム数だけ記録され、一時 停止となります。
 - 記録停止操作が行われるまで、繰り返します。
 ディスプレイ表示は"STBYII" → "●RECII" →
 "STBYII" (赤色) → "●RECII" → "STBYII" (赤 色) ・・・と変わります。
 - カードスロット状態表示ランプが緑色に点滅します。
- 5 [REC] ボタンを長押しする
 - カードスロット状態表示ランプが緑色に点灯します。
 - ディスプレイ表示は、"STBY**I**"となります。

ご注意:-

- 記録中(●RECⅡ·赤文字)または記録一時停止中 (STBYⅡ、黄色文字)は SD カードを抜かないで ください。
- インターバルレック中に SD カードを抜く場合 は、[CANCEL] ボタンを押し、"STBY]"(白文 字)の表示および、カードスロット状態表示ラン プが緑色に点灯することを確認したあとに抜い てください。
- タイムコードについては、[メインメニュー]→
 [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目が
 "Free Run"、"Free Run(Ext)"に設定されている
 場合は、"Rec Run"で記録されます。
- 音声は記録できません。オーディオレベルメーター表示には、Qマークが表示されます。
 (w P114 [オーディオレベルメーター])

|バリアブルフレームレック

このモードで撮影すると、滑らかなスローモーショ ン、クイックモーション映像が得られます。 これは、記録時のフレームレートを再生時のフレー ムレートと異なる設定にして撮影することによる もので、通常の速度で撮影した映像を低速再生や 高速再生するよりも滑らかな映像となります。 パリアブルフレームレックを有効にするには、下 記2つの設定が必要です。

- 〔記録フォーマット〕→〔解像度〕項目が、
 "1920x1080"または、"1280x720"に設定されている。
- [記録フォーマット]→[フレーム数/画質]項目 が"30p(HQ)"、"24p(HQ)"、"25p(HQ)"のいずれか に設定されている。

設定できるフレーム数

- 1 [解像度]項目、[フレーム数/画質]項目を設定 (1187 P106 [解像度])
 - (☞ P106 [フレーム数/画質]) ● 「解像度]:
 - "1920x1080"または、"1280x720"に設定する
 - [フレーム数/画質]:
 "30p(HQ)"、"24p(HQ)"、"25p(HQ)"いずれか に設定する
- 2 [記録モード]項目を"バリアブルフレーム"に 設定する (☞ P107 [記録モード])
 [メインメニュー] → [システム] → [記録設

定] → [記録モード]項目を"バリアブルフレー ム"に設定します。

3 [フレーム数/画質]項目で撮影フレームレート を選択する (☞ P106 [フレーム数/画質]) 選択できる撮影フレームレートは表のように なります。

- メモ : —
- [メインメニュー] → [カメラ機能] → [AE LEVEL スイッチ]項目を"AE LEVEL/VFR"に設 定すると、バリアブルフレームレック時は十字 ボタン(◆)でフレームレートを選択できます。 十字ボタン(◆)はバリアブルフレームレック モード以外のときは AE レベルの設定ボタンに なります。

(INF P88 [AE レベル])

 記録停止操作時、一定量に達していないと、一定 量に達するまで通常記録が行われ、クリップの 最後に映像が挿入されます。(パディング)

ご注意:-

- 記録中は、撮影フレームレートを変更できません。変更する場合は、一度記録を停止してから行なってください。
- タイムコードについては、[メインメニュー]→
 [TC/UB 設定]→[TC ジェネレーター]項目が
 "Free Run"、"Free Run(Ext)"に設定されている
 場合は、"Rec Run"で記録されます。
- 音声は記録できません。オーディオレベルメーター表示には、Qマークが表示されます。
 (IPT P114 [オーディオレベルメーター])

| 解像度 | フレーム数/ 画質 | 選択できる撮影フレームレート | | |
|-----------|--------------|--------------------------------------|----|--|
| 1920x1080 | 30p | - | 30 | 27、25、24、22.5、20、18、15、12、10、 6、2 |
| | 24p | 30、27、25 | 24 | 22.5、20、18、15、12、10、6、2 |
| | 25p | - | 25 | 24,22.5,20,18,12.5,10,6,2 |
| 1280x720 | 30p | 60、54、50、48、45、40、36、32 | 30 | 27, 25, 24, 22.5, 20, 18, 15, 12, 10, 6, 2 |
| | 24p | 60、54、50、48、45、40、36、 32、30、27、25 | 24 | 22.5, 20, 18, 15, 12, 10, 6, 2 |
| | 25p | 50、48、45、40、36、32 | 25 | 24,22.5,20,18,12.5,10,6,2 |
| 再生時の効果 | | スローモーション | 標準 | クイックモーション |

撮影

記録したクリップを再生す る

SD カードに記録したクリップを再生するには、メディアモードに切換えます。

カメラモード時に[MODE]切換ボタンを長押しす ると、メディアモードとなり、SD カードに収録さ れているクリップがサムネイル画面に表示されま す。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開 始することができます。

メモ:-

 クリップが収録されていない SD カードを入れ た場合、"クリップなし"と表示されます。

操作ボタン

サムネイル画面での操作は、本機側面操作パネル 部または、LCDモニターの操作ボタンを使用します。



- [MENU/THUMB] ボタン
 - メニューを表示します。
 - メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、サムネイル画面に戻ります。
- [CANCEL](停止)ボタン 設定をキャンセルし、前の画面に戻ります。
- ❸ セット(プレイ)ボタン
 - 数値、項目を設定します。(決定)
 - 選択したクリップを再生します。
- ④ 十字ボタン(▲▼◀▶) カーソルを移動します。
- ⑤ [FOCUS ASSIST/1] ボタン
 - カーソルが選択しているクリップのOK マークを切り換えます。
 - OK マークが付加されているときは削除、付加されていないときは付加します。

- 6 [OIS/2] ボタン
 - カーソルが選択しているクリップの選択状 態を切り換えます。
 - 選択状態のクリップにはチェックマークが 表示されます。
- ⑦ [LOLUX/3] ボタン アクション選択画面に入ります。
- [DISPLAY] ボタン
 「標準画面」と「詳細画面」を切り換えます。
- ③ [STATUS] ボタン メディア情報画面を表示します。

サムネイル画面

- 「標準画面」と「詳細画面」があります。
 [DISPLAY] ボタンで切り換えられます。
- サムネイル表示は記録日時が古い順に表示されます。

標準画面



- **1** SD カード情報
 - 挿入されている SD カードと選択されている SD カード、書き込み禁止スイッチの状態、修 復の必要性の状態を表示します。
 - スロットは[SLOT A/B] スイッチで切り換え ます。スロット A、スロット B のクリップを同時に表示することはできません。
 - ▲ 〒 : スロット A の SD カードは書き込み禁止スイッチがセットされています。
 - B!: スロット B の SD カードは修復、 フォーマットが必要、または未対応の SD カードです。
- クリップマーク クリップの情報(プロパティ)が表示されます。



 OK マーク クリップに OK マークがついています。 メモ:-

- OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。
- [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→[記録設定]→[記録設定]→[記録)
 録フォーマット]→[形式] 項目が"AVCHD"の場合、OK マークはプロテクトを意味します。
 (☞ P106 [形式])
- ② 続きマーク

複数の SD カードに分割されて記録された場合、 別の SD カードから続くクリップであることをあ らわします。

- ③ 編集不可マーク
 - OK マーク付加、削除、クリップの削除ができないクリップをあらわします。
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [形式]項目が
 "AVCHD"の場合、本機以外の記録クリップは 編集できません。
- ④ 続くマーク

複数の SD カードに分割されて記録された場合、 別の SD カードへ続くクリップであることをあら わします。

- ⑤ チェックマーク
 - クリップを選択した場合、緑のチェックマーク が表示されます。
 - 複数選択モード時、赤紫やグレーのチェック マークが表示されます。

(108 P81 [複数のクリップを選択して実行する])

3 カーソル

操作対象のクリップです。十字ボタン(▲▼◆►)で 移動します。

④ サムネイルの代替表示



- 管理情報が壊れているクリップです。セット(プレイ)ボタンを押しても再生できません。
- ② 現在のビデオフォーマット設定ではサムネイルの 表示および再生ができないクリップです。 セット(プレイ)ボタンを押しても再生できません。

- メモ:-
- 〔メインメニュー〕→〔システム〕→〔記録設定〕→〔記録設定〕→〔記録設定〕→〔記録設定〕→〔ジステム〕項目、〔解像度〕項目、〔フレーム数/画質〕項目の設定に依存します。
 (☞ P106〔システム〕)
 (☞ P106〔フレーム数/画質〕)
- [記録フォーマット]→[形式]項目が"AVCHD"の場合、GY-HM600シリーズおよび GY-HM650シリーズ以外のカメラで記録されたファイルは再生できない場合があります。
 再生できないファイルの場合は、上記サムネイルの代替表示 ② で表示されます。
- ⑤ クリップ名 選択したクリップのファイル名(クリップナン バー)が表示されます。
- 6 操作ガイド
 - 現在操作できるボタンの操作ガイドが表示されます。
 - ユーザー 3([LOLUX/3]) ボタンを押すとアク ション選択画面が表示されます。
 (ISP 78 [アクションについて])
- 1 記録開始日時

クリップの記録開始日時を表示します。

メモ:-

- 日時の表示は、[メインメニュー]画面の[LCD/VF 設定] → [表示設定] → [日付書式]/[時間表示] 項 目の設定に依存します。
 (w P101 [日付書式])
 (w P101 [時間表示])
- 8 スクロールバー
 - スクロール位置をあらわします。
 - スクロールバー(白い部分)の下に黒いスペー スがある場合、続きのページがあります。
 - スクロールバー(白い部分)が下まできたら、 最終ページです。
- ❷ バッテリー残量表示
 - (☞ P22 [電源状態の表示])
- 🛈 クリップ数
 - いずれのクリップも選択されていない場合、表示対象となっているクリップの(通し番号/トータルクリップ数)を表示します。
 - クリップ1つでも選択されている場合、現在の スロットの選択済クリップ数が表示されます。

詳細画面

※標準画面と共通の項目は記述していません。「[標 準画面] P76」をご覧ください。



- サムネイル
 - カーソルが選択しているクリップのサムネイル です。十字ボタン(◆)で移動します。
- 2 スクロールマーク(⊲⊳)
 - 前のクリップが存在するときは、左側に ⊲が 表示されます。
 - 次のクリップが存在するときは、右側に ▷ が 表示されます。
 - 前後にクリップがない場合は表示されません。
- ③ メタデータ カーソルが指しているクリップのメタデータで す。 十字ボタン(▲▼)でスクロールできます。

アクションについて

ユーザー 3([LOLUX/3]) ボタンを押すとアクショ ン選択画面が表示されます。 それぞれ、下記の操作ができます。

| 項目 | 内容 | | | | |
|-----------------|------------------------------|--|--|--|--|
| すべてのクリッ | すべてのクリップを選択しま | | | | |
| プを選択 | す。 | | | | |
| OK クリップを | OK マークの付いたクリップを | | | | |
| 選択 | すべて選択します。 | | | | |
| 範囲を選択 | 複数のクリップを選択する場合 の 範囲を指定します | | | | |
| | (☞ P82 [不連続な複数ク | | | | |
| | リップを選択して実行する]) | | | | |
| すべての選択を | すべてのクリップの選択を解除 | | | | |
| 解除 | します。 | | | | |

| 月日 月日 | 内谷 |
|------------------|--|
| OK マーク追加 | OK マークを付加します。 このクリップ: カーソルが指しているク リップに OK マークを付加 します。 選択されたクリップ: 選択されている(チェック マークがついている)クリッ プに OK マークを付加しま す。 すべてのクリップ: すべてのクリップに OK マークを付加します。 |
| OK マーク削除 | OK マークを削除します。 このクリップ: カーソルが指しているクリップのOK マークを削除します。 選択されたクリップ: 選択されている(チェックマークがついている)クリップのOK マークを削除します。 すべてのクリップ: すべてのクリップ: すべてのクリップのOK マークを削除します。 |
| クリップ削除 | クリップの削除を行います。た だし、OK マークが付加されてい るクリップは削除されません。 • このクリップ: カーソルが指しているク リップを削除します。 • 選択されたクリップ: 選択されている(チェック マークがついている)クリッ プを削除します。 • すべてのクリップ: すべてのクリップを削除し ます。 |
| このクリップを トリミング | カーソルが指しているクリップ のトリミングを行います。 |

メモ:-

- アクションの対象は現在表示しているスロット のクリップです。
- ひとつも選択されている(チェックマークがついている)クリップが存在しないとき[選択されたクリップ]は実行できません。
- 選択されている(チェックマークがついている) クリップがひとつ以上存在するとき[このクリッ ブ]は実行できません。
- 書き込み禁止スイッチがセットされている SD カードは OK マークの付加・削除、クリップの削 除ができません。

再生

再生する

再生は、本機側面操作パネル部の操作ボタンで行います。



● ► II ボタン

- カーソルが指しているクリップの再生/一時 停止を行います。
- ・一時停止中に、十字ボタン(◆)を押すとコ マ送り再生が可能です。
- 2 ◄◄/►► ボタン

逆方向、順方向にスキップします。

▲◀/▶▶ ボタン

再生時: 逆方向、順方向に倍速再生します。

一時停止時:

逆方向、順方向にコマ送り再生します。

- 3 ボタン 再生を停止します。
- サムネイル画面で、再生したいクリップにカー ソルを移動させる 十字ボタン(▲▼◀▶)で再生したいクリップに カーソルを移動させます。
- 2 再生/一時停止ボタンを押す 選択したクリップの再生が始まります。

再生時の音声出力について

- 再生時の音声は、モニタースピーカーか[∩]端 子に接続したヘッドホンで確認できます。[∩]端 端子にヘッドホンを接続した場合、モニタース ピーカーから音はでません。
 (☞ P129 [ヘッドホンを接続する])
- モニタースピーカーおよびヘッドホンの音量 は、本機 LCD モニター部の[MONITOR +/-]音 量調節ボタンで調節します。

タイムコード再生

SD カードに記録されたタイムコードまたはユー ザーズビットを LCD モニターおよびビューファ インダーに表示できます。

メモ:-

- [HD/SD SDI]出力端子から出力される映像信号 にもタイムコードが重畳されます。
- [HD/SD SDI]出力端子から出力されるユーザーズビットは、有効画像信号判別フラグとして利用されるため、正確な値が出力されません。
- 再生中にタイムコードの記録されてない部分が あった場合、タイムコードはとまります。ただし 再生は継続します。

撮影時の情報を表示させる

再生時に[DISPLAY]ボタンを押すとディスプレイ 画面が表示されます。

[AE LOCK/4] ボタンを押すと、撮影時の情報(非 表示、カメラ情報表示、GPS 表示)が切り換わり表 示されます。

 GPS 表示は、GPS 情報が記録されている場合 にのみ、再生している映像を記録した場所の情 報が表示されます。
 日時表示は、ローカルタイムです。

日時衣示は、ローカルタイムです。

カメラ情報表示は、ゲイン、アイリス、シャッター、ホワイトバランスの情報のうち記録されているもののみが表示されます。



メモ:-

•本機には、GPS 機能はありません。

クリップを削除する

クリップの削除を行います。



再生

- OK マークの付いたクリップは本機では削除できません。
- パソコンなどで、読み込み専用にしたクリップで 削除できます。

ひとつのクリップを削除する

メニューの[クリップ削除] → [このクリップ]でカー ソルが指しているクリップ(1つ)を削除します。

メモ:-

XE:-

OK マークが付加されているクリップは削除できません。

サムネイル画面時

 1 削除するクリップにカーソルを移動させる 十字ボタン(▲▼◀▶)で、削除したいクリップに カーソルを移動させます。



 [LOLUX/3]ボタンを押す アクション選択画面が表示されます。 3 [クリッブ削除] → [このクリップ] 項目を選択 し、セットボタン(●)を押す 削除確認画面が表示されます。



4 十字ボタン(▲▼)で[削除]を選択し、セットボタン(●)を押す 削除が実行されます。

 Cのクリップを Dのクリップを Dのクリップを D版 D版 DR The Arrow of the Arrow of



複数のクリップを選択して削除する

複数のクリップを選択して削除する場合は、「「複数のクリップを選択して実行する] P 81」をご覧ください。

すべてのクリップを削除する

表示対象となっているクリップすべてを削除しま す。

- 1 [LOLUX/3]ボタンを押す アクション選択画面が表示されます
- 2 [クリップ削除] → [すべてのクリップ]を選択する
 剤除確認画面が表示されます。
- 3 [削除]を選択しセットボタン(●)を押す 削除が実行されます。

メモ:-

削除の処理時間は削除対象のクリップ数によります。

OKマークを付加・削除する

- 重要なシーンを撮影した場合など、クリップに OKマークをつけることができます。
- OK マークを付加したクリップは削除ができなくなり、重要なクリップを保護することができます。
- メディアモードでは、記録中に付加したマーク を削除したり、撮影後にマークを付加・削除する ことができます。



サムネイル画面時

- 1 [FOCUS ASSIST/1] ボタンを押す
 - OK マークが付加されていないクリップの 場合は OK マークが付加されます。
 - OK マークが付加されているクリップの場合、OK マークが削除されます。





再生または一時停止画面時

- クリップ再生中に[FOCUS ASSIST/1]ボタン を押す
 - OK マークが付加されていないクリップの 場合は OK マークが付加されます。
 - OK マークが付加されているクリップの場合、OK マークが削除されます。



メモ:-

クリップ再生中にOKマークの付加や削除を行なった場合、クリップは一時停止状態になります。

複数のクリップを選択して OK マークを付 加・削除する

複数のクリップを選択し OK マークを付加・削除 する場合は、「「複数のクリップを選択して実行す る] P 81」をご覧ください。

複数のクリップを選択して 実行する

- サムネイル画面時または再生画面時、複数のク リップを選択することができます。
- 複数選択後、アクション選択画面で OK マークの付加・削除、クリップの削除などが行えます。
- 複数選択後、下記操作で選択が一括解除されます。
 - アクションメニューの[すべての選択を解 除]を選択したとき
 - サムネイル画面からメディアモードから抜けたとき
 - SD カードを抜いたとき
 - 使用スロットを切り換えたとき

不連続な複数クリップを選択して実行する

1 チェックマークが表示されていないクリップ にカーソルを移動させ、[OIS/2] ボタンを押す クリップに緑のチェックマークが表示されま す。



2 手順1を繰り返し、複数のクリップを選択する

- 複数のクリップを選択できます。
- 複数選択した状態で、[LOLUX/3] ボタンを 押す
 - OK マークをまとめて付加:
 [OK マーク追加] → [選択されたクリップ]
 - OK マークをまとめて削除:
 [OK マーク削除] → [選択されたクリップ]
 - ・選択クリップをまとめて削除:
 [クリップ削除] → [選択されたクリップ]

メモ:-

- チェックマークの付いているクリップを選択し、[OIS/2] ボタンを押すと選択を解除できます。
- まとめて実行する場合、プログレスバーが表示 されます。実行途中にセットボタン(●)を押す と中断できます。ただし実行されてしまったものは取り消しできません。

連続した複数クリップを選択して実行する

- 1 [LOLUX/3] ボタン押す
- アクション選択画面で"範囲を選択"を選択し、 セットボタン(●)を押す



- 3 複数選択したい範囲の最初(または最後)のク リップへカーソルを移動し、セットボタン(●) を押す
- 4 カーソルをもう一端の範囲まで動かす
 - 範囲内クリップには赤紫のチェックマーク が表示されます。(すでに選択済のクリップ も含む)
 - 範囲外ですでに選択済のクリップにはグレーのチェックマークが表示されます。



- 5 セットボタン(●)を押し、範囲を確定する
 - チェックマークが赤紫から緑に変わります。
 - 複数選択した状態で、[LOLUX/3] ボタンを 押すと、アクション選択画面が表示され、下 記操作が実行できます。
 - OK マークをまとめて付加: [OK マーク追加] → [選択されたクリップ]
 OK マークをまとめて削除:
 - [OK マーク削除] → [選択されたクリップ] ・ 選択クリップをまとめて削除:
 - [クリップ削除] → [選択されたクリップ]

メモ:-

- チェックマークの付いているクリップを選択し、[OIS/2] ボタンを押すと選択を解除できます。
- まとめて実行する場合、プログレスバーが表示されます。
 実行途中にセットボタン(●)を押すと中断できます。ただし実行されてしまったものは取り消しできません。

記録したクリップをトリミ ングする

SD カードに記録したクリップの必要な部分を切り出すこと(トリミング)ができます。 トリミングしたクリップは元のクリップが記録されている SD カード上に作成され、元のクリップ は変化しません。

- メディアモードに切り換える 側面操作パネルの[MODE]切換ボタンで切り 換えます。
- トリミングするクリップにカーソルを移動させる

+字ボタン(▲▼◀▶)で、トリミングしたいク リップにカーソルを移動させます。



- **3 [LOLUX/3]ボタンを押す** アクション選択画面が表示されます。
- 4 [このクリップをトリミング]項目を選択し、 セットボタン(●)を押す 選択したクリップの再生が開始されます。



 ガイド 協作ガイ

操作ガイド

- 2 ポジションバー
 ▼ : 映像の現在位置
 - ▼ ・ 映像の現在位置
 ▲ : トリミング開始位置(イン点)
 - ▲ : トリミング終了位置(アウト点)
- 3 トリミング情報
 - ▲ または B : 保存先メディア(▲ または B) の残量を表示
 - イン点のタイムコードを表示
 アウト点のタイムコードを表示

メモ:-----

- 保存先は、トリミングするクリップと同じスロットカードとなります。
- [クリップ長]が10分以上のときは黄色表示となり、トリミング実行できません。
- [クリップ長]が保存先メディア残量以上のとき は黄色表示となり、トリミング実行できません。
- トリミング操作開始時、ディスプレイ表示はメ ディアディスプレイ2画面になります。

5 イン点を指定する

- <
 ボタン、I
 ボタンなどの操作でイン点まで映像を送ります。
- (☞ P79 [再生する])
- 切り出し開始地点で[USER1]ボタンを押し、イン点を指定します。
- 6 アウト点を指定する
 - <
 ボタン、
 ボタンなどの操作でアウト点まで映像を送ります。
 - (☞ P79 [再生する])
 - 切り出し終了地点で[USER2]ボタンを押し、アウト点を指定します。
- 7 トリミングを実行する [USER3]ボタンを押し、トリミングを実行しま す。
- メモ:-
- トリミング操作中、[CANCEL]ボタンでサムネイル画面に戻れます。
- トリミング操作中、[DISPLAY]ボタンでディス プレイ表示を切り換えられますが、トリミング 情報は常に表示されます。
- イン点アウト点はトリミング時、イン点は指定したイン点から最大1秒手前に、アウト点は指定したアウト点から最大1秒うしろにずれることがあります。

メニュー画面での基本操作

- 本機側面操作パネル部または、LCD モニターの [MENU/THUMB]ボタンを押すと、LCD モニ ターやビューファインダーにメニュー画面が表 示されます。
- メニュー画面では、撮影・再生などに必要なさま ざまな設定を行います。
- メニュー画面には、[メインメニュー]画面と[お 気に入りメニュー]画面の2種類があります。
- [メインメニュー]はカメラレコーダーすべての 設定項目を機能・用途別に分類したメニューで あり、[お気に入りメニュー]はユーザーが自由 にメニュー項目をカスタマイズできるメニュー です。

(☞ P109 [よく使うメニュー項目を登録・編集 する (お気に入りメニュー)])

- 操作方法や主な画面表示に関しては、両メニュー 画面とも同じです。
- メニュー画面は、映像信号出力端子に接続した 外部モニターに表示することもできます。
 (128 P101 [外部モニター情報表示])

操作ボタン

メニュー操作は、本機側面操作パネル部の操作ボ タンまたは、LCD モニターのボタンを使用します。

● [MENU/THUMB]ボタン

- メニュー画面を表示させます。工場出荷状態では、[メインメニュー]画面が表示されます。
- 通常使用時、前回のメニュー操作が[メイン メニュー]で終了した場合には[メインメ ニュー]が表示され、[お気に入りメニュー]
 で終了した場合には[お気に入りメニュー]
 が表示されます。
- メニュー表示中に押すとメニュー画面をとじ、通常画面に戻ります。
- メニュー表示中に長押しすると、[メインメニュー] 画面と[お気に入りメニュー] 画面が 切り換わります。
- [CANCEL]ボタン 設定をキャンセルし、前の画面に戻ります。
- 3 セットボタン(●) 数値、項目を設定します。
- ④ 十字ボタン(▲▼◀▶)
 - ▲ : カーソルを上に移動します。
 - ▼ : カーソルを下に移動します。
 - ◀ : 前の項目に移動、戻ります。
 - ▶ : 次の項目に移動、進みます。
- [FOCUS ASSIST/1]ボタン 選択しているメニュー項目またはサブメニュー 項目を[お気に入りメニュー]に登録します。
 (us P109 [よく使うメニュー項目を登録・編集 する(お気に入りメニュー)])
- ⑥ [OIS/2]ボタン [TC プリセット]、[UB プリセット]設定画面の とき、設定をリセットします。それ以外の画面 のときは無効です。
- ⑦ [DISPLAY]ボタン

[メインメニュー]画面と[お気に入りメ ニュー]画面を切り換えます。





- い場合があります。
- メニュータイトル 現在表示されているメニューのタイトルです。

設定値変更中



⑦変更中メニュー項目 これから変更しようと

これから変更しようとするメニュー項目です。 ポップアップで設定値一覧 ❻ が表示されま す。

- 2 操作ガイド 現在操作できるボタンの操作ガイドです。
- ③ 変更前の設定値 変更前の設定値です。項目のバックが青色で表示されます。
- ④ スクロールバー スクロール位置をあらわします。
- ⑤ カーソル 選択されている項目です。十字ボタン(▲▼)で 移動します。

6 設定値一覧

- 設定可能な設定値が一覧表示されるポップ アップです。
- ポップアップ部の高さは設定値の項目数に より変わります。スクロールバー ④ で現在 の表示状態を確認できます。

┃ ソフトウェアキーボードでの文字入力

[シーンファイル]/[ピクチャーファイル]のサブ ネームの入力、[クリップ名]の入力に使用します。

[シーンファイル]/[ピクチャーファイル]

(🖙 P123 [セットアップファイルの設定方法])



[クリップ名]

メニュー表示と詳細設定

(☞ P109 [クリップ名])



- ① 文字入力枠
 - タイトル入力枠です。
 - [シーンファイル]/[ピクチャーファイル]の サブネームは8文字、[クリップ名]は4文 字まで入力できます。
- 2 文字カーソル

ボタンカーソル ④ を移動して文字を選択し、 セットボタン(●)を押すと文字カーソルがある 位置に文字が入力され、文字カーソルが右に移 動します。 文字カーソル移動ボタン ⑧ でカーソルの位置

を移動できます。

③ 文字ボタン 十字ボタン(▲▼◆▶)でボタンカーソル ④ を移 動させ、入力する文字を選択します。

- ③ ボタンカーソル 選択されている文字・項目です。十字ボタン (▲▼◀►)で移動します。
- 5動作決定ボタン
 - ● [決定]/[保存]を選択しセットボタン(●)を 押すとタイトルが決定されます。
 - [キャンセル]を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン(●)を押すと文字入力が破棄され、前の画面に戻ります。
- ⑤ [空白]スペースボタン
 [空白]を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン(●)を押すと、文字カーソル ② にスペースが入力されます。
- ⑦ [消去]バックスペースボタン
 [消去]を選択し、本体側面操作パネルのセットボタン(●)を押すと、文字カーソル ② の左にある文字が削除されます。
- ③ 文字カーソル移動ボタン
 文字カーソル ② の位置を移動します。

メニュー画面の階層一覧



メモ : -

カメラの動作モードや動作の状態によって、設定できないメニューはグレー表示となり選択できません。
 シアウククロ・はエ担い芽校です

● 設定値の ● は工場出荷値です。

カメラ機能メニュー

カメラ撮影時の操作モードを設定するためのメ ニュー画面です。 カメラモード時以外、この項目は選択できません。

カラーバー

カラーバーを出力するかどうか設定します。 [設定値:入、● 切]

メモ:-

カラーバー出力と同時に、オーディオテスト信号(1 kHz)を出力することもできます。
 (☞ P103 [テストトーン])

手振れ補正

手ぶれ補正をするかどうか設定します。"入"にした 場合、レベルの設定を行ないます。 [設定値:入、●切]

└ レベル

手ぶれ補正のレベルを設定します。 [設定値:高感度、● 通常]

メモ : -

 "高感度"に設定した場合、大きな手ぶれを補正 すると画像の周辺が暗くなる場合があります。

フリッカー補正

蛍光灯下などで発生する、映像のちらつき(フリッカー)を補正するかどうかを設定します。 [設定値:入、●切]

フラッシュバンド補正

他者のスチルカメラのフラッシュなどで、部分的 に高輝度になってしまっている不自然な映像(フ ラッシュバンド現象)の状態を軽減するよう補正 します。

[設定値:入、●切]

ご注意 : ・

- 下記のいずれかに該当する場合は、フラッシュ バンド補正機能は選択できません。
 - [記録モード]項目が"バリアブルフレーム"の とき
 - ・ [フレーム数/画質]が"24p(HQ)"のとき
 - シャッタースピードの設定が手動シャッター モードでシャッター ON、または自動シャッ ターモードのとき

(☞ P48 [手動シャッターモード(手動シャッター 切り換え)])

- [フラッシュバンド補正]機能は、フラッシュ閃 光の有無に関わらず、画面の輝度変化の大きい 場合に動作します。なお、撮影条件によっては、 フラッシュ閃光が発生しても十分なフラッシュ バンド補正効果が得られない場合があります。
- フラッシュ閃光時に下記の現象が発生すること がありますが、フラッシュバンド補正によるも ので故障ではありません。
 - 動いている被写体が一瞬止まったように見 える。
 - ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
- カメラモードから他のモードへ切り換えたり、 [POWER ON/OFF(CHG)]スイッチを "OFF(CHG)"にすると、[フラッシュバンド補正] 機能は"切"になります。

シャッター

シャッターに関する設定を行います。 右側面部の十字ボタン(▲▼)で操作する場合、可変 する値を"ステップ"(固定値)か"バリアブル"に設 定します。

- バリアブル: バリアブルスキャンに設定します。パソコンモニターなどを撮影するときなどに設定します。
- ステップ: 固定値でシャッタースピードを切り換える、ス テップシャッターに設定します。
 [設定値:バリアブル、●ステップ]

AE レベル

AE (AUTO EXPOSURE)時の収束レベルを設定します。

右側面部の十字ボタン(◆)でも調節可能です。 [設定値:-6~+6(●0)]

AEスピード

AE(AUTO EXPOSURE)時の収束スピードを設定 します。

[設定値:●高速、中速、低速]

ALC 上限

明るさによって電気増感レベルを自動的に切り換 える"ALC"動作の最大ゲイン値を設定します。 「設定値:24dB、●18dB、12dB、6dB]

オートアイリス開放制限

オートアイリス動作時の OPEN 側の限界値を設 定します。 [設定値:F5.6、F4、F2.8、F2、●F1.6]

オートアイリス最小制限

オートアイリス動作時の CLOSE 側の限界値を設 定します。 [設定値:F11、●F8、F5.6]

EEI 動作制限

自動シャッターモード(EEI)時のシャッタースピー ド制御範囲を設定します。 [設定値:4F-stop、●3F-stop、2F-stop]

スムーストランス

[GAIN]選択スイッチや[WHT BAL]選択スイッチ の急激な変化をやめ徐々に変化させる、切り換え ショック軽減機能の設定を行います。 [設定値:高速、中速、低速、● 切]

メモ : ----

 ただし、[FULL AUTO]スイッチが"ON"のとき および"ALC"に設定した感度選択スイッチを切 り換えた場合、本機能は動作しません。

GAIN L/GAIN M/GAIN H

[GAIN]感度選択スイッチの各ポジションにゲインの値を設定します。

[FULL AUTO]スイッチが"ON"のときは"ALC"固定 となります。

[設定值:24dB、21dB、18dB、15dB、12dB、9dB、

6dB、3dB、0dB、-3dB、-6dB]

(初期値 GAIN L∶0dB、GAIN M∶6dB、GAIN H∶ 12dB)

メモ : -

 ・[撮影モード]項目が"標準"の場合、"-3dB"および"-6dB"は設定できません。
 (☞ P94「撮影モード])
 ・

AE LEVEL スイッチ

右側面部の十字ボタン(◆)の動作設定をします。

• AE LEVEL/VFR:

バリアブルフレームレック時、フレーム数設定 として、それ以外は AE レベル設定機能として 動作します。 (IST P75 [バリアブルフレームレック])

AE LEVEL:
 常に AE レベル設定ボタンとして動作します。
 #執:

ボタン操作を無効にします。
 「設定値:AE LEVEL/VFR、●AE LEVEL、無効〕

ハンドルズームスピード

[ZOOM FIX/VAR/OFF]切換スイッチを"FIX"にした場合に、ハンドルズームレバーのズームスピードを設定できます。 [設定値:1~8(●5)]

AFスピード

AF の動作スピードを設定します。 [設定値:高速、● 中速、低速]

AF アシスト

AF 時に、フォーカスリングをまわしてオート フォーカスポイントを移動させるかどうかを設定 できます。

エリア:
 AF時にフォーカスリングをまわすと、オートフォーカスポイントを左側、中央、右側に移動させることができます。
 選択すると、エリアに「□」アイコンが表示されます。

遠近:

AF時にフォーカスリングをまわすと、オート フォーカスポイントを遠近方向に移動させるこ とができます。

[設定値:エリア、遠近、●切] (☞ P42 [AF アシスト機能])

メモ:-

- [FOCUS]スイッチが"AUTO"に設定されている ときのみ有効です。
- AF時にフォーカスリングを回すと一時的にマニュアルフォーカス状態になりますが、リング操作が一定時間されない場合、AF状態に戻ります。

ユーザーボタン機能設定...

ユーザーボタンに関する設定を行います。 (☞ P90 [ユーザーボタン機能設定項目])

ユーザーボタン機能設定項目

USER1~USER7、LCD ≠-▲/LCD ≠-►/LCD ≠-▼/LCD ≠-◀

[FOCUS ASSIST/1]、[OIS/2]、[LOLUX/3]、[AE LOCK/4]、[ZEBRA/5]、[MARKER/6]、

[C.REVIEW/7]ボタンおよび、LCD モニター部の 十字ボタンに下記メニューの機能を1つ割り付け ることで、設定した機能の操作(オン/オフ、起動、 切り換え)が可能となります。

撮影条件に合わせて設定してください。カメラモー ド時のみ使用できます。

[設定値:なし、ゼブラ、マーカー、カラーバー、 フォーカスアシスト、手振れ補正、フラッシュバンド補正、LCDバックライト、Lolux、AEロック、スポットメーター、顔検出、OKマーク、クリップカッタートリガー、バックアップトリガー、クリップレビュー、ピクチャーファイル読み込み、ホワイトバランス、プリセットズーム1、プリセットズーム2、プリセットズーム3、ワンプッシュフォーカス、ワンプッシュアイリス、拡大フォーカス1

Front REC

本機正面のレンズ下方にある[REC]ボタンの機能 を設定します。

- REC: 記録をスタート/ストップする記録ボタンとし て機能します。
- AWB:

手動ホワイトバランスモード時、[WHT BAL B/ A/PRESET]選択スイッチが"A"または"B"のとき AWB 起動ボタンとして機能します。また[WHT BALB/A/PRESET]選択スイッチが"PRESET"の 場合、2 種類の色温度の切り換えボタンとして 機能します。 (w P51 [手動ホワイトバランスモード(手動切 り換え)])

- なし:
- 動作しません。

[設定値:●REC、AWB、なし]

Lolux

薄暗い場所で感度を上げる、Lolux モードの値を設 定します。 [設定値:36dB、●30dB]

クリップレビュー

[USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー ▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のいずれか を"クリップレビュー"に設定した場合の動作設定 を行います。

- 最後5秒:
 クリップの最後の約5秒間を見ます。
- 先頭5秒:
 クリップの先頭から約5秒間を見ます。
 クリップ:
- ・クリップ・
 クリップ全体を見ます。
 「設定値:●最後5秒、先頭5秒、クリップ]

メモ:-

 [USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のい ずれかが"クリップレビュー"に設定されている 場合に選択可能です。

スポットメーター

[USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー ▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のいずれか を"スポットメーター"に設定した場合の動作設定 を行います。

(INP P64 [スポットメーターを設定する])

- 最大と最小: 画像の最も明るいところと暗いところのエリア を表示します。
- ●最大: 画像の最も明るいところのエリアを表示します。
- 最小:
- 画像の最も暗いところのエリアを表示します。

 マニュアル:

任意の場所の画像の明るさを表示します。 [設定値:● 最大と最小、最大、最小、マニュアル]

顏検出

[USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー ▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のいずれか を"顔検出"に設定した場合の動作設定を行います。 顔検出結果に追従する制御を選択します。

• AF&AE:

追尾中の顔に対し、オートフォーカスと露光制 御を行います。

• AF :

追尾中の顔に対し、オートフォーカスを行います。

[設定值:●AF&AE、AF]

(Imp P44 [顔を検出してフォーカスをあわせる(顔 検出)])

メモ:-

 "AF"に設定した場合、[FOCUS]切換スイッチが "Auto"のときのみ動作します。

"AF&AE"に設定した場合[FOCUS]切換スイッチが"Auto"でかつ、アイリス、シャッター、ゲインのいずれか1つ以上がオートモードのときのみ動作します。

└→ 感度

顔の検出しやすさを設定します。 [設定値:低、中、● 高]

→ 追従速度

追尾中の顔が消失した場合に、状態を維持する余裕を設定します。

"高速"に設定した場合、画面上に顔が無くなると、 すぐに別の被写体を選択します。

"低速"に設定した場合、画面上に顔が無くなって も、一定時間同じ位置で動作します。

[設定値:高速、● 中速、低速]

AEロック

[USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー ▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のいずれか を"AE ロック"に設定した場合の動作設定を行いま す。

• AE:

アイリス、シャッター、ゲインで、オートに設定 されている機能を、"AE ロック"を割り付けた ユーザーボタンを押した時点の値に固定しま す。

• AE/WB:

アイリス、シャッター、ゲインで、オートに設定 されている機能およびホワイトバランスを、"AE ロック"を割り付けたユーザーボタンを押した 時点の値に固定します。

[設定値:●AE、AE/WB]

メモ:-

- アイリス、シャッター、ゲインのいずれかがオートモードの場合のみ動作します。
- "AE ロック"を割り付けたボタンを押すか、マニュアル/オートモードに関わらず、ロック可能な機能を1つでも操作すると"AE ロック"は解除されます。

拡大フォーカス

[USER1]~[USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー ▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー◀]項目のいずれか を"拡大フォーカス"に設定した場合の動作設定を 行います。

切り替え: "拡大フォーカス"を割り付けたボタンを押すたびに"拡大フォーカス"機能のオン/オフを切り換えます。

- 一時的:
 "拡大フォーカス"を割り付けたボタンを押しているあいだ、"拡大フォーカス"機能がオンになります。
- 一定時間:
- タイマー動作します。 オートフォーカス時、[拡大フォーカス]機能オンから約3秒後に、[拡大フォーカス]機能をオフにします。 マニュアルフォーカス時、フォーカスリングの 操作をやめてから約3秒後に[拡大フォーカス] 機能をオフにします。

[設定値:●切り替え、一時的、一定時間]

プリセットズームスピード

ユーザーボタンに割り付けた、プリセットズーム ポジションへの移動速度を設定します。 [設定値:1~127(●64)]

カメラ設定メニュー

カメラ映像の画質調整に関するメニュー画面です。

メディアモード時、この項目は選択できません。

ディテール

輪郭(ディテール)強調レベルの調整を行います。 数字が大きくなるにつれて、輪郭がシャープにな ります。

[設定値:-10~+10、切(●0)]

└→ 調整...

輪郭(ディテール)の詳細設定を行います。 (☞ P94 [ディテール/調整項目])

メモ:-

● [ディテール]項目を"切"に設定時は選択できま せん。

マスターブラック

黒の基準となるペデスタルレベル(マスターブラック)の調整を行います。 数字が大きくなるにつれて、ペデスタルが上がります。

[設定値:-50~+50(●0)]

暗部調整

映像の暗い部分と明るい部分のバランスに応じて 暗部の処理を変え、全体的なコントラストのバラ ンスを調整します。

暗部のゲインを変えます。撮影されたビデオ信号の状況によって調整します。

 ストレッチ:
 映像の暗い部分のゲインを上げて、暗い部分の み信号をストレッチすることにより、暗い部分 と明るい部分とのコントラストをより見やすく します。

[ストレッチレベル]でストレッチ量を設定しま す。

- ノーマル: 通常の状態です。
- コンプレス:
 映像が全体に明るく、コントラストが不足した場合は、暗い部分のゲインを圧縮して、コントラストを強くします。[コンプレスレベル]で圧縮量を設定します。

[設定値:ストレッチ、● ノーマル、コンプレス]

- メモ:-
- [WDR]項目が"切"以外に設定されている場合、
 "---"と表示され選択できません。

└ ストレッチレベル

ストレッチ量は、数字が大きくなるに従って増加 します。

[設定値:1~5(●3)]

メモ:-

 [暗部調整]項目を"ストレッチ"に設定した場合にのみ表示されます。それ以外に設定した場合 "---"と表示され、選択できません。

└ コンプレスレベル

コンプレス量は、数字が大きくなるに従って増加します。

[設定値:1~5(●3)]

メモ:-

 [暗部調整]項目を"コンプレス"に設定した場合 にのみ表示されます。それ以外に設定した場合 "---"と表示され、選択できません。

=-

ハイライト部分の階調を表現するために映像信号 のあるレベル以上を圧縮する"ニー"動作の設定を します。明るい部分を確認したいときは"マニュア ル"に設定し、ニーポイント(ニー動作開始点)を手 動で調整してください。

- マニュアル:
 ニーポイントを[レベル]項目で変更できます。
- オート: 輝度レベルに応じ自動でニーポイントを調整します。

[設定値:マニュアル、●オート]

- メモ:-
- [WDR]項目が"切"以外に設定されている場合、
 "---"と表示され選択できません。

└ レベル

[ニー]項目を"マニュアル"に設定した場合のニーの圧縮を始める点(ニーポイント)を設定します。 [設定値:●100.0%、97.5%、95.0%、92.5%、 90.0%、87.5%、85.0%]

メモ:---

 [二一]項目が"オート"、または[WDR]項目が"切" 以外に設定に設定されている場合、"---"と表示 され選択できません。

→ 感度

[ニー]項目を"オート"に設定した場合の"ニー"動 作の応答スピードを設定します。

光量が、はげしく変わる被写体を撮影する場合は、 "低速"に設定します。

[設定値:●高速、中速、低速]

メモ:-

[二一]項目が"マニュアル"に設定、または
 [WDR]項目が"切"以外に設定されている場合、
 "---"と表示され選択できません。

ホワイトクリップ

輝度レベルの大きい入力映像信号に対して、ホワ イトクリップさせるポイントを設定します。

- 108%: 輝度レベルが 108 %のポイントでホワイトク リップさせます。
- 103%: 輝度レベルが 103 %のポイントでホワイトク リップさせます。
- 100%: 輝度レベルが 100%のポイントでホワイトク リップさせます。出力 Y 信号を 100%以内で管 理するシステムで運用する場合に設定します。

[設定値:●108%、103%、100%]

メモ:-

[WDR]項目が"切"以外に設定されている場合、
 "108%"と表示され選択できません。

ガンマ

階調表現を決定するガンマカーブの補正をしま す。

- シネマ:
 映画の画面特性に近い階調のガンマカーブになります。
- スタンダード: 標準のガンマカーブにします。
 [設定値:シネマ、●スタンダード]
- メモ:-
- [WDR]項目が"切"以外に設定されている場合、
 "---"と表示され選択できません。

└ レベル

[ガンマ]項目を"スタンダード"または"シネマ"に 設定したとき、それぞれに設定できます。

- 数字を大きく:
 黒の階調をよくします。ただし、明るい部分の階 調は悪くなります。
- 数字を小さく:
 明るい部分の階調をよくします。ただし、黒の階 調は悪くなります。

[設定値:-5~+5(●0)]

WDR

WDR(Wide Dynamic Range)機能の設定を行います。

逆光の状況などでダイナミックレンジが広い被写 体を撮影する場合、入力映像信号に応じた階調補 正処理を加えることで映像のコントラスト感を保 持しながらダイナミックレンジを圧縮する機能で す。

- 強: 屋外や逆光が強い状況などのよりダイナミック レンジの広い被写体用に、階調補正効果を強め た設定です。
- ナチュラル: ワイドダイナミックレンジの標準設定です。
 弱:

標準設定より、階調補正効果を弱めた設定です ● 切:

ワイドダイナミックレンジ機能を"切"にします。

[設定値:強、ナチュラル、弱、●切]

メモ:-

 [WDR]が"切"以外に設定されている場合、[暗部 調整]、[ニー]、[ガンマ]、[ホワイトクリップ]は 選択できません。

ホワイトバランス...

- ホワイトバランスに関するメニューです。 (Ima P95 [ホワイトバランス項目])
- ※詳細につきましては、「[ホワイトバランスを調 整する] P 51」をご覧ください。

カラーマトリクス

カラーマトリクス設定をします。

- シネマ(和らか):
 映画の画面特性に近く、落ち着いた色合いのカ ラーマトリクスになります。
- シネマ(鮮やか):
 映画の画面特性に近く、あざやかな色合いのカ ラーマトリクスになります。
- スタンダード: 標準のカラーマトリクスにします。
 切:

カラーマトリクス機能を Off にします。 [設定値:シネマ(和らか)、シネマ(鮮やか)、● スタ ンダード、切]

└→ 調整

[カラーマトリクス]を好みの色に調整します。

- [カラーマトリクス]を好みの色に調整します。
 原色と補色の計6色それぞれの彩度、色相、明る
- [カラーマトリクス]項目の "スタンダード"、"シ
- [ハノーマトリジス]項目の スタンタート、ジネマ(鮮やか)"、"シネマ(和らか)"それぞれに調整 値を保持することができます。

(☞ P122 [カラーマトリクスの調整をする])

[明度/彩度 設定範囲:-10~+10]

(±10% めやす)

[色相 設定範囲:-5~+5](±5°めやす)

XE:-

• [カラーマトリクス]項目を"切"に設定時は選択 できません。

カラーゲイン

映像信号の色レベルを調整します。数字が大きく なるにつれて、色が濃くなります。 [設定値:-50~+15、切(●0)]

メモ:-

• "切"に設定されている場合、白黒映像となります。

リバースピクチャー

レンズ像の上下左右が反転している場合、"反転"に 設定すると正しく記録することができます。

- 反転:
 記録を上下左右に反転する。
- 切: 記録を上下左右に反転しない。
 [設定値:反転、●切]

撮影モード

カメラの画作りの設定を切り換えます。

• 標準:

通常撮影モードです。 ノイズ感を抑えた画質優先の画作りに適した設 定です。 ライティングのしっかりした場所で使用してく ださい。

拡張:
 感度を向上させた撮影モードです。
 幅広い明るさでの撮影が可能な設定です。
 ライティングの管理が難しく、明るさの足りない場合に使用してください。

[設定値:●標準、拡張]

カメラ設定リセット

[カメラ設定]メニューの全項目を初期値に戻しま す。

ディテール/調整項目

V/H バランス

輪郭(ディテール)の強調を水平方向(H)と垂直方向(V)どちら側により強くかけるか、H/V のバランスを設定します。

- H+1~H+4:
 数字が大きくなるほど水平方向に強くかけます。
- V+1~V+4:
 数字が大きくなるほど垂直方向に強くかけま

[設定値:H+1~H+4、● ノーマル、V+1~V+4]

- メモ:-
- [記録フォーマット]の[システム]項目を"SD"に 設定している場合、本項目は"ノーマル"に固定 されます。

水平周波数

輪郭(ディテール)の水平輪郭補正周波数を変えます。被写体によって設定してください。

- 高: 高い周波数帯域を強調します。細かな模様の被 写体を撮影するときに使用します。
- 中:
 中間周波数帯域を強調します。
- 低: 低い周波数帯域を強調します。大がらな模様の 被写体を撮影するときに使用します。

[設定値:高、●中、低]

メモ:---

• [記録フォーマット]の[システム]項目を"SD"に設定している場合、本項目は"低"に固定されます。

垂直周波数

輪郭(ディテール)の垂直輪郭補正周波数を変えま す。被写体によって設定してください。

- 低:
 - 低い周波数帯域を強調します。
- 中:
 中間周波数帯域を強調します。
- 高:
 高い周波数帯域を強調します。
 [設定値:低、●中、高]

メモ:-----

- 「記録フォーマット]の[システム]項目を"SD"に設定している場合、本項目は"低"に固定されます。
 (Image P106 [記録フォーマット])
- 以下の設定の場合、"高"は選択できません。
 - 「解像度]項目が"1920x1080"で、「フレーム 数/画質]項目が"60i(HQ)"または"50i(HQ)"の 場合。
 - 「解像度]項目が"1440x1080"で、「フレーム 数/画質]項目が"60i(HQ)"、"50i(HQ)"、 "60i(SP)"、"50i(SP)"の場合。

スキンディテール

取り込んだ色の輪郭補正を抑えるスキンディテー ル機能のオン・オフを設定します。 "入"に設定した場合、肌色検出部のディテールをソ フトにします。 [設定値:入、●切]

└ レベル

スキンディテール機能の輪郭補正レベル(ソフト にする度合い)を設定します。 数字が小さいほど、輪郭補正レベル(ソフトにする 度合い)は大きくなります。 [設定値:-1、●-2、-3]

└→ 色域

スキンディテールが機能する肌色の範囲を調整します。 数字が大きくなるにつれて、範囲が広くなります。 [設定値:-5~+5(●0)]

ホワイトバランス項目

PRESET 色温度 1

[WHT BAL]スイッチを"PRESET"に設定した場合 の色温度を設定します。 詳細につきましては、「[ホワイトバランスを調整 する] P 51]をご覧ください。

PRESET 色温度 2

プリセットモードの切り換え色温度を設定しま す。

[WHT BAL]スイッチを"PRESET"に設定した場合、[●]ボタンを押すたびにプリセットモードの 色温度が切り換わります。([PRESET 色温度 1]↔ [PRESET 色温度 2])

詳細につきましては、「[ホワイトバランスを調整する] P51」をご覧ください。

AWBペイント

AWB(オートホワイトバランス)時の R(赤)/B(青) の成分を調整します。 詳細につきましては、「[ホワイトバランスを調整

- する] P 51」をご覧ください。
- 数字を大きく:
 赤味/青味を強くします。
 数字を小さく:

赤味/青味を弱くします。 [設定値:-32~+32(●0)]

メモ:-

- 本機右側面部の[WHT BAL]スイッチを"A"または"B"に設定したときに選択できます。
 "PRESET"に設定時は、"---"と表示され選択できません。
- 設定は、"A"、"B"それぞれにできます。
- [AWB 後ペイント解除]項目が"入"のとき、[・]
 (オートホワイトバランス)ボタンを押してホワイトバランスを合わせなおすと、R 値および B 値は"0"になります。

AWB 後ペイント解除

AWB(オートホワイトバランス)実行後、[AWB ペイント](R値とB値)の設定をクリアするかどうかの設定をします。

•入:

メニュー表示と詳細設定

AWB(オートホワイトバランス)実行したあと、 [AWBペイント](R値とB値)の設定を"0"にし ます。

•切:

AWB(オートホワイトバランス)実行しても、 [AWBペイント](R値とB値)の設定を変更し ません。 [設定値:●入、切]

FAW ペイント

FAW(フルタイムオートホワイトバランスモード) 時の R(赤)/B(青)の成分を調整します。

- 数字を大きく:
 赤味/青味を強くします。
- 数字を小さく:
 赤味/青味を弱くします。
 「設定値:-32~+32(●0)〕

TC/UB 設定メニュー

タイムコード、ユーザーズビットを設定するためのメニュー画面です。 メディアモード時や記録動作中、この項目は選択できません。

TC ジェネレーター

タイムコードの動作を設定します。

- Free Run(Ext): 外部タイムコード入力がある場合はこれに同期 してタイムコードが記録されます。
- Free Run:
 記録状態に関係なく、常に歩進します。本機の電源を切っても歩進を続けます。
- Rec Run:

タイムコードは記録時に歩進します。SD カードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続します。SD カードを取り出して別のカードで記録を行うと、前のカードで記録したタイムコードの続きから記録します。

• Regen:

タイムコードは記録時に歩進します。SD カー ドを入れ換えた場合、そのカードに記録されて いる最後のタイムコードを読み出して、タイム コードが連続するようにタイムコードを設定し て記録します。

[設定値∶Free Run(Ext)、Free Run、●Rec Run、 Regen]

TC プリセット

タイムコード(時、分、秒、フレーム)を設定します。 表示 : ドロップ設定時 02:02:25.20 : ノンドロップ設定時 02:02:25:20

UBモード

ユーザーズビットの記録モードを設定します。

- 日付:
 日付を記録します。
- 時刻: 時刻を記録します。
- プリセット:
 プリセット項目の設定に従って記録します。
 (@ P61 [ユーザーズビットを設定する])

[設定値:日付、時刻、●プリセット]

- メモ : ー
- UB モード項目を"時刻"に設定した場合、LCD の 表示が 12 時間になっていてもユーザーズビッ トは 24 時間モードで動作します。

└→ プリセット

ユーザーズビットを設定します。(一桁ずつ設定) 表示: AB CD EF 01

(☞ P61 [ユーザーズビットのプリセット])

メモ:-

[UB モード]項目で"日付"または"時刻"を設定した場合、"---"と表示されプリセットできません。

ドロップフレーム

タイムコードジェネレーターのフレーミングモー ドを設定します。

- ノンドロップ: 内部タイムコードジェネレーターがノンドロッ プフレームモードで歩進します。フレーム数を 重視するとき、この設定にします。
- ドロップ: 内部タイムコードジェネレーターがドロップフレームモードで歩進します。記録した時間を重 視するとき、この設定にします。

[設定値:ノンドロップ、● ドロップ]

メモ:--

 [メインメニュー]→[システム]→[記録設定]→
 [記録フォーマット]→[フレーム数/画質]項目 が"60p"、"30p"、"60i"の場合にのみ設定できま す。フレームレートが"24p"の場合は、"ノンド ロップ"に固定となり選択できません。フレーム レートが"50p"、"25p"、"50i"の場合は、"---"と表 示され選択できません。
 (☞ P106 [フレーム数/画質])

LCD/VF設定メニュー

LCD モニターやビューファインダー画面に関する 設定を行います。 フォーカスアシストモード、ゼブラ設定画像表示、 画面サイズ、マーカー、セーフティーゾーンの設 定、LCD モニターやビューファインダー画面への キャラクター表示の選択や LCD モニターの画質 調整に関するメニュー画面です。

撮影補助...

撮影補助機能に関するメニューです。 (☞ P98 [撮影補助項目])

マーカー設定…

セーフティーゾーンや、センターマークなどの設 定を行います。 (127 P99 [マーカー設定項目])

表示設定...

LCD+VF

LCD モニターとビューファインダー画面の表示の 切換方法を選択します。

(☞ P28 [LCD モニターとビューファインダー の調整])

- 入: ビューファインダーには、常に映像を表示します。
- •切:

LCD モニターをひらいたとき、ビューファイン ダー画面の表示を消します。

[設定値:入、●切]

VF カラー

ビューファインダー画面に表示する画像をカラー にするか白黒にするかを選択します。 "入"でカラー、"切"で白黒になります。 [設定値:●入、切]

メモ:-

- •本項目はカメラモード時のみ有効な設定です。
- "切"に設定した場合、撮影画像のみ白黒表示となります。ディスプレイ画面、メニュー画面などはカラーで表示されます。

ディスプレイ表示に関する設定を行います。 (187 P100 [表示設定項目])

VF 明るさ

ビューファインダー画面の明るさを設定します。 数字が大きいほど、明るくなります。 「設定値:-10~+10(●0)]

VF コントラスト

ビューファインダー画面の最も暗い部分と、最も 明るい部分の輝度の差を設定します。 数字が大きいほど、明暗の差が大きくなります。 [設定値:-10~+10(●0)]

LCD コントラスト

LCD モニターの最も暗い部分と、最も明るい部分の輝度の差を設定します。 数字が大きいほど、明暗の差が大きくなります。 [設定値:-10~+10(●0)]

LCD バックライト

LCD モニターのバックライトの明るさを設定します。

[設定値:明るい、● 通常]

LCD ミラー表示

LCD モニターを対面表示にしたときの画像表示方法を設定します。

"ミラー"に設定すると左右反転して表示します。(鏡 面表示)

(INS P28 [LCD モニターとビューファインダー の調整])

[設定値:ミラー、● 通常]

メモ:-

- •本項目はカメラモード時のみ有効な設定です。
- カラーバー表示中、メニュー画面表示中、および ステータス画面表示中は、"ミラー"設定が無効 となります。
 (い P121 「カラーバーを出力する」)

PEAKING (再生)

LCD モニターおよびビューファインダーに表示される再生画の輪郭調整レベルを設定します。 "入"に設定すると、[PEAKING +/-]ボタンで調整できます。 [設定値:入、●切]

撮影補助項目

フォーカスアシスト

モノクロ画像にして、フォーカスの合っている部 分の輪郭線に色を付けるかどうかを設定します。 [設定値:入、●切]

└ タイプ

[FOCUS ASSIST/1]ボタンを押したときの動作を 設定します。

(INP P43 [フォーカスアシスト機能])

- ACCU-Focus: フォーカスアシスト機能とACCU-Focus(強制 フォーカス)機能が動作します。被写界深度が浅 くなり、フォーカスがより合わせやすくなりま す。ACCU-Focusは約10秒で自動的に"切"にな ります。
- 通常: フォーカスアシスト機能のみ動作します。合焦 部分がカラーで表示され、フォーカスが合わせ やすくなります。表示色は[カラー]項目で設定 します。

[設定值:ACCU-Focus、● 通常]

└→ カラー

フォーカスアシスト動作時の合焦部分の表示色を 設定します。 [設定値:●青、緑、赤]

ゼブラ

被写体の明るい部分に表示される、ゼブラパター ンを表示するかどうかを選択します。 "入"でゼブラパターン表示、"切"で非表示になりま す。 [設定値:入、●切]

└→ 上限

ゼブラパターンを表示する輝度レベルの上限を設 定します。

[設定値:Over、100%~5%(5%刻み)](●80%)

→ 下限

ゼブラパターンを表示する輝度レベルの下限を設 定します。

[設定値:100%~0%(5%刻み)](●70%)

メモ:-

 上限と下限の関係は必ず上限>下限であり、上限 設定中はこの関係を保つように下限設定値は自 動的に補正されます。

マーカー設定項目

撮影の目的に応じて映像の画角を決めるときに便 利な、マーカーやセーフティーゾーンの設定をし ます。

- (INF P121 [マーカー表示およびセーフティー ゾーン表示(カメラモード時のみ)])
- メモ:----
- クリップレビュー中、およびメディアモード時は、設定に関係なくマーカーは表示されません。

マーカー設定

マーカー、セーフティーゾーン、センターマークを 画面上に表示するかどうかを設定します。 [設定値:入、●切]

└ グリッドマーカー

画面を 3×3 に分割するグリッドを画面上に表示させるかどうかを設定します。 「設定値:入、●切」

メモ:-----

 「グリッドマーカー]項目を"入"に設定している 場合、「アスペクト比」、「アスペクトマーカー」、
 [セーフティーゾーン]項目は機能しません。

└ アスペクト比

全体画角のうち、最終的に使用する画像のアスペ クト比を選択します。

- [設定値:16:9(+4:3)、2.35:1、1.85:1、●16:9、 1.75:1、1.66:1、14:9、13:9、4:3、2.35:1(中央)、
- 2.35:1(上部)、1.85:1(中央)、1.85:1(上部)]

メモ:---

[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [SD アスペクト]項目を"4:3"に設定している場合、"4:3"に固定され選択できません。
 (☞ P106 [SD アスペクト])

└→ アスペクトマーカー

[アスペクト比]項目で選択したアスペクト範囲外の画像部分について、範囲外を示す境界マーカーをどのように表示するかを設定します。

- ライン+ハーフトーン:
 境界を線で表示し、境界外をハーフトーンで表示します。
- ハーフトーン: 境界外をハーフトーンで表示します。
- ライン: 境界を線で表示します。
- •切: [·] 切:

境界を表示しません。 [設定値: ライン+ハーフトーン、ハーフトーン、ラ イン、● 切]

メモ:---

[アスペクト比]項目が"16:9"または"16:9(+4:3)"
 に設定されている場合、"切"に固定され選択できません。

└→ セーフティーゾーン

[アスペクト比]項目で選択したアスペクト範囲内 で有効としたいエリア(セーフティーゾーン)を内 側何%にするかを設定します。 [設定値:95%、93%、90%、88%、80%、●切]

→ センターマーカー

[アスペクト比]項目で選択したアスペクト比内の 画面中央を示すマークを表示するかどうかを設定 します。 [設定値:入、● 切]

99

表示設定項目

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示に関する設定を行います。

ズーム

- ズーム位置の表示方法を設定します。
- 数値: ズーム位置を数値(0~99)で表示します。
 バー:
- ズーム位置をバーで表示します。 ● 切:

ズーム位置を表示しません。 [設定値:数値、●バー、切]

フォーカス

マニュアルフォーカス時の焦点距離の表示方法を 設定します。

- フィート: フォーカスをフィートで表示します。
- メートル: フォーカスをメートルで表示します。
 切:

フォーカス時の焦点距離を表示しません。 [設定値:フィート、●メートル、切]

ND フィルター

フィルターポジションの表示をするかを設定します。

- 入+アシスト:
 現在のフィルターポジションを表示します。
 また、ND フィルターの設定が適切でない場合、
 適切な ND フィルターを点滅表示します。
- 入: 現在のフィルターポジションを表示します。
 切:

フィルターポジションを表示しません。 「設定値:入+アシスト、●入、切]

記録フォーマット

記録・再生時の映像フォーマットの表示をするか を設定します。 [設定値:● 入、切]

メディア残量

記録 SD カード残量の表示をするかを設定します。

[設定値:●入、切]

メモ:-

- "切"に設定した場合も、残量警告時は設定に関係なく残量が表示されます。
- 表示される時間はめやすです。

TC/UB

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示にタイムコード(TC)または、ユーザー ズビット(UB)の表示をするかを設定します。 [設定値:UB、●TC、切]

音声レベルメーター

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示にオーディオレベルメーターを表示す るかどうか設定します。 [設定値:●入、切]

バッテリー

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示のバッテリー残量について設定しま す。 カメラモードではディスプレイ1画面のときのみ 表示されます。 (ISP 113 「ディスプレイ1画面])

- 時間: バッテリー残量を分単位で表示します。(min)
- 容量%: バッテリー残量をパーセントで表示します。(%)
 電圧:
- [切]: バッテリー残量を表示しません。
 [設定値:●時間、容量%、電圧、切]

メモ:-

- "時間"、"容量%"または"電圧"の数値の前に表示 される電池マークは、残容量によって変化しま す。
 - □: 10%以下
 - I : 30%∼11%
 - **1** : 70%~31%
 - **IIII** : 100%~71%
- バッテリー残量が少なくなると、数値表示のかわりに"RES"と表示されます。
 なるべく早くバッテリーを交換してください。
- バッテリー残容量、残時間は撮影時間のめやす として使用してください。

日付/時間

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示に日時を表示するか設定します。 [設定値:●入、切]

日付書式

LCD モニターやビューファインダーのディスプレ イ表示の日付け表示順、およびタイムスタンプ記 録の日付け表示順を設定します。 各設定値の表示例は下記になります。

- 日月年 2:30 Jun 2012
- 日月年 1:30-06-2012
- •月日年 2: Jun 30, 2012
- •月日年1:06-30-2012
- •年月日:2012-06-30

[設定値:日月年 2、日月年 1、月日年 2、月日年 1、● 年月日]

時間表示

LCD モニターやビューファインダー画面のディス プレイ表示、タイムスタンプ記録の時間表示につ いて設定します。 [設定値:●24 時間表示、12 時間表示]

シャッター

LCD モニターやビューファインダー画面に表示す るシャッター表示タイプを設定します。

● 度:

シャッターをフィルムカメラにみたてた角度表示にします。

• 秒:

シャッターを秒で表示します。 [設定値:度、● 秒]

メモ:-

"度"表示は、[フレーム数/画質]項目の設定が
 "24p(HQ)"、"25p(HQ)"の場合にのみ有効です。
 [フレーム数/画質]項目の設定が、これ以外のときは、"秒"固定となり選択できません。
 (☞ P106 [フレーム数/画質])

映像/音声設定メニュー

映像出力や音声に関するメニュー画面です。

映像設定...

音声設定...

音声に関する設定を行ないます。 (☞ P102 [音声設定項目])

映像設定項目

外部モニター情報表示

外部モニターにディスプレイ表示とメニューの文 字を表示するかどうかを設定します。 [設定値:入、●切]

HDMI/SDI 出力

映像を出力する端子を設定します。 [設定値:HDMI+SDI、SDI、HDMI、●切]

→ 解像度

[HDMI]端子/[SDI]端子から出力される映像の解 像度を接続するモニターにあわせて設定します。 [設定値:576i、576p、480i、480p、720p、●1080i]

メモ:-

- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット] の[システム]/[解像度]/[フレーム数/画質]項目 の設定によって選択肢が変わります。
- クロスコンバート出力はできません。

└→ HDMI カラー

- HDMI 信号のカラー方式を設定します。
- [HDMI/SDI 出力]項目を"HDMI"または"HDMI +SDI"にした場合のみ設定できます。

[設定値:RGB、●オート]

└→ HDMI エンハンス

- HDMI 信号の色レンジを設定します。パソコン モニターに接続する場合、"入"に設定します。
- [HDMI/SDI 出力]項目を"HDMI"または"HDMI +SDI"にした場合のみ設定できます。

[設定値:入、●切]

映像出力に関する設定を行ないます。 (☞ P101 [映像設定項目])

└→ SDI 記録トリガー

[HD/SD SDI OUT]端子とカメラ本体の[REC]ボ タンに連動してトリガー信号を重畳するかどうか を設定します。 対応機器を接続すると[REC]ボタン操作に連動 し、録画/停止制御信号を出力します。 同時にREC/STBY と Display を表示します。 [設定値:入、●切]

SD アスペクト

ダウンコンバートした映像をアスペクト比4:3の 画面に表示するためのスタイルを設定します。

- サイドカット: ワイド映像の左右をカットして表示します。 ● レター:
- 上下方向を黒くしたワイド映像で表示します。 • スクイーズ:

左右方向を圧縮した映像を表示します。 [設定値:サイドカット、レター、●スクイーズ]

メモ:-

[記録フォーマット]→[システム]項目が"SD"かつ、[SD アスペクト]項目が"4:3"に設定されている場合、"---"と表示され選択できません。
 (☞ P106 [システム])

SD セットアップ

[AV]出力端子から出力される映像信号にセット アップ信号を付加するかを選択します。 "7.5%"に設定時、セットアップ信号が付加されま

7.5%に設定時、ビットアック信号が内加されます。

[設定値:7.5%、●0.0%]

メモ:-

 本機のメニュー設定や本機に接続されている ケーブルの状態によって、セットアップ信号が、
 "0.0%"に固定される場合があります。この場合 グレーで"0.0%"と表示されます。

音声設定項目

INPUT1 基準レベル

[INPUT1]選択スイッチの設定が"MIC"または"MIC +48V"の場合、入力レベルの基準を設定します。 [設定値:-62dB、-56dB、●-50dB、-44dB、-38dB]

INPUT2 基準レベル

[INPUT2]選択スイッチの設定が"MIC"または"MIC +48V"の場合、入力レベルの基準を設定します。 [設定値:-62dB、-56dB、●-50dB、-44dB、-38dB]

内蔵マイクゲイン

内蔵マイクの感度を設定します。 [設定値:+12dB、+6dB、●0dB]

AUX ゲイン

[AUX]端子入力の感度を設定します。 [設定値:+12dB、+6dB、●0dB]

基準レベル

SD カードへの録音基準レベルを設定します。 ([CH1/CH2]共通です。) [設定値:-12dB、-18dB、●-20dB]

リミッター

リミッター動作について設定します。

- 基準レベル:
 "基準レベル"の設定を最大録音レベルに設定します。
- -8dBFS、-5dBFS:
 "-8dBFS"または、"-5dBFS"を最大録音レベルに 設定します。
- 切: [CH1/CH2 AUTO/MANUAL]選択スイッチの設定によって下記のように動作が異なります。
 - "MANUAL"の場合、リミッターは働きません。
 "AUTO"の場合、-5dBFS でリミッターが働き
 - ます。

[設定値:基準レベル、-8dBFS、●-5dBFS、切]

AGC レスポンス

→ 立上がり時間

リミッターが動作するまでの時間を設定します。 [設定値:高速、● 中速、低速]

→ 減衰時間

リミッター動作を解除するまでの時間を設定します。

[設定値:高速、●中速、低速]

AGC モード

[CH1]と[CH2]のリミッター動作を連動させるか どうかを設定します。

連動させる場合は"連動"、連動させない場合は"独立"に設定します。

[設定値:連動、● 独立]

メモ:--

 [AUX]入力端子および[INPUT1/INPUT2]入力 端子が両方とも"LINE"または両方とも"MIC"で [CH1/CH2 AUTO/MANUAL]切換スイッチが CH1/CH2 とも"AUTO"に設定時に有効になりま す。

XLR マニュアルレベル

[INPUT1]端子と[INPUT2]端子のマニュアル音声 調整の動作を連動させるかどうかを設定します。 連動させる場合は"連動"、連動させない場合は"独 立"に設定します。

"連動"に設定した場合、録音レベルは[CH1]の録音 レベル調節つまみで調整します。

[設定値:連動、● 独立]

メモ : -

- [INPUT1/INPUT2]入力端子が両方とも"LINE" または両方とも"MIC"で、[CH1/CH2 AUTO/ MANUAL]切換スイッチが[CH1]/[CH2]とも "MANUAL"に設定時に有効になります。
- "連動"に設定した場合、[CH2]の録音レベル調 節つまみは無効です。

内蔵マイクステレオ強調

内蔵マイクのステレオ感の強調レベルを設定します。

- 1~4: ステレオ感強調の処理を行います。数値が大き いほどステレオ感が強くなります。
- しない: ステレオ強調の処理を行いません。
 モノラル:
- ・ モノ フル: 内蔵マイクをモノラルにします。
 [設定値:1~4、しない、モノラル(●2)]

メモ:-

- 1~4に設定した場合、ステレオ感強調の処理 によって音質がわずかに変化しますが異常では ありません。
- 本メニューは[CH1]/[CH2]選択スイッチが "INT"に設定時に有効になります。

テストトーン

カラーバー出力時、オーディオテスト信号(1 kHz) を出力するかどうかを設定します [設定値:入、● 切]

マイク風音低減

[INPUT1/INPUT2]スイッチの設定が"MIC"または "MIC+48V"の場合、オーディオ入力信号のロー(低 域部)カットをするかどうかを設定します。 マイクの風切り音を小さくしたい場合に設定しま す。

• INPUT1/2:

[INPUT1]/[INPUT2]両方の端子の音声をロー カットします。

- INPUT2:
 [INPUT2]端子の音声のみローカットします。
- INPUT1:
 [INPUT1]端子の音声のみローカットします。
- 切: ローカットしません。

[設定値:INPUT1/2、INPUT2、INPUT1、●切]

内蔵マイク風音低減

内蔵マイク入力のロー(低域部)カットをするかどうかを設定します。マイクの風切り音を小さくしたい場合、"入"に設定します。 [設定値:入、●切]

イコライザー

接続されるマイク特性の補正や音声の強調などを イコライザーで設定できます。

オーディオの周波数特性を5バンドのイコライ

ザーにより設定します。

 周波数: 100Hz、330Hz、1kHz、3.3kHz、10kHz
 可変レベル:

±6dB(1dB ステップ)

メモ:-

- イコライザーで設定された特性で録音されます。
- イコライザーをバイパスする場合、すべてのバンドを"0dB"に設定してください。
- イコライザーレベルを+側に設定した場合、音が 歪むことがあります。そのときはマニュアルモー ドで録音レベルをさげてください。
- 複数の周波数の数値を可変した場合、周波数間の干渉によって、設定したレベルと実際のレベルが異なる場合があります。
- [マイク風音低減]項目および[内蔵マイク風音 低減]項目がともに"切"の場合のみ設定が有効 になります。

音声モニター

LCD モニター部[MONITOR]選択スイッチを "BOTH"に設定時、[**介**] 端子の音声をステレオ音声 にするかミックス音声にするかを選択します。

- ミックス:
 ミックス音声(CH1 と CH2 のミックス音声)を
 L、Rに出力します。
- ステレオ: ステレオ音声(CH1の音声をL、CH2の音声を R)を出力します。

[設定値:● ミックス、ステレオ]

メモ:-

CH1、CH2ともに内蔵マイクの場合は、「音声モニター」項目の設定にかかわらず[①]端子からの出力はステレオになります。

警告音量

警告音の有無および警告音の音量を選択します。 警告音は、モニタースピーカーまたは[**○**]端子か ら出力します。 [設定値:● 高、中、低、切]

フルオート

[FULL AUTO]が"ON"の場合、オーディオもオート にするかどうかを設定します。

 スイッチに従う:
 音声記録モードは、[CH1/CH2 AUTO/ MANUAL]選択スイッチの設定に従います。

・強制オート:
 音声記録モードを強制オートにします。
 [設定値:スイッチに従う、●強制オート]

システムメニュー

システムに関する設定をするためのメニュー画面 です。

記録設定、SD カードのフォーマットや修復、タリー ランプの設定、日付・時刻、タイムゾーンなどを設 定します。

また、メニュー設定内容を初期設定値にリセット することもできます。

記録設定...

記録映像に関する設定をします。 (☞ P106 [記録設定項目])

メディア

▶ メディアフォーマット

SD カードをフォーマット(初期化)します。 スロットを選択し(スロットAまたはスロットB)、 [キャンセル]/[フォーマット]から[フォーマット] を選択し、セットボタン(●)を押してフォーマット (初期化)します。

(☞ P33 [SD カードをフォーマット(初期化)する])

└ メディア修復

SD カードを修復します。

スロットを選択し(スロット A またはスロット B)、 セットボタン(●)を押して SD カードの修復をし ます。_____

(☞ P34 [SD カードを修復する])

メモ:-

修復が必要な SD カードがある場合のみ表示されます。ただし、カメラモードで記録中、クリップレビュー中は選択できません。

セットアップファイル

メニュー設定とシャッター速度やAWBの実行結 果などを保存することができます。 撮影条件にあわせて、設定を保存しておくと便利 です。

└ ファイル読み込み...

設定を呼び出します。 (☞ P124 [セットアップファイルの呼び出し])

└ ファイル保存...

設定を保存します。 (☞ P123 [セットアップファイルの保存])

└ ファイル削除...

設定したファイルを削除します。 (☞ P125 [セットアップファイルの削除])

オートパワーオフ

バッテリー動作時、約5分以上操作、および動作しない場合、自動で電源を切るかどうかを設定します。バッテリー動作時のみ有効な機能です。 [設定値:入、●切]

メモ:--

 バッテリーと AC アダプター両方が接続されて いる場合は、AC アダプター接続が優先されま す。そのため、本機能は有効になりません。

タリーランプ

記録中や残量警告時にタリーを点灯、点滅するかどうかを設定します。

- •切: 古灯 -
 - 点灯、点滅しません。
- 入: 点灯、点滅します。
 「設定値:●入、切」

Language

メニュー画面の言語を切り換えます。 [設定値:English、●日本語]

すべてリセット

メニューの設定値をすべて初期化します。

- メモ:-
- [日時設定]、[タイムゾーン]項目の設定はリセットされません。
 (☞ P105 [日時設定])
 (☞ P105 [タイムゾーン])
- カメラモードで記録中、クリップレビュー中、メ ディアモード時は選択できません。

日時設定

年(Year)、月(Month)、日(Day)、時(Hour)、分 (Minute)を設定します。

メモ:-

 年月日の表示順序は、[表示設定] → [日付書式] 項目の設定に従います。ただし、時(Hour)は[時 間表示]項目の設定に関係なく24時間入力と なります。
 (☞ P101 [日付書式])

タイムゾーン

UTC からの時差を 30 分単位で設定します。 [設定値:UTC-00:30~UTC-12:00、UTC、UTC +14:00~UTC+00:30(30 分刻み)] (●UTC+09:00)

メモ:-

 [日時設定]項目を設定済みの状態で、[タイム ゾーン]項目を変更すると[日時設定]項目の値 も補正されます。

システム情報

└→ バージョン

ファームウェアのバージョン情報が表示されま す。

→ ファン動作時間

内部ファンの通電時間が表示されます。

メモ:-

本機を長時間使用することにより、一般環境下でも内部ファンに塵埃が付着していきます。特に屋外で使用する場合は、塵埃がカメラ内部に入り込むことがあります。これらの塵埃によって、良質な画質・音質を確保できなくなる可能性があります。9000時間をめやすに、ファンの点検、交換を行なってください。

記録設定項目

記録フォーマット

[記録フォーマット]メニューは、すべての項目の 設定を終了したあと、画面下方の[決定]を選択す ると、各項目の設定値が本機に反映され記録フォー マットが切り換わります。切り換え時、画面上に"お 待ちください…"と表示されます。

ᅛ システム

記録映像の解像度を選択します。

"HD"(High Definition)か"SD"(Standard Definition) で記録するかを選択します。 [設定値:●HD、SD]

ご注意:-

本項目の設定によって、「形式」、「解像度」、「フレーム数/画質」の各項目での設定値の選択肢が変わります。

→ 形式

[システム]項目を"HD"に設定している場合、SD カードに記録するファイル形式を選択します。 [設定値:●QuickTime(MPEG2)、MP4(MPEG2)、 AVCHD、QuickTime(H.264)]

メモ:-

 [システム]項目を"SD"に設定している場合、本 項目は"QuickTime(H.264)"に固定されます。

└→ 解像度

[システム]項目を"HD"に設定している場合、記録 画像のサイズを選択します。(水平×垂直) [形式]項目および[システム]項目の設定によっ て、選択肢が変わります。

- MP4(MPEG2)、QuickTime(MPEG2)に設定時:
 [設定値:●1920x1080、1440x1080、1280x720]
- AVCHD に設定時: [設定値:●1920x1080、1440x1080]
- QuickTime(H.264)に設定時: "1920x1080"固定

メモ:-

- [システム]項目を"SD"に設定している場合、本 項目は"720x480"に固定されます。
- 本項目の設定によって、[フレーム数/画質]項目の設定値の選択肢がかわります。

→ フレーム数/画質

[システム]項目を"HD"に設定している場合、フレー ムレートおよびエンコードのビットレートを選択 します。

[解像度]項目の設定によって、選択肢が変わります。

- "1920x1080"([形式]が"AVCHD")に設定時:
 [設定値:60p(HQ)、●60i(HQ)、50p(HQ)、 50i(HQ)、60i(SP)、50i(SP)]
- "1920x1080"([形式] が"QuickTime(H.264)")に 設定時:
 [設定値:60p(XHQ)、60i(XHQ)、50p(XHQ)、 50i(XHQ)、30p(XHQ)、25p(XHQ)、24p(XHQ)、
 ●60i(UHQ)、50i(UHQ)、30p(UHQ)、25p(UHQ)、
 24p(UHQ)]
- "1920x1080"([形式]が"AVCHD"、
 "QuickTime(H.264)"以外)に設定時:
 [設定値:●60i(HQ)、30p(HQ)、24p(HQ)、
 50i(HQ)、25p(HQ)]
- "1440x1080"に設定時:
 [設定値:●60i(HQ)、50i(HQ)、60i(SP)、50i(SP)]
- "1280x720"に設定時:
 [設定値:●60p(HQ)、30p(HQ)、24p(HQ)、 50p(HQ)、25p(HQ)、60p(SP)、50p(SP)]

メモ:-

 [システム]項目を"SD"に設定している場合、本 項目は "60i"に固定されます。

└→ SD アスペクト

[システム]項目を"SD"に設定している場合、記録 画像のアスペクト比を選択します。 [設定値:●16:9、4:3]

メモ:-

• [システム]項目を"HD"に設定している場合、本 項目は"16:9"に固定されます。

記録モード

- SD カードへの記録モードを選択します。
 (☞ P71 [特殊記録について])
- [記録フォーマット]メニューの設定によって、 選択肢が変わります。

| 形式 | フレーム数/画質 のフレーム数 | 設定値 |
|---|--------------------|---|
| MP4 (MPEG2) Quick Time (MPEG2) | 30p、25p、24p | ノーマル、プリ レック、クリッ プコンティニュ アス、インター バルレック、フ レームレック、 バリアブルフ レーム |
| | 60p、60i、50p、50i | ノーマル、プリ レック、クリッ プコンティニュ アス、インター バルレック、フ レームレック |
| AVCHD | 60p、60i、50p、50i | ノーマル、プリ レック、イン ターバルレッ ク、フレーム レック |
| Quick Time (H.264) | 60p、60i、50p、50i | ノーマル、プリ レック、クリッ プコンティニュ アス、インター バルレック、フ レームレック |
| | 30p、25p、24p | ノーマル、プリ レック、クリッ プコンティニュ アス、インター バルレック、フ レームレック、 バリアブルフ レーム |

メモ:・

- [スロットモード]項目を"バックアップ"に設定 している場合、"ノーマル"に固定されます。
- [バリアブルフレームレート]は、[解像度]項目 が"1920x1080"、"1280x720"、[フレーム数/画質] 項目が"30p(HQ)"、"24p(HQ)"、"25p(HQ)"の場 合、有効になります。

└ プリレック時間

[記録モード]項目を"プリレック"に設定した場合 のプリレック時間を設定します。 [設定値:●5 秒、10 秒、15 秒]

メモ:-

[メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [フレーム数/画質]項目のフレームレートの設定が"XHQ"に設定されている場合、"15 秒"には設定できません。

└ フレーム数

[記録モード]項目を"フレームレック"、"インター バルレック"に設定した場合の記録フレーム数を 設定します。

[設定値:●1 フレーム、3 フレーム、6 フレーム]

→ インターバル時間

[記録モード]項目を"インターバルレック"に設定 した場合の記録間隔の時間を設定します。 [設定値:●1 秒、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、2 分、 5 分、10 分、30 分、1 時間]

└→ バリアブルフレームレート

[記録モード]項目を"バリアブルフレーム"に設定 した場合の記録時のフレームレートを設定しま す。

[記録フォーマット] → [解像度]項目および[フ レーム数/画質]項目の設定によって、選択肢が変わ ります。

(☞ P75 [バリアブルフレームレック])

スロットモード

カードスロットの動作を設定します。

- シリーズ:
 2 つのスロットを連続して動作させるモードです。
 デュアル:
- ・テュアル. 2つのスロットを同時に動作させるモードです。 (☞ P67 [デュアルレックについて])

 ・ バックアップ: スロット B を、[REC]ボタンとは独立して記録 動作させるモードです。[記録モード]項目を
 * ノーマル"に設定した場合のみ設定可能です。
 [バックアップ記録]メニューまたは"バックアップトリガー"を割り付けた[USER1]~
 [USER7]、[LCD キー▲]、[LCD キー▶]、[LCD キー▼]、[LCD キー▲]ボタンで記録開始停止 を操作します。
 (☞ P69 [バックアップレックについて])

- メモ:-
- "シリーズ"に設定し、両スロットに記録可能な メディアが挿入されている場合、[REC]ボタン を押すと選択されているスロット(アクティブ スロット)のみに記録されます。
- "シリーズ"に設定し、「記録フォーマット」→「形式」項目を"AVCHD"に設定した場合、スロットをまたいで記録したクリップは、映像のみ途切れはなくシームレスに記録されます。
- "デュアル"に設定し、両スロットに記録可能な メディアが挿入されている場合、[REC]ボタン を押すと両方スロットのメディアに同時記録さ れます。

└→ バックアップ記録

[記録]/[スタンバイ]でバックアップ記録の開始、 停止を行います。

[スロットモード]項目を"バックアップ"に設定した場合にのみ設定可能です。

メモ:--

メディア残量0などで停止状態のときは"停止"
 固定で選択できません。

4GB ごとに分割(SDXC)

記録ファイルのサイズが 4GB を超える場合、ファ イルが分割されますが、"切"に設定すると、4GB 以 上のクリップを記録できます。(最大 64GB または 4 時間まで)

•入:

最大 4GB または、30 分まででファイルを分割 します。

•切:

最大 64GB または、4 時間まででファイルを分割します。

[設定値:●入、切]

- メモ:-
- 記録対象の SD カードが SDXC カードの場合 のみ有効です。
- デュアルレック、バックアップレックなどの同時記録の場合、両スロットの SD カードが SDXC カードの場合のみ有効です。
- [記録フォーマット] → [形式]が
 "QuickTime(MPEG2)"/"QuickTime(H.264)"に設 定されているの場合のみ有効です。
 (☞ P106 [形式])

DCIM フォルダーに記録

"入"に設定すると、MOV 記録時、SD カード内の DCIM フォルダーに記録されます。 [設定値:● 入、切]

×=:--

- "切"に設定した場合、MAC OS 環境では撮影したクリップフォルダーが確認できない場合があります。
- 弊社製ブルーレイディスク&HDD レコーダーに クリップを取り込む場合は、"切"に設定して記 録してください。

タイムスタンプ

記録映像に重ねて、撮影日時情報を記録するかどうかを設定します。 [設定値:入、●切]

メモ:-

 ●日付・時刻の表示スタイルは、[LCD/VF 設定] → [表示設定] → [日付書式]/[時間表示]項目で変 更できます。
 (us P101 [日付書式])

(☞ P101 [時間表示])

 メニュー画面やステータス画面などを表示して 日時表示が非表示になるとき、そのあいだは日 時が映像に記録されません。記録中にメニュー 画面やステータス画面を表示しようとすると確 認画面が表示されます。
└ クリップ名

SD カードへ記録するクリップのファイル名の前 4 文字を設定します。

英字アルファベット(大文字)、数字(0から9)、"_" (アンダースコア)、"-"(ハイフン)の38文字から、 ソフトウェアキーボードを使って入力します。

(INP P86 [ソフトウェアキーボードでの文字入力])

[設定値:xxxG](xxxの初期値はシリアル番号の下 3 桁。)

メモ:---

 [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [形式]項目が
 "AVCHD"の場合、本設定はクリップのファイル 名には反映されません。
 ただし、サムネイル表示されるクリップの表示

たたし、サムネイル表示されるクリックの表示 名として記録されます。

 DCIM フォルダーへのクリップ記録時のみ、[ク リップ名]に"-"(ハイフン)が設定されている場 合は"_"(アンダースコア)に置き換えられます。

▶ クリップ番号リセット

クリップ番号をふりなおしたいときに、クリップ 番号をリセット(0001)できます。

[リセット]を選択しセットボタン(●)を押すと、 番号がリセットされます。

[形式]項目が"AVCHD"の場合、クリップ番号は "00000"にリセットされます。

SD カードにすでにクリップが存在するときは、空き番号の中で一番小さな数値が設定されます。

• 設定例)

[クリップ名]が"ABCD"で SD カードに

"ABCD0001"が存在する場合、"ABCD0002"が設 定されます。

プランニングメタデータ消去

プランニングメタデータを消去します。

よく使うメニュー項目を登 録・編集する (お気に入りメ ニュー)

よく使うメニュー項目を自由に選んで登録・編集 し、オリジナルのメニュー画面(お気に入りメ ニュー)を作成できます。

メモ:-

- [お気に入りメニュー]はカメラモードのときの み有効であり、記録フォーマットが変化しても [お気に入りメニュー]は共通です。
- 登録できるメニュー項目の数は 20 項目です。
- [お気に入りメニュー]の登録項目は、[メインメニュー]→[すべてリセット]項目を実行しても 初期化されません。
- [お気に入りメニュー]に表示されるメニュー項 目の名称は、わかりやすいように長い名称で表 示される場合があります。



メニュー項目をお気に入りメニューに登録 する

- 1 [MENU]ボタンを押し、[メインメニュー]画面 をひらく
- 2 登録したいメニュー項目またはサブメニュー 項目を選択する



メモ:-

- 下記の場合、「お気に入りメニュー」への登録ができません。操作ガイドの[USER1 追加]がグレー表示となります。
 - すでに[お気に入りメニュー]に登録されている項目を選択した場合。
 - 登録できるメニュー項目の数(20項目)を超 えている場合。
- **3** [FOCUS ASSIST/1]ボタンを押す 追加確認画面が表示されます。
- 4 [追加]を選択し、セットボタン(●)を押す 選択したメニュー項目が[お気に入りメ ニュー]に追加されます。



お気に入りメニューの編集

[お気に入りメニュー]に追加した項目の削除・メ ニューの順序の並び換えを行うことができます。

[お気に入りメニュー]に追加した項目の削除

- 1 [お気に入りメニュー]画面をひらく
 - ① [MENU]ボタンを押し、[メインメニュー] 画面をひらきます。
 - ② [DISPLAY]ボタンを押す、または[MENU] ボタンを長押しして、[お気に入りメ ニュー]画面をひらきます。
- 2 [お気に入りの編集]項目を選択し、セットボタン(●)または、十字ボタン(▶)を押す へいば、ボキボタン(▶)を押す

ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。



3 削除したいメニュー項目またはサブメニュー 項目を選択する



4 [OIS/2]ボタンを押す メニュー項目の先頭に削除マーク(×)が表示されます。



メモ:-

- 削除マーク(X)が付いたメニュー項目が選択されているときに、再度[OIS/2]ボタンを押すと削除候補からはずれ、削除マーク(X)が消えます。
- 5 [FOCUS ASSIST/1]ボタンを押す [お気に入りメニュー]編集モードの終了オプ ション画面が表示されます。
- 6 [変更を保存して終了]を選択し、セットボタン
 (●)を押す



メモ:-

- [変更を保存して終了]で変更を保存するまで は、削除は確定されません。
- 項目を削除せず、編集モードを終了する場合は、
 [変更を破棄して終了]を選択します。
- [キャンセル]を選択すると、編集モードに戻り ます。

[お気に入りメニュー]項目の並び換え



- [お気に入りメニュー]画面をひらく
 [MENU]ボタンを押し、[お気に入りメニュー]
 画面をひらきます。
- 2 [お気に入りの編集]項目を選択し、セットボタン(●)または、十字ボタン(▶)を押す ヘッダーが赤紫色になり、編集モードとなります。



3 移動したいメニュー項目またはサブメニュー 項目を選択し、セットボタン(●)を押す 移動モードとなり、移動場所の選択バーが表示 されます。



4 十字ボタン(▲▼)で移動先を選択する

十字ボタン(▲▼)で移動場所の選択バーを動かし、移動先を選択します。

5 セットボタン(●)を押す 移動先に選択した項目が移動します。



- [FOCUS ASSIST/1]ボタンを押す
 [お気に入りメニュー]編集モードの終了オプション画面が表示されます。
- 7 [変更を保存して終了]を選択し、セットボタン (●)を押す



メモ:-

- [変更を保存して終了]で変更を保存するまでは、移動は確定されません。
- 変更を保存せず、編集モードを終了する場合は、
 [変更を破棄して終了]を選択します。
- [キャンセル]を選択すると、編集モードに戻ります。

カメラモード時のディスプ レイ画面

ディスプレイ 0 画面

イベント表示またはワーニング表示のみ表示します。



※1 警告時にのみ表示※2 操作時にのみ表示

ディスプレイ1画面



※警告時にのみ表示

ディスプレイ2 画面



OKマーク

OK マークが付加されている場合に表示されます。 (☞ P81 [OK マークを付加・削除する])

② 電圧・バッテリー残量 現在使用している電源の状態を表示します。 (ws P22 [電源状態の表示])

メモ:-

ディスプレイ 0、ディスプレイ 1 画面では警告時のみ表示されます。

3 メディア残量

A スロット、B スロットの SD カードごとにカードの残り記録時間が表示されます。

- A :現在選択されているスロットです。(白 いカード)
- ▲ :書き込み禁止スイッチがセットされて いる SD カードです。
- ▲!INVALID : 書き込み/読み込みエラー、または修復が困難な SD カードです。
- ▲ ! FORMAT : フォーマットが必要な SD カードです。
- ▲! RESTORE : 修復が必要な SD カードで す。

A ! INCORRECT :

- Class4 の SD カードを挿入時に、記録設定項目 を"AVCHD"/"SD"以外に設定している場合。
- ・ サポート外の SD カードの場合。
- XHQ モードで Class10 未満の SD カードを挿 入した場合。
- A ! REC INH
- AVCHD で 60i(HQ)/60i(SP)記録した SD カードに 50i(HQ)/50i(SP)で記録(またはその逆)をしようとした場合。
- 4 GB 以上の記録時に、4 GB 以上の記録ができないメディアが挿入されている場合。

(Image P108 [4GB ごとに分割(SDXC)])

- メモ:-
- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設 定] → [メディア残量]項目を"切"に設定した場合、 表示されません。ただし、警告時は表示されます。
 (☞ P100 [メディア残量])
- ディスプレイ 0、ディスプレイ 1 画面では警告時のみ表示されます。(残り記録時間が 3 分未満の場合)

ただし、下記の場合、すべてのディスプレイ画面で 表示されます。

- [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [スロットモード]項目を"デュアル"に設定した場合で、片側のスロットのみ記録しているとき。
- (☞ P107 [スロットモード])
- 表示される時間はめやすです。
- フレームレート
 [記録モード]項目が"バリアブルフレーム"に設定
 されている場合のみ、xx/yy fps(xx:記録フレーム
 レート、yy:再生フレームレート)で表示されま
 す。
 (いアP107[記録モード])
- 解像度

映像の解像度が表示されます。

- ×=:---
- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [記録フォーマット]項目を"切"に設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [記録フォーマット])
- フレームレート/ビットレート フレームレートとビットレートの組み合わせが 表示されます。
- メモ:-----
 - [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [記録フォーマット]項目を"切"に設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [記録フォーマット])
- オーディオレベルメーター
 - CH1、CH2のオーディオレベルが表示されます。
 - オートのときは、▲が表示されます。

A CH 1 -004030 20 10 0 A CH 2 [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] → [記録モード]項目が"フレームレック"、
 "インターバルレック"または"バリアブルフレーム"に設定されている場合、音声記録は不可となり、Qマークが表示されます。

CH1 ∞4030 2 Ō CH 2

メモ:-

- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [音声レベルメーター]項目を"切"に設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [音声レベルメーター])
- ボリューム操作表示 ヘッドホン、スピーカーの音量(0~15)および LCD BRIGHT、PEAKING(-10~+10)の数値を変 更した場合に表示されます。



メモ:-

- カメラモード時、スピーカーから音声は出力されません。
- ⑦ フラッシュバンド補正マーク
 [メインメニュー]→[カメラ機能]→[フラッシュ
 バンド補正]項目を"入"に設定した場合に表示さ
 れます。
 (☞ P88 [フラッシュバンド補正])
- 手ぶれ補正マーク
 手ぶれ補正 ON の場合に表示されます。
 - () : [手振れ補正]の[レベル]が"通常"に 設定されている場合。
 - (地) : [手振れ補正]の[レベル]が"高感度" に設定されている場合。

- メモ:-
- ディスプレイ 0 画面の場合、手ぶれ補正を"OFF" にすると、3 秒間 W が表示されます。
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- ① ホワイトバランス状態 ホワイトバランスのモードを表示します。 (*****K は色温度)
 - A<****K>: ホワイトバランスが Auto A の場合。
 - B<****K>: ホワイトバランスが Auto Bの場合。
 - P<*****K>: ホワイトバランスが Preset の場合。 ▲<FAW>: フルオートホワイトバランスモード
 - の場合。 【<FAW>: フルオートホワイトバランスモード で、「AE LOCK」が"入"の場合。
- メモ:-
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- 12シャッター
 - シャッターが"入"の場合、現在のシャッタース ピードが表示されます。
 - (☞ P88 [シャッター]) ● [FULL AUTO]スイッチを"ON"にしフルオー
 - ト撮影モードになった場合または、 [SHUTTER]ボタンを押して自動シャッター モードになった場合、Δが表示されます。
- メモ:-
- シャッタースピードの可変範囲は、映像フォーマットの設定によって異なります。
 (127 P48 [電子シャッターを設定する])
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- シャッター表示がない場合、シャッターは OFF です。
- アイリス F値 レンズのアイリス F値を表示します。
- **1** ゲイン
 - ゲイン値を表示します。
 - マニュアル撮影時で、ALC モードの場合、▲が 表示されます。
 - AE LOCK が"ON"時、■が表示されます。
 - 低照度撮影モード時、"LUX30"または"LUX36" が表示されます。
- メモ:-
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。

🚯 AE レベル

- AE 機能が動作中で、[メインメニュー] → [カ メラ機能] → [AE レベル]項目が"通常"以外に 設定されているときに表示されます。
- (INF P88 [AE レベル])
- マニュアル操作が禁止されている場合に操作 したとき、"AE"が5秒間点滅表示されます。
- 顔検出機能がオンで、「顔検出」項目を"AF&AE"
 に設定している場合、"AE"の左側に、20 が表示 されます。

(INF P44 [顔を検出してフォーカスをあわせる(顔 検出)])

① ND フィルターポジション 現在の ND フィルターポジションを表示します。

メモ: ―

[メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [ND フィルター]項目を"切"に設定した場合、表示されません。

(☞ P100 [ND フィルター])

- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- 1 フォーカス表示
 - マニュアルフォーカス時の焦点距離の値が表示されます。
 - オートフォーカス時は AF が表示されます。
 - 顔検出機能がオンの場合、▲ の左側に、◎ が 表示されます。

(187 P44 [顔を検出してフォーカスをあわせる(顔 検出)])

(☞ P91 [顔検出])

 [メインメニュー] → [カメラ機能] → [AF ア シスト]項目を"エリア"に設定した場合、匠の 左側に「□]アイコンが表示されます。

(☞ P89 [AF アシスト])

- メモ:-
- フォーカスの値("フィート"/"メートル")および非 表示にするかどうかは、[メインメニュー] → [LCD/ VF 設定] → [表示設定] → [フォーカス]項目で設 定できます。
 "切"に設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [フォーカス])
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。

- 🚯 フォーカスアシスト
 - フォーカスアシスト動作中、"FOCUS"が表示 されます。
 - ACCU-Focus を有効にしている場合、フォーカスアシスト起動時に"ACCU-FOCUS"を約 10 秒点滅表示後、"FOCUS"が点灯表示されます。
 - [ACCU-Focus]動作時、記録を開始したら [ACCU-Focus]は強制的に OFF になります。
 (☞ P98 [フォーカスアシスト])
- メモ:-
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- 1 輝度情報

スポットメーター機能がはたらいている場合に 表示されます。 (☞ P64 [スポットメーターを設定する]) MAX : 最大輝度 MIN : 最小輝度

- ① 日付・時刻表示 現在の日付および時刻が表示されます。
- メモ : -
 - 日付・時刻の表示スタイルは、[メインメニュー] →
 [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [日付書式]/[時間表示]項目で設定できます。
 (☞ P101 [日付書式])
 (☞ P101 [時間表示])
 - [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [日付/時間]項目を"切"に設定した場合、表示されません。
 (IF P101 [日付/時間])
 - (嗲 P101 [日刊/時間])
 - [メインメニュー] → [システム] → [記録設定] →
 [タイムスタンプ]項目が"入"の場合、表示されません。

(☞ P108 [タイムスタンプ])

- ④ ズーム表示
 - ズーム位置が表示されます。(ズームバーか、数 値)
 - ズームバーは、ズーム動作時および、動作後3 秒間のみ表示されます。
 - 数値の場合、常時表示されます。(0~99)

メモ:-

- 表示方法(数値/バー)および非表示にするかどう かは、[LCD/VF 設定] → [表示設定] → "ズーム"項 目で設定できます。
 "切"設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [ズーム])
- ディスプレイ 0 画面では変化時のみ表示されます。
- 🛛 タイムコード(🖸)/ユーザーズビット(🖪)表示
 - タイムコード(時:分:秒:フレーム)またはユー ザーズビットデータを表示します。
 - タイムコード表示例:
 ©00:00:00:00:00

T ※

- ※ ノンドロップフレームはコロン(:) ドロップフレームはドット(.)
 - ユーザーズビット表示例:

IBFF EE DD 20

- メモ:-
- 表示をタイムコードまたは、ユーザーズビットにするか、表示しないかは[LCD/VF 設定] → [表示設定] → [TC/UB]項目で設定できます。
 "切"設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [TC/UB])
- タイムコードロック表示 タイムコードをもう一台のカメラに同期させる 場合、内蔵タイムコードジェネレーターが外部タ イムコードデータ入力と同期したとき、■が点灯 します。 (167 P62 [タイムコードをもう一台のカメラに同 期させる])
- イベント/警告表示部 エラーメッセージなどが表示されます。
 (☞ P130 [エラーメッセージと対応])
- 29 メディアの状態 : 選択されたスロットにカードが ----ない : 記録スタンバイ STBY : 記録中 REC : クリップレビュー動作中 REVIEW (☞ P66 [記録した映像をすぐに見る(クリップレ ビュー))) : プリレックスタンバイ STBY P (☞ P71 [プリレック]) : プリレック中 •RECP (☞ P71 「プリレック」) : クリップコンティニュアスレッ STBY C クスタンバイ (Imp P71 [クリップコンティニュアスレック])
- : クリップコンティニュアスレッ ク中 (**☞ P71** [クリップコンティニュアスレック]) STBYC(黄色: クリップコンティニュアスレッ クー時停止状態 表示) (☞ P71 [クリップコンティニュアスレック]) STBY I : インターバルレックスタンバイ (☞ P74 「インターバルレック」) STBYII(赤色: インターバルレックー時停止中 表示) : インターバルレック中 ●RECI (☞ P74 [インターバルレック]) STBY 🖪 : フレームレックスタンバイ (☞ P73 [フレームレック]) : フレームレック中 •RECE (☞ P73 [フレームレック]) STBYE(黄色: フレームレックー時停止状態 表示) (☞ P73 [フレームレック]) : スロットにカードはあるが記録 STOP できない P.OFF : 電源 OFF 時 2 デュアルレック/ バックアップレック表示
 -) デュアルレック/バックアップレック表示 デュアルレックモード時"DUAL"、バックアップ レックモード時、"BACKUP"と表示されます。 (☞ P107 [スロットモード])

メモ:-

- [スロットモード]項目を"シリーズ"に設定している場合、表示されません。
- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [メディア残量]項目を"切"に設定した場合、 表示されません。ただし、警告時は表示されます。
 (☞ P100 [メディア残量])
- ディスプレイ 0、ディスプレイ 1 画面では警告時のみ表示されます。(残り記録時間が 3 分未満の場合)

メディアモード時のディス プレイ画面

メディアディスプレイ 0 画面

メディアの状態やイベント表示またはワーニング 表示のみ表示します。

※警告時にのみ表示

メディアディスプレイ 1 画面



メディアディスプレイ 2 画面



メディア

- 再生中のクリップが入っているメディアス ロット(AかB)を表示します。
- SD カードが書き込み禁止になっている場合、
 合、
 命 が表示されます。
- ② 電圧・バッテリー残量 現在使用している電源の状態を表示します。 (☞ P22 [電源状態の表示])

メモ:-

メディアディスプレイ 0 画面では警告時のみ表示されます。

8 解像度

映像の解像度が表示されます。

- フレームレート/ビットレート フレームレートとビットレートの組み合わせ が表示されます。
- ⑤操作ガイド 現在操作できるボタンの操作ガイドが表示されます。
- オーディオレベルメーター CH1、CH2のオーディオレベルが表示されます。

CH 1 -004030 20 10 0 CH 2

メモ:-

- [メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [音声レベルメーター]項目を"切"に設定した場合、表示されません。
 (☞ P100 [音声レベルメーター])
- ボリューム操作表示
 - ヘッドホン、スピーカーの音量(0~15)およびLCD BRIGHT(-10~+10)の数値を変更した場合に表示されます。
 - メディアモード時、[PEAKING +/-]操作は無効となり、"-10"で固定されます。

(☞ P114 [ボリューム操作表示])

8 ポジションバー

映像の現在位置が表示されます。

- トリミング時、ポジションバーは緑色となり、
- イン点・アウト点のアイコンが表示されます。
 - ▼ : 映像の現在位置
 - ・トリミング開始位置 (イン点)
 - : トリミング終了位置 (アウト点)

9 情報表示部

非表示、カメラ情報表示、GPS 表示を[AE LOCK/4] ボタンで切り換えます。

- GPS表示は、GPS情報が記録されている場合にのみ、再生している映像を記録した場所の情報が表示されます。
 日時表示は、ローカルタイムです。
- カメラ情報表示は、ゲイン、アイリス、シャッ ター、ホワイトバランスの情報のうち記録さ れているもののみが表示されます。



メモ:-

- •本機には、GPS 機能はありません。
- トリミング中はトリミング情報が表示されます。その場合、[AE LOCK/4]ボタンでの表示切換はできません。
- ① 日付・時刻表示
 再生している SD ードに記録されている日付・
 - 時刻が表示されます。

メモ:-

 ●日付・時刻の表示スタイルは、[LCD/VF 設定] → [表示設定] → [日付書式]/[時間表示]項目で設 定できます。
 (☞ P101 [日付書式])
 (☞ P101 [時間表示])

- タイムコード(配)/ユーザーズビット(団)表示
 - タイムコード(時:分:秒:フレーム)または ユーザーズビットデータを表示します。
 タイムコード表示例:
 - ダイムコート衣示例

III:00:00:00:00

- ※ ノンドロップフレームはコロン(:) ドロップフレームはドット(.)
 - ユーザーズビット表示例:

BFF EE DD 20

メモ:-

- 表示をタイムコードまたは、ユーザーズビット にするか、表示しないかは[メインメニュー] → [LCD/VF 設定] → [表示設定]の[TC/UB]項目 で設定します。
 (☞ P100 [TC/UB])
- イベント/警告表示部
 エラーメッセージなどが表示されます。
 (☞ P130 [エラーメッセージと対応])
- メディアの状態
 - PLAY :再生中
 - STILL
 : 静止画再生モード時

 FWD*
 : フォワード方向倍速再生中(*再 生スピード5倍、15倍、60倍、 360倍)
 - REV* : リバース方向倍速再生中(*逆再 生スピード5倍、15倍、60倍、 360倍)
 - STOP : 停止モード
 - P.OFF : 電源 OFF 時
- ④ チェックマーク 再生中クリップが選択状態である場合に表示 されます。
- OK マーク OK マークが付加されている場合に表示されます。
 - (☞ P81 [OK マークを付加・削除する])
- ① クリップ情報 現在のクリップ番号/全

現在のクリップ番号/全クリップ数が表示されます。

ステータス画面

本機の設定を確認します。

カメラ1画面/カメラ2画面

カメラの撮影に関する情報を確認します。

| • | カメラ1 | • |
|------|---------|-------------|
| ゼブラ | | 70%~80% |
| マーカー | アスペクト | 16:9 |
| セーフテ | ィーゾーン | 90% |
| 形式 | QuickT | ime(MPEG2) |
| | 1920×10 | 080 60i(HQ) |

| • | カメラ2 | ► |
|------------|-------|----------|
| 撮影モード | | 標準 |
| GAIN L | | OdB |
| GAIN M | | 6dB |
| GAIN H | | 12dB |
| AE LEVELス- | イッチ | AE LEVEL |
| ハンドルズーム | ムスピード | 5 |
| AFアシスト | | 切 |

ユーザーボタン機能画面

ユーザーボタンの機能割付状態を確認します。 (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])

| ◀ : | ユーザーボタン機能 🕨 🕨 |
|-------|---------------|
| USER1 | フォーカスアシスト |
| USER2 | 手振れ補正 |
| USER3 | Lolux |
| USER4 | AEロック |
| USER5 | ゼブラ |
| USER6 | マーカー |
| USER7 | クリップレビュー |

音声画面

音声入力に関する設定を確認します。 (☞ P102 [音声設定項目])



音声レベル画面

マイクの音量レベルなどを確認します。 (187 P55 [録音する])



映像画面

映像出力に関する設定を確認します。 (☞ P101 [映像設定項目])

| ◀ | 映像 | ► |
|------------|----|----------|
| HDMI/SDI出た | נ | HDMI+SDI |
| 解像度 | | 1080i |
| HDMIカラー | | オート |
| HDMIエンハ | ンス | 切 |
| SDアスペクト | | スクイーズ |
| SDセットアッ | プ | 0.0% |

【 プランニングメタデータ画面

現在設定されているプランニングメタデータを確認し ます。

| ◀ : | プランニン | グメタデー | -タ | ► |
|------|-------|-------|-----|-----|
| タイトル | /1 | KAI | MAK | URA |
| タイトル | /2 | 古都鎌倉 | 紅葉 | 狩り |
| 説明 | 鎌倉市内 | の紅葉狩り |)スポ | است |
| 撮影者 | | I | 山田 | 太郎 |

マーカー表示およびセーフ ティーゾーン表示(カメラ モード時のみ)

撮影の目的に応じて映像の画角を決めるとき、マー カーやセーフティーゾーンを表示すると便利で す。 マーカーは、カメラモード時のみ表示されます。

グリッドマーカーを表示させる

 [LCD/VF 設定] → [マーカー設定] → [グリッ ドマーカー]項目を"入"に設定する (☞ P99 [グリッドマーカー]) 画面を 3×3 に分割するグリッドが表示されま す。



メモ:-

- [グリッドマーカー]項目を"入"に設定している場合、[アスペクト比]、[アスペクトマーカー]、
 [セーフティーゾーン]項目は機能しません。
- [アスペクト比] = "4:3"、[アスペクトマーカー] = "ライン+ハーフトーン"、[センターマーカー] = "入"の場合の表示例



アスペクトマーカー

メモ : -

[LCD/VF 設定] → [マーカー設定] → [アスペクト比]、[セーフティーゾーン]および[センターマーカー]項目の設定によってセーフティーゾーンおよびセンターマーク表示の入/切が選択できます。
 (war P99 [セーフティーゾーン])

肌色をなめらかに見せる(ス キンディテール機能)

スキンディテール機能を使うと、ビデオ信号の肌 色部分の輪郭強調をおさえ、肌色をしっとりとな めらかに見せることができます。

 [スキンディテール]項目を"入"に設定します (☞ P95 [スキンディテール])
 [メインメニュー]→[カメラ設定]→[ディテー ル]/[調整]→[スキンディテール]項目を"入"に 設定します。

メモ:----

 [メインメニュー] → [カメラ設定] → [ディテー ル]/[調整] → [スキンディテール]/[レベル]項 目で、肌色の輪郭強調を抑えるレベルを設定で きます。
 (☞ P95 [レベル])

カラーバーを出力する

本機は、カラーバーを出力することができます。

- メモ:----
- カラーバー出力と同時に、オーディオテスト信号(1 kHz)を出力することもできます。
 (ロマア103 [テストトーン])

メニューでカラーバーを出力する場合

カラーバーを出力する場合は、下記の設定をします。

 [カメラ機能] → [カラーバー]項目を"入"に設 定する (☞ P88 [カラーバー]) カラーバーが出力されます。

ユーザーボタンでカラーバーを出力する場合

- いずれかのユーザーボタンに"カラーバー"機 能を割り付ける (☞ P30 [ユーザーボタンの機能割り付け])
- 2 "カラーバー"を割り付けたユーザーボタンを 押す カラーバーが出力されます。

カラーマトリクスの調整を する

- 本機はカラーマトリクスを好みの色に調整できます。
- 複数のカメラを用いて撮影する場合に、各カメ うの色をあわせたり、本カメラを自分の好みの 色再現に調整することができます。
- 原色と補色の計6色それぞれの彩度、色相、明度 を設定することができます。
- DSC カラーチャートなどを使用してベクトル スコープおよび、波形モニターで色を調整して ください。
- ※ [カラーマトリクス]項目の "スタンダード"、"シ ネマ(鮮やか)"、"シネマ(和らか)"それぞれに調整 値を保持することができます。 (128 P94 [カラーマトリクス])
- 1 [カメラ設定] → [カラーマトリクス]/[調整]項 目を選択する (☞ P94「調整])
- 2 色相の調整
 - +字ボタン(▲▼)で、色を選び、十字ボタン
 (▶)で決定します。(カーソルは色相に移動)
 - +字ボタン(▲)を押すとベクトルスコープ
 上で時計周りに位相が回ります。
 - +字ボタン(▼)を押すとベクトルスコープ
 上で反時計周りに位相が回ります。



- 3 彩度の調整
 - +字ボタン(▶)を押すと、カーソルが彩度に 移動します。
 - 各色それぞれベクトルスコープ上で図の矢 印方向に変化します。
 - +字ボタン(▲)を押すとベクトルスコープ
 上で色が円の外側方向に動きます。
 - +字ボタン(▼)を押すとベクトルスコープ
 上で色が円の中心方向へ動きます。



- 4 明度の調整
 - +字ボタン(▲)を押すと明るく、十字ボタン (▼)を押すと暗くなります。
 - +字ボタン(▶)を押すと、カーソルが色相に 戻ります。

セットアップファイルの設 定方法

本機では、メニューの設定値をセットアップファ イルとして本機や SD カードに保存しておくこと ができます。

保存したセットアップファイルを呼び出すことに よって適切なセットアップ状態をすばやく再現す ることができます。

セットアップファイルには、次の2種類があります。

■シーンファイル:

ビデオフォーマットの設定から、機器設定、撮影条件などにあわせた画作り設定まで、メニューの全設定データおよび[お気に入りメニュー]の登録内容を対象とするファイル。

■ピクチャーファイル:

撮影条件などにあわせて調整した画作り設定([カ メラ設定]メニューの項目)を対象とするファイ ル。

(☞ P92 [カメラ設定メニュー])

メモ:---

- セットアップファイルの保存や呼び出しは、 [セットアップファイル]メニューにて行います。
- [セットアップファイル]メニューでは下記操作 が行えます。
 - ・ [セットアップファイルの保存] P123
 - ・ [セットアップファイルの呼び出し] P 124
 - ・ [セットアップファイルの削除] P 125

扱い可能なファイル数

本機 : [内蔵 1]~[内蔵 4] SDスロットA : [▲1]~[▲8] SDスロットB : [■1]~[■8]

互換性について

- シーンファイル
- GY-HM600 シリーズおよび GY-HM650 シリー ズ以外のシーンファイルは呼び出しできません。
- GY-HM650 で保存したシーンファイルを呼び 出すとき、GY-HM650 のみに存在する機能は無 視されます。
- ■ピクチャーファイル
- GY-HM600 シリーズおよび GY-HM650 シリーズ 以外のピクチャーファイルは呼び出しできません。

- セットアップファイルの保存
- 【セットアップファイル】メニューを表示させる
 【メインメニュー】→〔システム〕→〔セットアップファイル〕項目を選択しセットボタン(●)を押します。
 (☞ P104 [セットアップファイル])
- 2 [ファイル保存]を選択しセットボタン(●)を押す
- 3 [シーンファイル]か[ピクチャーファイル]を 選択しセットボタン(●)を押す 設定されているファイルが表示されます。
- 4 十字ボタン(▲▼)で新規保存(または上書き保存)するファイルを選択しセットボタン(●)を 押す

| | シーンファイル保存 | • | |
|------------|-----------|-----|----------|
| 内蔵1 | <ファイルなし> | | 4 |
| 内蔵2 | <ファイルなし> | | |
| 内蔵3 | <ファイルなし> | | |
| 内蔵4 | <ファイルなし> | | |
| B 1 | <ファイルなし> | | |
| B 2 | <ファイルなし> | | |
| | | ●決定 | |

メモ:-

- 下記の場合、書き込みできません。(グレー表示、 選択不可)
 - 挿入されている SD カードが未対応、または 未フォーマットのとき。(ファイル名が"---"と 表示される。)
 - 書き込み禁止スイッチがセットされている SD カードが挿入されているとき(SD カード アイコンのとなりに Gマークが表示。)
- 5 ファイルに名前をつける
 - ソフトウェアキーボードでサブネームを入 力します。

(IPP86 [ソフトウェアキーボードでの文字入力])

- [ファイル保存]、[ピクチャーファイル]のサ ブネームは8文字まで入力できます。
- メモ:-
- ファイルに上書きする場合、ファイルのサブネームが入力済みの状態で表示されます。
- [キャンセル]を選択しセットボタン(●)を押す か、[CANCEL]ボタンを押すと前画面に戻りま す。

6 [保存]を選択しセットボタン(●)を押す



- 7 保存する
 - 上書きする場合は、確認画面が表示されます。

確認画面で[上書き]を選択し、セットボタン (●)を押します。保存が開始され画面に"保 存中…"と表示されます。



新規保存の場合、保存が開始され画面に"保存中…"と表示されます。



8 保存完了

ファイルの保存が完了したら、画面に"完了しました"と表示され、自動的にメニュー画面がとじます。

セットアップファイルの呼び出し

- 【セットアップファイル】メニューを表示させる
 [メインメニュー] → [システム] → [セットアップファイル]項目を選択しセットボタン(●)を押します。
 (☞ P104 [セットアップファイル])
- 2 [ファイル読み込み]を選択しセットボタン(●) を押す
- [シーンファイル]か[ピクチャーファイル]を 選択し、セットボタン(●)を押す 設定されているファイルが表示されます。
- 4 十字ボタン(▲▼)で呼び出すファイルを選択し セットボタン(●)を押す



メモ:-

- 書き込み禁止スイッチがセットされている SD カードが挿入されている場合、SD カードアイ コンのとなりに Gマークが表示されます。書き 込み禁止スイッチがセットされている SD カー ドでも、ファイルの呼び出しはできます。
- まったく互換性のないセットアップファイルは表示されません

(🖙 P123 [セットアップファイルの設定方法])

5 確認画面で[読み込む]を選択し、セットボタン (●)を押す

呼び出しが開始され、画面に"読み込み中…"と 表示されます。



6 読み込みの終了

ファイルの読み込みが完了したら、画面に"完了 しました"と表示され、自動的にメニュー画面が とじます。

セットアップファイルの削除

- 「セットアップファイル]メニューを表示させる
 [メインメニュー]→[システム]→[セットアップファイル]項目を選択しセットボタン(●)を押します。
 (☞ P104 [セットアップファイル])
- 2 [ファイル削除]を選択しセットボタン(●)を押す
- ジーンファイル]か[ピクチャーファイル]を 選択し、セットボタン(●)を押す 設定されているファイルが表示されます。
- 4 十字ボタン(▲▼)で削除するファイルを選択し、セットボタン(●)を押す



メモ:-

- SD カード内に保存されたシーンファイルは削除できません。
- 5 確認画面で[削除]を選択し、セットボタン(●) を押す

削除が開始され、画面に"削除中…"と表示されます。



6 削除完了

ファイルの削除が完了したら、画面に"完了しました"と表示されます。

パソコンでクリップを管理・ 編集する

パソコンにクリップを取り込む(USB 接続 モード)

- SD カードに収録されているクリップをパソコンで管理・編集するために、本機とパソコンを USBで接続し、パソコンにクリップを取り込む ことができます。
- このモードは、パソコンなどからその周辺機器のドライブとして認識される USB マスストレージクラスのみであり、接続パソコンから SD カード上のファイルの操作を行うことができます。

メモ:-

- SD カードへの書き込みはできません。
- MP4 ファイルフォーマットで記録されたファ イルの操作は、必ず添付のディスクに収録され ているパソコン用アプリケーションソフトウェ ア(JVC ProHD Clip Manager)で行なってくだ さい。
- アプリケーションソフトインストールの方法 は、添付のディスクに収録されている[JVC ProHD Clip Manager]の[ユーザーズガイド]を ご覧ください。
- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する USB 接続を有効にするかどうかを確認する メッセージ"USB モードに切り替えますか?"が 表示されます。

2 十字ボタン(▲▼)で[切り替え]を選択し、セットボタン(●)を押す
 USB モードに切り換わります。



メモ:-

- 記録中の場合、記録停止した段階で"USB モードに切り替えますか?"のメッセージが表示されます。
- 再生中であれば再生停止など、ファイルを自動 的にとじてから移行します。

接続の解除

- 接続パソコン上で、接続解除の操作を行い、USB ケーブルを本体から抜きます。
- USB モードが解除され、カメラモードに切り換わります。

メモ:---

 接続解除の方法は、お使いのパソコンによって 異なります。パソコンの[取扱説明書]をご覧く ださい。





┃ パソコンが SD カードを認識しないとき

パソコンの **OS**(基本ソフト)をアップデートして ください。

| OS | 内容 |
|---|---|
| Windows XP/ Windows XP SP1 | SP2 以上にアップデートが必 要です。 |
| Windows XP SP2/ Windows XP SP3 | 更新されたバージョンのダウ ンロードが必要です。 (KB955704) http://www.microsoft.com/ downloads/details.aspx? familyid=1CBE3906- DDD1-4CA2-B727- C2DFF5E30F61&displaylan g=ja |
| Windows Vista | SP1 以上にアップデートが必 要です。 |
| Windows Vista SP1/ Windows Vista SP2 | 更新されたバージョンのダウ ンロードが必要です。 (KB975823) 32bit 版 http:// www.microsoft.com/ downloads/details.aspx? displaylang=ja&FamilyID =2d1abe01-0942-4f8a- abb2-2ad529de00a1 64bit 版 http:// www.microsoft.com/ downloads/details.aspx? displaylang=ja&FamilyID =7d54c53f-017c-4ea5- ae08-34c3452ba315 |
| Windows 7 | 更新されたバージョンのダウ ンロードが必要です。 (KB976422) 32bit 版 http:// www.microsoft.com/ downloads/details.aspx? displaylang=ja&FamilyID =3ee91fc2-a9bc-4ee1- aca3-2a9aff5915ea 64bit 版 http:// www.microsoft.com/ downloads/details.aspx? displaylang=ja&FamilyID =73f766dd-7127-4445- b860-47084587155f |
| Windows 8.1 | Microsoft Corporation のサイ トでご確認ください。 |

外部モニターを接続する

- 記録・再生の映像や音声を外部モニターに表示 させるには、本機の出力信号を選択し、接続する モニターに応じたケーブルを使用して接続して ください。
- 使用するモニターに最適な端子を使ってください。
- [HD/SD SDI]端子:
 HD-SDI 信号または SD-SDI 信号のどちらかの 信号を出力します。
- [AV]端子: コンポジットビデオ信号と音声信号を出力します。
- [HDMI] 端子:
 HDMI 信号を出力します。
 [映像/音声設定]メニューで接続するモニター
 にあわせるための設定を行います。
 (☞ P101 [HDMI/SDI 出力])



- ※[映像/音声設定] → [HDMI/SDI 出力]項目で出 力信号を選択します。 (☞ P101 [HDMI/SDI 出力])
- ※ [記録フォーマット]→[システム]項目が"SD"に 設定されている場合は、SD-SDI 信号のみが出 力されます。 (☞ P106 「システム])
- ※ 外部モニターにメニュー画面や、ディスプレイ 画面を表示する場合は、[映像/音声設定]→[映 像設定]→[外部モニター情報表示]項目を"入"に 設定してください。 (☞ P101 「外部モニター情報表示])

SDI で接続する

- HD-SDI 信号、SD-SDI 信号のいずれの信号にも デジタル映像信号と同時にエンベディッド(重 畳)音声信号とタイムコード信号が出力されま す。
- [HD/SD SDI]出力端子から出力されるユーザーズビットは、有効画像信号判別フラグとして利用されるため、正確な値が出力されません。

メモ:---

 エンベディッド(重畳)音声のサンプリング周波 数は48 kHz です。さらに、内蔵タイムコード ジェネレーターのタイムコードと再生タイム コードが出力されます。

SDI ダウンコンバート出力時の設定

- SD-SDI 出力時、HD の映像を SD の映像に "ダ ウンコンバート"する方式を選択します。
- ・
 [映像/音声設定] →
 [映像設定] →
 [SD アスペクト]項目で設定します。
- 選択できる方式は、"サイドカット"、"レター"(上下黒味)、"スクイーズ"(フルサイズ・左右圧縮)です。

(☞ P106 [SD アスペクト])

メモ:-

 ● [記録フォーマット] → [システム]項目が"SD" かつ、[SD アスペクト]項目が"4:3"に設定され ている場合は、選択できません。
 (☞ P106 [システム])

ヘッドホンを接続する

- 【○】端子から出力される音声は、「映像/音声設定】→「音声モニター」項目と、本体の
 【MONITOR】切換スイッチで選択します。
 (☞ P104 [音声モニター])
- 設定の組み合わせによる[∩]端子からの出力およびモニタースピーカーからの出力は以下のとおりです。

| [MONITOR] | 「音吉王一 | [೧] | 端子 | フレー |
|--------------|---------------|--------------|------|---------|
| 切換スイッチ 設定 | [1] 2] ター]の設定 | L | R | カー ※ |
| [CH1] | - | CI | -11 | CH1 |
| [BOTH] | [ミックス] | CH1- | ⊦CH2 | CH1+CH2 |
| | [ステレオ] | CH1 | CH2 | |
| [CH2] | - | CI | H2 | CH2 |

※ スピーカーの音声はメディアモード時のみ出力 されます。カメラモード時は出力されません。



メモ:-

 CH1、CH2ともに内蔵マイクの場合は、 [MONITOR]切換スイッチおよび[音声モニ ター]項目の設定にかかわらず[①]端子からの 出力はステレオになります。

ワイヤードリモコンを接続 する

本機の機能をワイヤードリモコンで操作します。 メモ:-----

- 本機のスイッチとリモートコントロールユニットのスイッチを同時に操作した場合、リモートコントロールユニットでのスイッチ操作が優先されます。
- 本機にワイヤードリモコンを接続する 本機[REMOTE] 端子にワイヤードリモコン(別 売)を接続します。



ご注意:-

- ワイヤードリモコンを接続するときは、本機の 電源を切ってください。
- 2 本機の電源を ON にする

エラーメッセージと対応

エラー状況に応じて、LCD モニター/ビューファインダー画面の警告表示、タリーランプおよび警告音は 表のように表示または出力されます。

- メモ:-----
- 本機はマイクロコンピューターを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズによって、正常に 動作しないことがあります。このような場合は、電源を入れなおしてください。

| エラーメッセージ | 状況 | 処置 |
|-----------------------------|--|---|
| 電源を入れなおしてください | システムエラーです。 ※ 警告音が鳴り、タリーランプが点 滅(1 秒間に 2 回)します。 | ー度電源を切り、再度電源を入れて ください。 エラーが解除されない場合は、お近 くのサービス窓口へお問い合わせ ください。 |
| ファンが停止しました。 電源 を切ってください。 | ファンの停止を検出した場合。 約1分後に自動的に電源が切れます。 | お近くのサービス窓口へお問い合 わせください。 |
| ファンの点検・交換が 必要です | ファンの使用時間が 9000 時間を超 えた場合。 | ファンの点検、交換を行なってくだ さい。詳しくは、お近くのサービス 窓口へお問い合わせください。 メモ: ・ファンの使用時間は、[システ ム] → [システム情報] → [ファ ン動作時間]項目で確認できま す。 (☞ P105 [ファン動作時間]) |
| 規定温度を超えましたので 電 源を切ってください | バッテリーが規定温度を超えた場合。 約 15 秒後に自動的に電源が切れます。 | 温度がさがるまで待つか、バッ テリーを交換してください。 エラーが解除されない場合は、 お近くのサービス窓口へお問い 合わせください。 |
| 記録できません | 書き込み禁止スイッチがセットさ れた SD カードで[REC]ボタンを 押した場合。 | SD カードの書き込み禁止スイッチ を解除するか、記録可能な SD カー ドを挿入してください。 (☞ P31 [SD カードについて]) |
| メディア* が抜かれました | 記録中のカードが抜かれた場合。 フォーマット中のカードが抜かれた場合。 修復中のカードが抜かれた場合。 OKマーク書き込み中のカードが抜かれた場合。 セットアップファイル書き込み中のカードが抜かれた場合。 クリッブ削除中のカードが抜かれた場合。 (*: A, B) | 本機で修復してください。 (☞ P34 [SD カードを修復する]) |

その他

| エラーメッセージ | 状況 | 処置 |
|---------------------------|---|---|
| 記録フォーマットが 異なりま す | クリップレビューしようとした ファイルのビデオフォーマット が、カメラの[フレーム数/画質] の設定と異なる場合。 | [解像度]および[フレーム数/画質] を正しく設定してください。 (☞ P106 [解像度]) (☞ P106 [フレーム数/画質]) |
| メディアの残量がありません | 記録容量がないのに、[REC]ボ タンを押した場合。 記録中に残量がなくなった場合。 | 別の SD カードに取り換えてくださ い。 |
| クリップがありません | クリップレビューしようとしたカー ドにレビュー可能なクリップがな い場合。 | レビュー可能なクリップの入って いる SD カードを入れてください。 (☞ P31 [SD カードについて]) (☞ P66 [記録した映像をすぐに 見る(クリップレビュー)]) |
| メディアがありません | SD カードを挿入していないのに [REC]ボタンを押した場合。 | SD カードを挿入してください。 (☞ P31 [SD カードについて]) |
| メディアなし | メディアモード時または、サムネイ ル画面で SD カードが未挿入の場 合。 | SD カードを挿入してください。 (☞ P31 [SD カードについて]) |
| クリップなし | メディアモード時または、サムネイ ル画面で挿入した SD カードにク リップが入っていない場合。 | 再生可能なクリップの入っている SD カードを入れてください。 (☞ P31 [SD カードについて]) (☞ P76 [記録したクリップを再 生する]) |
| 12 時間を超えて記録したので 停止しました | AVCHD で連続記録時間が 12 時間 を越えて、記録が自動停止した場 合。 | 記録を続けるときは、再度[REC]ボ タンを押してください。 |

タリーランプの点滅

記録時に SD カードの残量が少なくなったり、バッテリーの残量が少なくなると点滅します。

| 点滅状況 | バッテリー/SD カード残量 | |
|-----------------------|---|--|
| ゆっくり点滅 (1 秒間に 1 回) | バッテリー残量が少ない場合 SD カード残量が3分未満の場合(記録中) ライブストリーミングで不具合が発生している場合 | |
| 速く点滅 (1 秒間に 2 回) | バッテリー残量がほぼ0の場合 SDカード残量が0分になった場合(記録中) 本機に異常が発生した場合 | |

警告音

• バッテリーが少なくなると、モニタースピーカーや[**ハ**]端子から、警告音が出力されます。

• また、本機に異常が発生した場合も、警告音が出力されます。

メモ:----

● 警告音出力の有無や音量は[映像/音声設定] → [音声設定] → [警告音量]項目で設定できます。 (☞ P104 [警告音量])

こんなときは

| 症状 | 処置 |
|---|--|
| 電源が入らない。 | AC アダプターが正しく接続されていますか? バッテリーは充電されていますか? 電源を切った後すぐに電源を入れなかったですか? 電源の面立ちとけばは5秒以上時間をあけてから行なってください。 |
| 記録ができない。 | 电源の舟立ら上りは5秒以上時间をめりてから打なうてくたさい。 ハンドル部の記録トリガーボタン/ロックスイッチが ON になっていませんか? |
| | SD カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか? セットされている場合は、解除してください。 (IF P31 [SD カードの書き込み禁止スイッチについて]) |
| | カメラモードになっていますか? [MODE]切り換えボタンを押し、カメラモードに切り換えてくださ |
| | し。 (☞ P10 [動作モードについて]) ● 記録モードに対応していない SD カードが挿入されていませんか? (☞ P38 [ビデオフォーマットを選択する]) |
| | (☞ P108 [4GB ごとに分割(SDXC)]) |
| LCD モニターやビューファイ ンダー画面にカメラ画が出力 されない。 | カメラモードになっていますか? [MODE]切り換えボタンを押し、カメラモードに切り換えてください。 (☞ P10 [動作モードについて]) |
| サムネイルでクリップを選択 してセットボタン(●)を押し ても、再生されない。 | 選択したクリップは、再生可能なクリップですか? ビデオフォーマット設定が異なっていると再生できません。 |
| 再生時、音声がでない。 | 再生しているクリップは、バリアブルフレームレックで記録したクリッ プではありませんか? (☞ P75 [バリアブルフレームレック]) |
| LCD モニターやビューファイ ンダー画面の画像が暗い、ぼや けている。 | LCD モニターやビューファインダーの明るさを調整しなおしてください。 [ND FILTER] スイッチが"1/64"になっていませんか? |
| | アイリスがとじていませんか? シャッター速度が速すぎる設定になっていませんか? ピーキング量が少なくありませんか?LCD モニターおよびビューファインダー画面の輪郭は[PEAKING +/-]ボタンで調整してください。 (☞ P28 [LCD モニターの調整]) (☞ P29 [ビューファインダーの調整]) |
| [CH1/CH2]録音レベル調整つ まみが効かない。 | [CH1/CH2 AUTO/MANUAL]切換スイッチが"AUTO"になっていませんか? |
| | ● [FOLL AUTO]スイッチがON"になっていませんか? [FULL AUTO]スイッチがON"で、[映像/音声設定]→[音声設定]→[フ ルオート]項目が"強制オート"になっていませんか? (☞ P104 [フルオート]) |
| SD カードが初期化(フォー マット)できない。 | SD カードの書き込み禁止スイッチがセットされていませんか? セットされている場合は、解除してください。 (☞ P31 [SD カードの書き込み禁止スイッチについて]) |
| 充電したバッテリーを装着しても、バッテリーアラームが表示される。 | バッテリーが古くありませんか? |
| タイムコードやユーザーズ ビットが表示されない。 | カメラモードやメディアモードでも、ディスプレイ画面の種類によっては表示されない場合があります。 [LCD/VF 設定] → [表示設定] → [TC/UB]項目が"切"になっていませんか?表示する場合は、"TC"または"UB"に設定してください。 (☞ P100 [TC/UB]) |

| 症状 | 処置 |
|---|---|
| 日付・時刻が表示されない。 | カメラモード(撮影中)時は、ディスプレイ1またはディスプレイ2 画面にのみ日付と時刻が表示されます。 (☞ P113 [カメラモード時のディスプレイ画面]) [システム] → [記録設定] → [タイムスタンプ]項目が"入"になっていませんか?表示する場合は、"切"に設定してください。 (☞ P108 [タイムスタンプ]) |
| ビューファインダーが正しく 表示されない。 | [LCD/VF 設定] → [LCD+VF]項目が"切"に設定されており、LCD モニ ターを使用していませんか? (☞ P97 [LCD+VF]) |
| 実際の録画可能時間が、めやすとされている時間より短い。 | 撮影環境や、撮影する被写体によって録画可能時間が短くなること があります。 |
| タイムコードを2台で同期させようとしても、同期しない。 (スレーブ機の■が表示されない) | ● [TC IN/OUT]切換スイッチは正しく設定されていますか? (☞ P62 [タイムコードをもう一台のカメラに同期させる]) ● [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[フレーム数/画質] 項目を2台とも同じフレームレートになるよう設定してください。 (☞ P106 [フレーム数/画質]) |

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。 保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所 定事項の記入および記載内容をご確認いただき、 大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しま せん。

その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。 http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html
- カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

アフターサービスについてのお問い合わせ 先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売 店、または最寄りのサービス窓口にご相談くださ い。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のこ とをお知らせください。

| 品名 : | HD メモリーカードカメラレコーダー |
|-------|--------------------|
| 型名 : | GY-HM600 |
| お買い上: | |
| げ日 | |
| 故障の状: | 故障の状態をできるだけ具体的に |
| 況 | |
| ご住所 : | |
| お名前 : | |
| 電話番号: | |

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に 従って適切に処理してください。

仕様

一般

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| 電源 | DC 12 V |
| 消費電力 | 約 10.2 W |
| | (ビューファインダー使用時、 バックライト[標準]で記録時) |
| 質量 | 約 2.4 kg(バッテリー装着) |
| 許容動作温度 | $0~^\circ\mathrm{C}$ \sim 40 $^\circ\mathrm{C}$ |
| 許容動作湿度 | 30 %RH \sim 80 %RH |
| 許容保存温度 | -20 °C \sim 50 °C |

端子部

| 項目 | 内容 |
|----------------------|---|
| [HD/SD SDI]出; | 力端子(480i or 576i: |
| Downconverted 平衡) | 720p/1080i:音声重畳)、BNC(不 |
| HD-SDI 時 | SMPTE 292 M 準拠 |
| SD-SDI 時 | SMPTE 259 M 準拠 |
| [INPUT1/INPUT | 2]端子 |
| [MIC] | -50 dBu、3 kΩ、XLR(平衡)、 +48 V 出力(ファントム電源供 給) |
| [LINE] | +4 dBu、10 kΩ、XLR(平衡) |
| [AUX]端子 | -22dBu、10 kΩ、Φ3.5 mm ステ レオミニジャック(不平衡) |
| [AV]端子 | Ф3.5 mm 4 極ミニジャック |
| ビデオ信号 | 1.0 V(p-p) |
| オーディオ信号 | -8 dBu (基準レベル入力時)、 1 kΩ (不平衡) |
| [೧]端子 | Φ3.5 mm ミニジャック(ステレ オ) |
| [REMOTE]端子 | Φ2.5 mm ワイヤードリモコン |
| [∦]端子 | |
| [DEVICE] | Mini USB-B タイプ、USB 2.0、 miniB、スレーブ機能(マススト レージクラス)のみ |
| [TC]端子 | |
| [IN] | 1.0 V(p-p)~4.0 V(p-p) ハイインピーダンス |
| [OUT] | 2.0±1.0 V(p-p) ローインピーダンス |

レンズ部

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| レンズ | Fujinon F1.6, $23x$, f=4.1 mm \sim |
| | 94.3 mm $(35 \text{ mm} \circ \text{conversion}^{\circ} 20 \text{ mm} \sim$ |
| | 667 mm) |
| フィルター径 | Φ72 mm |

カメラ部

| 項目 | 内容 |
|------------------|---|
| 映像素子 | 1/3型 Progressive CMOS |
| 色分解プリズム | F1.6、3 色分解プリズム方式 |
| 同期方式 | 内部同期(内蔵 SSG) |
| 光学フィルター | OFF、1/4、1/16、1/64 |
| ゲイン | -6dB,-3dB,0dB,3dB,6dB, 9dB,12dB,15dB,18dB,21dB, 24dB,Lolux(30dB,36dB), ALC |
| 電子シャッター | 1/4~1/10000、EEI |
| バリアブルフ レームレート | 2/30-60/30fps、2/25-50/25fps、 2/24-60/24fps |
| LCD モニター | 3.5型 LCD、16:9 92 万画素 |
| ビューファイン ダー | 0.45型 LCOS、122 万画素(852 x 480 x 3) |

【ストレージ部

| 項目 | 内容 |
|--------|-----------|
| 対応メディア | SDHC/SDXC |
| スロット数 | 2 スロット |

その他

映像/音声

| 項目 | 内容 |
|---------------------|--|
| 記録時間 | 約 25 分(8 GB SD カード、35 MbpsVBR モード) |
| HD モード (MO) | //MP4 : MPEG-2) |
| 映像記録ファ イル形式 | QuickTime File Format(For Final Cut Pro) / MP4 File Format |
| 映像 | |
| HQ E-F | MPEG-2 Long GOP VBR, 35Mbps (Max) MP@HL, 1920x1080/59.94i, 29.97p, 23.98p, 50i, 25p 1440x1080/59.94i, 50i 1420v720/50.04p, 20.07p |
| | 23.98p. 50p. 25p |
| SP モード | MPEG-2 Long GOP CBR, 18.3 Mbps MP@HL (720p) / 25 Mbps MP@H14 (1080i) 1440x1080/59.94i, 50i |
| | 1280x720/59.94p、50p |
| 音声 | LPCM 2ch、48 kHz/16 Bit |
| HD モード (AVC | HD) |
| 映像記録ファ イル形式 | AVCHD File Format |
| 映像 | |
| HQ モード | MPEG-4 AVC/H.264、24 Mbps (Max) 1920x1080/59.94i、50i |
| SPモード | MPEG-4 AVC/H.264、17 Mbps 1920x1080/59.94i、50i |
| | MPEG-4 AVC/H.264、9 Mbps 1440x1080/59.94i、50i |
| EP E – F | MPEG-4 AVC/H.264、5 Mbps 1440x1080/59.94i、50i |
| 音声 | Dolby Digital 2ch、48 kHz/16 Bit、256 kbps |

| 項目 | 内容 | |
|-------------------|---|--|
| HD モード (MOV | /∶H.264) | |
| 映像記録ファ イル形式 | QuickTime File Format | |
| 映像 | | |
| XHQ モー ド | MPEG-4 AVC/H.264、50 Mbps 1920×1080/59.94p、59.94i、 29.97p、23.98p、50p、50i、25p | |
| UHQ モー ド | MPEG-4 AVC/H.264、35 Mbps(Max) 1920×1080/59.94i、30p、 23.98p、50i、25p | |
| 音声 | LPCM 2ch、48 kHz/16 Bit | |
| SD モード(MOV∶H.264) | | |
| 映像記録ファ イル形式 | QuickTime File Format | |
| 映像 | MPEG-4 AVC/H.264, 8 Mbps 720x480/59.94i | |
| 音声 | LPCM 2ch, 48 kHz/16 Bit | |

添付物

| 添付物·付属品 | |
|-------------------|---|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 保証書 | 1 |
| 取扱説明書 | 1 |
| ドキュメント&ソフトウェアディスク | 1 |
| AC アダプター | 1 |
| 電源コード | 1 |
| バッテリー | 1 |
| AV ケーブル | 1 |
| クランプフィルター | 1 |
| ワイヤークランプ | 1 |
| 大型アイカップ | 1 |
| | |

┃外形寸法図(単位:mm)





*本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

索引

| あ | アイカップ | 19 |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | アイリス調整 | 46 |
| | 明るさ調節 | 45 |
| | アクション | |
| | アスペクト比 | 39 |
| | インターバルレック | 74 |
| | エラーメッセージ | 52, 130 |
| | オートパワーオフ | |
| | お気に入りメニュー | 109 |
| か | 解像度 | 38 |
| | 外部モニター | |
| | 商権出 | |
| | 拡大フォーカス | |
| | 画質設定 | |
| | カメラモード | 11 26 113 |
| | カラーバー | 121 |
| | カラーマトリクス | 122 |
| | 記録可能時間 | |
| | クリップカッター記録(クリップ分 | ····································· |
| | クリップコンティニュアスレック | 71 |
| | クリップの削除 | 80 |
| | クリップ名 | 35.77 |
| | クリップレビュー | |
| | · · · · · · | 27. 131 |
| | ビニー ゲイン調整 | |
| * | 提影 | 37 |
| 2 | 1000000000000000000000000000000000000 | |
| | サムネイル(詳細面面) | |
| | サムネイル(標準画面) | |
| | シーンファイル | 123 |
| | シャッタースピード切り換え | 48 |
| | シャッターモード切り換え | 48 |
| | | 21 |
| | 初期設定 | 21 |
| | ズーム | 40 |
| | スキンディテール機能 | |
| | ステータス画面 | 27 120 |
| | スポットメーター | |
| | セーフティーゾーン表示 | 121 |
| | セットアップファイル | 123 |
| | ゼブラパターン | |
| | ソフトウェアキーボード | |
| t- | タイトコード | 58 59 62 |
| <i>,</i> <u></u> | クイムコード再生 | 70 |
| | | |

| | タイムコードジェネレーター 59 | |
|----|-------------------------|----|
| | タリーランプ 30, 131 | |
| | ディスプレイ画面 26, 113, 118 | |
| | 手ぶれ補正 55 | |
| | デュアルレック 67 | |
| | 電源 22, 23 | |
| | トリミング 83 | į. |
| な | 日時の設定 25 | |
| は | パソコン 126 | |
| | バックアップレック 69 | |
| | バッテリー 6, 20 | 1 |
| | バリアブルフレームレック 75 | |
| | ピクチャーファイル 123 | į. |
| | ビデオフォーマット 38 | |
| | ビューファインダー 8, 22, 26, 29 | |
| | ファイルフォーマット 38 | |
| | フォーカス 41 | |
| | フォーカスアシスト 43 | į. |
| | 複数のクリッフを選択 81 | |
| | フッシュオートノォーカス | |
| | フリセットスーム | |
| | | |
| | ノレームレック | |
| | ハットホノ | |
| | ホワイトペイント 52 | |
| + | | |
| ፚ | マーリー表示 | |
| | | |
| | | |
| や | ユーサースヒット | |
| | ユーサーホタン | |
| わ | ワイヤードリモコン 129 | |
| | ワンプッシュオートフォーカス | |
| 英数 | 字 | |
| | AC アダプター 21, 22 | |
| | LCD モニター 8, 22, 26, 28 | |
| | ND フィルター 50 | ł |
| | OK マーク 81 | |
| | SD/SDHC/SDXC カード 7, 31 | |
| | SD カードの修復 34 | |
| | SD カードのフォーマット(初期化) 33 | |
| | USB モード 11, 27, 126 | |

その他

ソフトウェア使用許諾契約 書

株式会社JVCケンウッド(以下、「ライセンサー」) が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア(以 下、「許諾ソフトウェア」)は、ライセンサーが著作 権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し ます。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関する お客様のご使用条件を定めたものです。お客様は 本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この 「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致し ます。本契約は、お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソ フトウェア」を搭載した本製品をご使用された時 点で、成立したものと見なされます。

第1条(総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本 国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権(第 3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾 します。

第2条(使用権)

 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフト ウェアを本製品で使用する権利をいいます。
 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部 もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改 変し、もしくは貸与することができません。
 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定され るものとします。許諾ソフトウェアは営利目的か 否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセン ス、もしくはサブライセンスをすることができま せん。

4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書また はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用 するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一 部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの 使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条(許諾条件)

1.使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾 ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アッ プグレード版を含む)の使用権についても同様に 移転することができます。但し、当該移転は、使用 者の手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資 料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用 許諾契約に従わせる事を条件とします。 2.使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエ

ンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等の コード解析作業を行ってはならないものとしま す。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著 作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライ センサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権 を許諾した原権利者(以下、「原権利者」)に帰属す るものとします。使用者は許諾ソフトウェア及び その関連書類に関して、本契約に基づき許諾され た使用権を除き、いかなる権利を有するものでは ありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作 権及び知的財産権に関連する法律に従うものとし ます。

第5条(ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約 に基づき許諾された使用権を行使した結果、使用 者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかな る責任も負わないものとします。但し、これを制限 する別途法律の定めがある場合はこの限りではあ りません。

2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商 品性、互換性及び特定目的に合致していることを 保証致しません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェ ア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のう ち、公然と知られていないものについて秘密を保 持するものとし、ライセンサーの承諾を得ること なく第三者に開示または漏洩しないものとしま す。

第8条(契約の解除)

受けたとき

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に 該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除 し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用 者に対し請求できるものとします。 (1)本契約に定める条項に違反したとき (2)差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を

第9条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用 者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾 ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄す るものとします。

第10条(輸出規制)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびア メリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となるこ とを了承するものとします。

2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の 国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理 規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機 関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによ る使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第11条(その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合 でも、当該条項以外は有効に存続するものとしま す。

2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に 疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠 意をもって協議し、解決するものとします。

3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の 法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関す る紛争については、東京地方裁判所をもって第一 審の専属的合意管轄裁判所とする事に合意するも のとします。

オープンソースライセンス

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0)

- OpenGL ES1.1 (Header file)
- EGL1.1 (Header file)

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright © [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.



ホームページ http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVC ケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12